横浜市芸術文化教育プログラム推進事業

平成21年度事業報告書

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

PLATFORM

（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市市民局）

学校プログラムの報告 · · · · · · · · · · · · · · · · · 1

■音楽

入船小学校+横浜市芸術文化振興財団 · · · · · · · · · · · · 声楽のハーモニー · 1
寺尾小学校+横浜音楽協会 · ヴァイオリンのスクールコンサート · · · · · · · · · 2
池上小学校+神奈川区民文化センターかなっくホール · · · · · · · · 小鼓を感じる · 3
神大寺小学校+横浜シティオペラ · · · · · · · · · · · · · · · · オペラへの好奇心(1) · 4
永田台小学校+横浜シティオペラ · · · · · · · · · · · · · · · · オペラへの好奇心(2) · 4
中丸小学校+芸術家と子どもたち · · · · · · · · · · · · · · · · レゲエのリズムで · 5
羽沢小学校+よこはま音楽広場実行委員会 · · · · · · · · · 打楽器に触れる、聴く · 6
南神大寺小学校+芸術家と子どもたち · · · · · · · · · · · · 創作楽器でリズムセッション · · · · · · · · · · · · · · 7
浅間台小学校+子どもに音楽を · · · · · · · · · · · · · · · · · トランペットを感じる · 8
宮谷小学校+横浜音楽協会 · ピアノのスクールコンサート · · · · · · · · · · · · · · · 9
本牧南小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · 声の魅力とその響き(1) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 10
六つ川台小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · ジャズのアドリブを体感(1) · · · · · · · · · · · · · · · 11
中村特別支援学校+子どもに音楽を · · · · · · · · · · · · · · · ヴァイオリンを感じる · 12
富士見台小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · 声とイメージ(1) · 13
星川小学校+よこはま音楽広場実行委員会 · · · · · · · · · 日本舞踊の動きかた(1) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 14
汐見台小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · 声とイメージ(2) · 15
能見台南小学校+横浜市芸術文化振興財団 · · · · · · · · · 声という楽器で(1) · 16
小机小学校+横浜音楽協会 · フルートのスクールコンサート(1) · · · · · · · · · · 17
大豆戸小学校+大倉山記念館 · · · · · · · · · · · · · · · · · · 耳をすます、奏でる · 18
上矢部小学校+横浜音楽協会 · · · · · · · · · · · · · · · · · · フルートのスクールコンサート(2) · · · · · · · · · · 19
東戸塚小学校+横浜市芸術文化振興財団 · · · · · · · · · · ゴスペルの魅力(1) · 20
深谷台小学校+横浜シティオペラ · · · · · · · · · · · · · · · · オペラへの好奇心(2) · 21
俣野小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · · · ジャズのアドリブを体感(2) · · · · · · · · · · · · · · · 22
矢部小学校+よこはま音楽広場実行委員会 · · · · · · · · · 日本舞踊の動きかた(2) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 23
港南台第三小学校+よこはま音楽広場実行委員会 · · · 声と表現 · 24
永谷小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 声の魅力とその響き(2) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 25
日野南小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · ジャズのアドリブを体感(3) · · · · · · · · · · · · · · · 26
左近山小高小学校+旭区民文化センターサンハート · · · · · · · · · ジャズのアドリブを体感(4) · · · · · · · · · · · · · · · 27
左近山第二小学校+旭区民文化センターサンハート · · · · · · · · · ゴスペルの魅力(2) · 28
ひかりが丘小学校+旭区民文化センターサンハート · · · · · · · · · ゴスペルの魅力(3) · 29
山下小学校+子どもに音楽を · · · · · · · · · · · · · · · · · · · チェロを感じる · 30
阿久和小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · ジャズのアドリブを体感(5) · · · · · · · · · · · · · · · 31
下瀬谷小学校+日向山小学校+オフィスマキナ · · · · · · ジャズのアドリブを体感(6) · · · · · · · · · · · · · · · 32
南瀬谷小学校+オフィスマキナ · · · · · · · · · · · · · · · · · 声の魅力とその響き(3) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 33
桂台小学校+横浜市芸術文化振興財団 · · · · · · · · · · · · ゴスペルの魅力(4) · 34
千秀小学校+栄区民文化センターリリス · · · · · · · · · · · みんなのまちのクラシック · · · · · · · · · · · · · · · · 35
伊勢山小学校+泉区民文化センターテアトルフォンテ · · · · · · · · 耳と目で聞く · 36
荏子田小学校+横浜市芸術文化振興財団 · · · · · · · · · · 声という楽器で(2) · 37
鉄小学校+青葉区民文化センターフィリアホール · · · ア・カペラのハーモニー · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 38

■演劇

深谷小学校+アートの時間 · 身体で表現する · 39
港南台第一小学校+ＳＴスポット横浜 · · · · · · · · · · · · · ことばと演劇 · 40
善部小学校+ＳＴスポット横浜 · · · · · · · · · · · · · · · · · · みんなでつくる、演じる · · · · · · · · · · · · · · · · · · · 41
中和田南小学校+泉区民文化センターテアトルフォンテ · · · · · · · 自己表現とコミュニケーション · · · · · · · · · · · · 42
山田小学校+劇団かかし座 · 影絵をみる、体験する · 43
坂本小学校+Ｍｅｄｉａ Ｇｌｏｂａｌ · · · · · · · · · · · · · パペットをつくる、演じる(1) · · · · · · · · · · · · · 44

八景小学校+横浜こどものひろば……思いをつたえる……45
上大岡小学校+急な坂スタジオ……他人の表現を受けいれる……46
新治小学校+Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ……パペットをつくる、演じる(2)……47
榎が丘小学校+Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ……パペットをつくる、演じる(3)……48

■舞踊

永田小学校+吉野町市民プラザ……自分のダンスをつくる……49
菊名小学校+ＳＴスポット横浜……自由にうごく……50
日野小学校+横浜こどものひろば……オイリュトミー体験……51
白根小学校+芸術家と子どもたち……体でお習字……52
二ツ橋高等特別支援+ＳＴスポット横浜……からだをリズムにのせる……53
いちょう小学校+ＳＴスポット横浜……ことばとからだ……54

■美術

平沼小学校+横浜市民ギャラリー……ゆかいな卒業写真……55
洋光台第四小学校+横浜市芸術文化振興財団……似顔絵を描く(1)……56
小田中学校+横浜美術館……絵具についてチョット知っちゃおう！(1)……57
品濃小学校+アートの時間……仮面パレード……58
大正中学校+横浜美術館……絵具についてチョット知っちゃおう！(2)……59
都岡小学校+旭区民文化センターサンハート……似顔絵を描く(2)……60
二俣川小学校+旭区民文化センターサンハート……似顔絵を描く(3)……61
竹山小学校+ART LAB OVA……図工パーティー……62
上瀬谷小学校+横浜市芸術文化振興財団……色を感じる……63
美しが丘中学校+横浜市民ギャラリーあざみ野……アニメーションをつくる……64
川和小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野……粘土にふれる、つくる……65
新羽小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野……乗りものをつくる……66

■伝統

藤の木小学校+吉野町市民プラザ……箏にふれる、演奏する(1)……67
能見台小学校+久良岐能舞台……狂言体験(1)……68
川上小学校+久良岐能舞台……狂言体験(2)……69
鳥が丘小学校+横浜市芸術文化振興財団……落語体験……70
南舞岡小学校+民族歌舞団荒馬座……荒馬踊り……71
野庭中学校+久良岐能舞台……狂言体験(3)……72
希望ヶ丘小学校+旭区民文化センターサンハート……箏にふれる、演奏する(2)……73
鴨居小学校+久良岐能舞台……狂言体験(4)……74
山下みどり台小学校+横浜邦楽邦舞家協会……三味線体験(1)……75
上郷小学校+栄区民文化センターリリス……尺八と箏を体験する……76
桜井小学校+民族歌舞団荒馬座……太鼓体験……77
いずみ野小学校+横浜邦楽邦舞家協会……三味線体験(2)……78
新鶴見小学校+横浜邦楽邦舞家協会……三味線体験(3)……78
美しが丘東小学校+横浜市芸術文化振興財団……箏の音を知る……79

アーティストプロフィール……80

コーディネータープロフィール……84

音楽

入船小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
声楽のハーモニー

担当アーティスト	飯田千夏
実施校	横浜市立入船小学校（鶴見区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	鑑賞型／音楽鑑賞／全学年、6 学級、232 人対象
実施日程	2010 年 2 月 5 日

授業のねらいと内容

一流のアーティストの本物の音楽（声楽）を鑑賞して、音楽への関心・興味を一層深めてもらう。また、歌唱指導により声を出す楽しさ、手拍子等身体を使ってのリズム動作の楽しさを体験する。

アーティストから

マイクなしで体育館に響き渡る生の歌声を前にして、真剣な眼差しで興味深く聞き入る子どもたちの姿が大変印象的でした。指導曲では、低学年の方が積極的に対応し、高学年は戸惑い気味でした。徐々に楽曲の持つ明るさと溌剌さに触発され、自分たちに与えられた役割に楽しさを見出す事ができてきました。これこそが、音楽の力であり、歌う喜び、全身からあふれ出す躍動的なリズム、さらに楽曲終結部（斉唱部分）では、達成感と自信に満ちた高らかな歌声が響き渡り、改めて名曲の持つ、そして生の演奏の持つ力強さを感じました。

コーディネーターから

当初、11 月 4 日に開催する予定であったが、当該小学校での新型インフルエンザの流行により延期となった。入船小、汐入小合同の鑑賞会であり、生徒全員での対応に危惧を待っていたが、講師陣の的確な指導により生徒たちはリズム動作、斉唱に全員で課題曲をこなしていた。

先生から

子どもたちは、音楽を「つくる」活動に楽しんで取り組むことができました。その場で、ひとつのハーモニーを作り上げる活動は、全員が初めてのことでしたが、即興性のおもしろさを感じていたと思います。

音楽

寺尾小学校 ＋ 横浜音楽協会
ヴァイオリンのスクールコンサート

担当アーティスト	小坂由加梨
実施校	横浜市立寺尾小学校（鶴見区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜音楽協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／バイオリン／全学年、23 学級、700 人対象
実施日程	2009 年 12 月 17 日

授業のねらいと内容

「心に響くヴァイオリンの調べ」～名曲とお話の楽しいひととき～と題した取組み。選曲にあたっては、学校側から今回演奏してほしい曲の要望を事前に出してもらうとともに、出演者が是非伝えたい名曲をプログラム。ヴァイオリンに、より親しんでもらう良い機会とするため、楽器の特徴や奏法等も含めたコメントや、演奏位置移動等の工夫もし、楽しみながら名曲を聴けるひとときとする。「クラッシク・ヨコハマ」スクールコンサートとして実施。

アーティストから

常日頃、ヴァイオリンという楽器を身近に感じてほしいと願っている私にとり、寺尾小学校で演奏させていただいたことは大変良い経験となりました。私の話や演奏に新鮮な驚きや反応を示してくれる子供たちに間近に接することができました。伝えたいことが多々あり過ぎ、時間に余裕がなくなってしまったことは心残りでしたが、大きな喜びを感じました。

コーディネーターから

学校・コーディネーター側の要望を汲み取り、その上で自分が伝えたいと思うことを明確に持って努力してくれた演奏者に頭が下がる思いがした。その努力が児童にも充分伝わるかは、音楽鑑賞会に臨む事前指導（鑑賞目的･楽器･曲等を含め）に大きくかかわるのだと感じた。目的をもって聴くことにより感動も大なり。

先生から

生の演奏を聴くことができて、子どもたちも私たちも感動しました。演奏者の方が詳しくバイオリンについて説明して下さり、子どもたちはバイオリンに興味をもっていました。寺尾小学校では、朝学習の時間に「愛の挨拶」を放送しており、なじみのある曲を生で聴けてよかったです。とてもすばらしい演奏を、もう少し長く聴けたら更によかったです。ありがとうございました。

音楽

池上小学校 ＋ かなっくホール
小鼓を感じる

担当アーティスト	大倉源次郎、大山容子
実施校	横浜市立池上小学校（神奈川区）
コーディネート	神奈川区民文化センター かなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／邦楽／6 学年、2 学級、61 人対象
実施日程	2010 年 1 月 28 日、1 月 29 日

授業のねらいと内容

体験型プログラムとして小鼓のワークショップを行う。ただし、体験ではあるが原則として“お稽古”という形をとる。「よろしくお願いします」、「有難うございました」という挨拶をきちんとする事で、小鼓を通して日本人が祖先から受け継いできた文化や心を大切にすることを学ぶ。また、小鼓を「見る」だけでなく、音を出す、掛け声を掛けるなど「体験」することで、能楽を身構えることなく楽しんで身近に感じてもらうことを目標とする。

アーティストから

「能楽」は、難しいから子ども達にはわからないといわれてしまいがちです。しかし、好奇心旺盛の子ども達は初めて見る小鼓に興味津々で、今回も真剣に耳を傾けてくれました。授業では、構造・音・打ち方を説明しその後体験をしました。説明を聞くだけでは、すぐに正しく打てません。ここに「体験する事」の大切さがあると思います。今回の体験で、日本の伝統芸能である「能楽」を少し身近に感じていただけたと思っています。

コーディネーターから

邦楽を「とっつきにくいもの」として捉えてしまっているのは、知識先行の先入観を持ってしまった大人たちだけで、子どもたちにとって小鼓はあくまでもひとつの「楽器」。純粋に未体験の新しい「音楽」として接し、楽しんでいる様子がよく分かった。また、当初教科担当の先生が、生徒たちがプログラムに適応できるかとの不安をお持ちであったが、実際には何の問題も無く、むしろ子どもたちは非常に興味を持って積極的に取り組んでいた。

先生から

今回の小鼓の授業を通して、一番感じたことは“本物に触れることの大切さ”です。小鼓で体験授業を、とお聞きしたとき、教師はとても得がたい体験ですばらしいと思ったのですが、子どもたちになじみのない楽器なので、どのように子どもたちが受けとめるか、不安もありました。でもその不安は実際の授業を受けてみて杞憂であったことが分かりました。伝統芸能という、一つの道を極めた方のお話は 140 年という長い間大切に受け継がれてきた小鼓の重みと共に子どもたちの心に深くしみ入ったようでした。授業が終了しても感動からかなかなか音楽室から去ろうとしない子どもたちの様子に、今回はじめてアーティストの方の授業をお願いしたことは正解だったという手ごたえを感じました。これからも是非「その道のプロ」の方に直接ご指導していただけるこのような企画を続けていきたいと思います。

音楽

神大寺小学校 ＋ 横浜シティオペラ
オペラへの好奇心(1)

担当アーティスト	横浜シティオペラ
実施校	横浜市立神大寺小学校（神奈川区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／オペラ／全学年、24 学級、800 人対象
実施日程	2009 年 11 月 19 日

授業のねらいと内容

神大寺小学校は、オペラ鑑賞を学校で催すことは初めてなので、生徒たちにまずオペラとはどういうものか知ってほしい。そして興味を持ち、感動を与えたい。

アーティストから

2 回に分けての公演でしたが、どちらも鑑賞態度は良かったです。反応は高学年では、笑いも多かったです。低学年では、一緒に魔女を退治しているような興奮もあったようです。また、マイクを使わずに体育館に響く声に驚嘆しているようでした。学校行事の大切な思い出になってくれればと思いました。

コーディネーターから

舞台とは音響的に異なる体育館での公演でしたが、機械ではなく生の音を聞いてもらう事によって、毎回明らかに子供達の音への好奇心が増し、演技へ集中しているのが感じられました。これをきっかけに子供達がオペラというジャンルに対して親近感を持ってくれることと思います。

音楽

永田台小学校 ＋ 横浜シティオペラ
オペラへの好奇心(2)

担当アーティスト	横浜シティオペラ
実施校	横浜市立永田台小学校（南区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／オペラ／全学年、17 学級、455 人対象
実施日程	2009 年 11 月 20 日

音楽

中丸小学校 ＋ 芸術家と子どもたち
レゲエのリズムで

担当アーティスト	鈴木潤
実施校	横浜市立中丸小学校（神奈川区）
コーディネート	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／リズム創作／4 学年、2 学級、71 人対象
実施日程	2010 年 1 月 21 日、2 月 3 日、2 月 4 日、2 月 18 日、2 月 24 日、2 月 25 日

授業のねらいと内容

10 歳を祝う会で発表する音楽パフォーマンスをワークショップで創作する。発表内容は、学校にあるリズム楽器等を使用したレゲエ曲の合奏と、1 人 10 秒で自由に楽器を使って行う自己紹介。また、担当教諭が作成するスライド、演奏中の子どもの表情を撮影するライブカメラ映像、子どもによるスピーチを組み合わせて発表を構成する。

アーティストから

昨年よりも回数を増やしたので、実験的なこと（一人 10 秒でのパフォーマンス創作）にチャレンジできた。初めはただ思いつきで楽器を触るだけだった子どもたちが、何度も練習し、10 秒の構成を考え、内容を充実させていく変化の過程を見られたことがとてもおもしろかった。合奏では、練習するうちに、子どもたちが目で見ていなくても音や気配でお互いを感じ、呼吸をあわせている様子が分かってうれしかった。発表後にアンコールが来たときは、打合せなしに対応できるか心配だったが、のびのびといい演奏ができて驚いた。

コーディネーターから

授業回数が多かったので、アーティストと子どもの交流が深まり、子どもたち自身で 10 歳を祝う会のテーマを考える会議を開いたり、発表当日まで担任に「練習の時間を取って」とお願いするなどこの授業に対する子どもたちの気持ちの盛り上がりを感じることができてうれしかった。初めは難しく見えた「10 秒間で自由にパフォーマンスをする」という課題にも、繰り返しじっくり取り組むことで、一人一人が自分なりの 10 秒の使い方を考え、発見して、その子ならではの個性ある発表を組み立てることができたように思う。また、お調子者でまとめ役からはいつも逃げていた子が、リーダー役になって、本番で言うセリフを必死で考えたり、初回は全く参加できなかった子が自分のやりたい楽器を見つけ、最後には 1 人で発表できたなど、変化、成長が見られた子どもがいたことは大きな成果であった。

先生から

いつも学校で行っている音楽の学習は、形の決まった曲を楽譜にしたり、お手本を聴いてまねる学習が多いですが、今回は自分でリズムを考えて組み合わせる活動だったので、とても興味深いと思いました。子どもたちは、「自分で自由に作る・表現する」ということにとまどっている様子でしたが、しだいにそれぞれの個性が見えはじめ、表現する楽しさを感じながら演奏していました。また、講師の先生と一緒に体を動かしながら合奏することを通して、音楽は頭でカウントしながら合わせるものではなく、体で感じて合わせるものなんだと、子どもたちなりに感じていたようです。とてもいい経験をさせていただきました。子どもたちは、いつも先生が週に一度来校されるのを指おり数えて待ち、いつも楽しそうに活動していました。講師の先生がいつも子どもたちとの会話を大切にして下さったり、それぞれの個性を認めながらふれあって下さったおかげだと思っています。ありがとうございました。

音楽

羽沢小学校 ＋ よこはま音楽広場実行委員会
打楽器に触れる、聴く

担当アーティスト	松井イチロー、鈴木タケオ
実施校	横浜市立羽沢小学校（神奈川区）
コーディネート	よこはま音楽広場実行委員会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／打楽器／全学年、21 学級、560 人対象
実施日程	2009 年 9 月 24 日

授業のねらいと内容

全校生徒が一緒に楽しめる内容であること。日常では触れることのない様々な打楽器の音を聴き、触れる体験を通し、子ども達の興味を引き出し、自己表現の幅を広げたい。また、自分たちが作ったシェーカーを仲間と共に演奏することで、一体感や楽しさを共有する体験をさせたい。子ども達が夢中になれるような時間になればいいと思う。

アーティストから

とても楽しい演奏会でした。打楽器の演奏だけでは途中で飽きないかと心配でしたが、最後まで熱い視線を感じることができました。全員がジャンベに触れたこと、手作りシェーカーでの全員参加で演奏したことはとても価値あることだと思っています。今後は全員とより密接できるよう、演奏位置についても検討していきたいと感じました。

コーディネーターから

打ち合わせの段階から担当教諭の本プログラムへのご興味が強く、学校全体でこの日を心待ちにして下さっていたことがアーティストへの歓迎ぶりから伺えた。それだけ本事業への期待度の高さが伺える。一日のみの実施でも事前に全児童にオリジナルのシェーカー作りを依頼したことは、子ども達が自発的に参加する機会にも繋がり、当日への期待を膨らませる要因になったかと思われる。

先生から

ふだん見たりふれたりする機会が少ない様々な楽器との出会い、手作りのシェーカーを使っての全校合奏、何よりも松井イチローさんと鈴木タケオさんの明るいお人柄が音楽を通して子どもたちに伝わり、体育館に会したすべての大人子どもが「楽しい音楽」を共有することができました。どうもありがとうございました。今日の企画（プログラム）は本校にとって、初めての取組でしたが今後は、日常の学年学級単位の授業のゲストティーチャーとしてもお招きできるチャンスがあれば、是非当プログラムを利用させていただこうと考えております。

音楽

南神大寺小学校 ＋ 芸術家と子どもたち
創作楽器でリズムセッション

担当アーティスト	棚川寛子
実施校	横浜市立南神大寺小学校（神奈川区）
コーディネート	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
実施科目・教科名	音楽・図工・総合的な学習の時間
実施内容	体験型／音楽／2 学年・個別支援級、3 学級、54 人対象
実施日程	2010 年 1 月 12 日、1 月 15 日、1 月 22 日、1 月 26 日

授業のねらいと内容

「身近なものから音を発見」や「みんなでリズムをつくる楽しさ」を体験していく。前半は、身の周りにあるもので楽器を創作しながら、2 年生と個別支援学級の子どもたちとが同じ時間を共有する。その後は学年ごとに別の活動へと発展。2 年生は「スイミー」を題材にして、手づくり楽器でシーンに合った音楽を創作し、発表。個別支援学級は手づくり楽器でリズムアンサンブルをつくりセッションを楽しむ。

コーディネーターから

アーティストの発想の豊かさとそれを受け止めてくださる先生方の柔軟な姿勢から、音楽、図工、国語など様々な教科の要素が融合した授業が出来上がったと感じる。家庭から楽器の材料を集めてもらったり、学校の敷地内に落ちているドングリを拾い集めて楽器に使ったりと、低学年の子どもたちにとって日常生活と特別な活動とが無理なく繋がりを持てた。また、アーティストが児童一人ひとりに温かな眼差しを向けて丁寧に接したことにより、子どもたちの創作意欲が高まっていくのと同時に、アーティストと子どもたちとの信頼関係が回を重ねるごとに深まっていく様子が見られた。

音楽

浅間台小学校 ＋ 子どもに音楽を
トランペットを感じる

担当アーティスト	津堅直弘
実施校	横浜市立浅間台小学校（西区）
コーディネート	特定非営利活動法人 子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／クラシック音楽／全学年、12 学級、245 人対象
実施日程	2009 年 11 月 25 日

授業のねらいと内容

浅間台小学校には金管クラブがあり、子ども達と演奏家が一緒に演奏する機会があったらうれしいということで、今回はＮ響トランペットの首席の津堅さんにお願いすることにしました。当日は体育館でピアノと演奏家を、子ども達が半円形に囲む形で活動します。終わりに演奏家も一緒に金管クラブの子ども達と一緒に「聖者の行進」を演奏。

アーティストから

小学生に色々なトランペットを紹介し、演奏するのは初めてでしたが、全員が静かに聴いてくれました。また、コンサートの後の給食も楽しいひと時でした。小学生に「トランペット上手ですね」「ピアノも上手ですね」と言われると（アンコールで津堅さんは連弾ですがピアノも弾かれました。）この歳になっても嬉しいものです。ＮＰＯのこの様な活動が長く続くことを期待しています。

コーディネーターから

ピアノの調律など、プログラム実施前の打合せで細部にわたって確認することは大事なことと感じた。

先生から

「プロ（本物）のアーティストの演奏が聴ける」ということに対して、子どもや保護者の関心が高く、大きな期待をもって当日を迎えました。また、当日の演奏やパフォーマンスの内容もすばらしく、その為か鑑賞の態度が崩れることなく、あっという間の１時間でした。１年～６年まで一同に集まってのプログラムでしたので正直なところ心配（低学年が飽きてしまうのではないか等）がありましたが、間近で楽器や演奏者の様子に触れられたのがよかったです。鑑賞後の鑑賞カードの記入を見ても高学年は、もちろんですが、低学年の内容もいかに「よく見て聴いて感じていたか」が伝わってきました。職員もぜひ来年度以降も実施してほしいという声ばかりでした。日常とちがう環境（プロのアーティストによる授業）が本校にとっては刺激的であり、楽しみでもあるようです。アーティストと金管クラブでのセッションは、いつものクラブの子が１５０％上手に聴こえるほどの効果でした。

音楽

宮谷小学校 ＋ 横浜音楽協会
ピアノのスクールコンサート

担当アーティスト	塚越裕子
実施校	横浜市立宮谷小学校（西区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜音楽協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／ピアノ／全学年、29 学級、900 人対象
実施日程	2009 年 11 月 18 日

授業のねらいと内容

小学生がピアノ曲やピアノ演奏に興味・感心が持てるよう、曲目やお話にも工夫し、考慮してプログラムを編成し、演奏にのぞむ。「クラッシク・ヨコハマ」スクールコンサートとして実施。

アーティストから

低学年には、よりわかりやすいように工夫してお話ししていたが、どうしても音楽用語や作曲者名など、むずかしい言葉があったようだ。高学年には適当であったと思われるが、小学生全員には理解していただくことは、大変なことだと思いました。

コーディネーターから

児童数が多く、会場（体育館）に児童が直接床に座っての鑑賞だったが、児童は静かに関心を持って聴いていた。全体的には良いコンサートであった。特に演奏者の明るい雰囲気が良い結果を出していた。

先生から

これまで芸術文化的な活動に触れる機会が少なかった子どもたちにとって、本物の芸術に触れる機会を与えていただいたことに感謝いたします。塚越様のピアノの演奏は、日頃多忙を極めるわたしたちにとって、まさに心が洗われるひとときでした。今回低学年高学年と２回に分け演奏をしていただきました。かなり無理をしていただいたのではと思っています。一つだけ、低学年にとっては話される内容が難しかったように感じました。すばらしい演奏をしていただいた塚越様、お世話いただいた平本先生、本当にありがとうございました。

音楽

本牧南小学校 ＋ オフィスマキナ
声の魅力とその響き(1)

担当アーティスト	山口佳子
実施校	横浜市立本牧南小学校（中区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／5・6 学年、4 学級、106 人対象
実施日程	2009 年 11 月 5 日、11 月 6 日、11 月 13 日

授業のねらいと内容

子どもたち自身が、自分が持っている楽器である「声」の魅力に気づくことを目標とします。からだをほぐし、腹式呼吸を学び、全身を使って歌う楽しさや面白さを体験します。また、文部省唱歌を課題曲とし、日本語を丁寧に発音して、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌うことを学びます。

アーティストから

子どもたちはとても素直で、初めて聞く声楽の生の演奏に「何故そんなに高くて大きな声が出るのか」と不思議がっていたようです。疑問を少しずつ解明しながら実践を交えた授業をすると、反応もとても早く、一度の授業でも歌声が変わったので驚きました。声を出すことの楽しさ、友達と息を合わせて一緒に歌うことの大切さ、曲の内容を理解し気持ちを込めて歌うという感覚などを、限られた時間の中で、いかに子供たちに体験してもらい、達成感を持ってもらうかが今後の課題だと思います。

コーディネーターから

先生方から事前に、生演奏に触れる機会の少ない子どもいると伺っていましたが、最初の演奏会から、皆、純粋に興味を持った様子でした。特に６年生は、学校の外で課題曲「ふるさと」を発表する機会を控えていることもあり、非常に集中していました。自分の身体をコントロールして覚えることと、新しい事柄を言葉で理解することに、必死で取り組んでいると思いました。

先生から

本物のオペラというものにはじめて触れる子どもたちもいたので、講師の先生の歌声や発声方法にとても驚いたようです。そしてその一方ではとても関心・興味を抱くことができました。講師の先生の体当たりの指導はっても子どもたちにわかりやすく、腹式呼吸の大切さを実感しました。「僕たちでも先生のようになれるの？」という質問をした子どもに対し、講師の先生が「もちろん！」と即答されたのが子どもたちには嬉しかったようで、目を輝かせていました。３日間にわたりていねいなご指導をいただき、本当に感謝しています。ぜひ来年もこちらの事業に参加させていただきたく思います。ありがとうございました。

音楽

六つ川台小学校 ＋ オフィスマキナ
ジャズのアドリブを体感(1)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立六つ川台小学校（南区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ジャズ／4 学年、2 学級、60 人対象
実施日程	2010 年 2 月 17 日、2 月 24 日、3 月 3 日

授業のねらいと内容

ジャズは横浜にとってゆかりのある音楽でありながら、子どもにとって、聴く機会は多くありません。まず、本物のアーティストによる生演奏を間近で鑑賞し、ジャズ特有のリズムやハーモニーを体験します。また、子どもたち自身も楽器を持って、実際にアドリブを体験します。お互いに聴き合いながら自由に表現する楽しさと、バンドと一緒に演奏する喜びを味わうことを目的とします。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

４年目の継続校で「下地」ができているので、より音楽の本質に触れる部分に触れるような説明も交えました。また、ＷＳ中に曲を作るときも、子どもたちにリズムの形式を選んでもらったり、リズムの案を出してもらいました。「アドリブをしてみたい！」という手もよく挙がり、例年より一歩進んだ授業になったと思います。みな積極的に授業に参加し、楽器への強い興味も感じられました。

コーディネーターから

子どもたちが自ら感じて、自ら活動する時間になったと思います。「音」や「リズム」などと、難しく考える前に、講師に促されるまま、すっと音楽に入って行く様子が、印象的でした。少し難しそうに思えることも、難なくこなしてしまう子どもたちの感性に驚きました。最終日は、練習の成果を発表するというよりも、ＷＳを他の学年と共有して「ジャズがどんな風にできていくのか」を実際に見せる形で、とても面白かったと思います。

先生から

今回で４度目のジャズ教室となり、児童は大きな期待感を持って参加しました。ほぼ全員が講師の先生方とアドリブを体験することができ、喜んでいました。自分達で練習していた「A 列車で行こう」も先生方とセッションすると、ジャズの特徴が際立ち、とても楽しい演奏になりました。最終日に行った発表会には、全校児童と保護者も参加し、ジャズに親しむことができました。継続していくことで、子供達に力がついていくので、今後ともこのような教育プログラムをぜひ実施していただきたいです。

音楽

中村特別支援学校 ＋ 子どもに音楽を ヴァイオリンを感じる

担当アーティスト	横山奈加子　他
実施校	横浜市立中村特別支援学校（南区）
コーディネート	特定非営利活動法人 子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／クラシック音楽／全学年、21 学級、80 人対象
実施日程	2009 年 10 月 23 日

授業のねらいと内容

出来るだけ身近で聴いて欲しいということで、当初学校側の希望であった近隣の小学校と合同での体育館での鑑賞形態を、特別支援学校のみで行うことになった。

アーティストから

・普段、コンサートなどに出かけるのが不自由な子ども達に喜んでもらえたのが伝わってきて演奏していて嬉しかった。
・子ども達の前で演奏する機会は過去何度かあったが、今回は特別に印象に残った。
・コンサート後、握手をした子ども達がかすかに握り返してくれた感触、かすかに見せてくれた笑顔は一生忘れることが出来ない。子供達が音楽を聴くことで少しでも元気になってくれたらと心から念じています。

コーディネーターから

今回の様に、障害のある子どもたちにこそもっと音楽他のものを体験させてあげたいという想いが強くなった。子ども達の感じる心の豊かさに驚いた。（悲しい曲で泣き出した子がいた）

先生から

障がいがあるために、芸術というものに触れることが極端に少ない本校の子どもたちにとって「本物」を体験できる貴重な機会として、今年も参加させていただきました。子どもたちは CD やビデオ、コンサートホールなどでは味わうことができない「本物」の音を身体全体で感じとっていました。是非来年も「本物」に出会えたらと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

音楽

富士見台小学校 ＋ オフィスマキナ
声とイメージ(1)

担当アーティスト	鈴木慶江
実施校	横浜市立富士見台小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／5 学年、3 学級、78 人対象
実施日程	2010 年 2 月 4 日、2 月 5 日、2 月 12 日

授業のねらいと内容

子どもたち自身が、自分が持っている楽器である「声」の魅力に気づくことを目標とします。からだをほぐし、腹式呼吸を学び、全身を使って歌う楽しさや面白さを体験します。また、文部省唱歌を課題曲とし、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌うことを学びます。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

子どもたちはひとつひとつの課題に一生懸命取り組み、とてもいい歌を歌っていました。連続した２日間で集中してワークショップを行ったことも良かったと思います。ただ、３回の授業でできることは限られているので、多くの先生に授業を見ていただいて、その先につなげていただけたらいいなと思いました。その場で終わってしまうのが、少し残念に感じました。

コーディネーターから

初日のミニ・コンサートから積極的に質問が飛び出し、子どもたちは興味を持って真剣に取り組んでくれたと思います。リハーサルでたくさん歌うことができたので、本番もいい声で歌っていました。ただ、やはり体育館が寒く、発表会のときも体が縮こまってしまう部分があったので、実施時期を見直してもよいかもしれません。また、先生方との協働についても、より良い方法を検討したいと思いました。

先生から

・本物に触れる機会は子どもたちにとって、とても貴重な体験でした。歌声をきいている時の目の輝きや、指導をうけている時の真剣な様子などたいへん印象に残りました。３時間と言う短い練習時間でしたが、子どもたちは満足して「冬げしき」の発表ができたと思います。卒業式に参加する５年生にとって、歌をつくりあげていくよい経験ができたと思い、今後につなげていきたいと思います。

・生の声を聞き、驚いた子ども達が見られて幸せでした。今でも「鈴木先生の歌い方しよう」「ポンプ使わなくちゃ」と自然と意識し、声を出しています。

・我々教員が声の出し方、発声方法を教えるよりも体で覚えることができました。

・今後は教員用の研修もあれば勉強になります。ありがとうございます。

音楽

星川小学校 ＋ よこはま音楽広場実行委員会
日本舞踊の動きかた(1)

担当アーティスト	藤間恵都子
実施校	横浜市立星川小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	よこはま音楽広場実行委員会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／日本舞踊／全学年、13 学級、336 人対象
実施日程	2009 年 9 月 14 日

授業のねらいと内容

①全児童にとって分かりやすく楽しい体験となる。②日本舞踊と和楽器による演奏を通して日本の伝統芸能に直接触れる機会を持つことで、日本の伝統文化への理解を深める。②和楽器の演奏に合わせて全学年が取り組みやすい日本舞踊を少しでも体験することで、日本伝統芸能への親しみや興味を促す。

アーティストから

小学生対象のワークショップは久々でしたので、プログラムの組み立てに悩みました。選曲は分かりやすい語句のものにしたので、本来の長唄らしさはなかったと思いますが児童の反応が良く安心しました。曲の持つ緊迫感など、素直にこころに響いていたように感じました。最後に参加してもらった踊りのしぐさは、一生懸命に取り組んでいたのが印象的でした。公演のなかで、一つでも児童の心に残ったものがあればと願っています。

コーディネーターから

昨年度も担当した事で話し合いがスムーズだった。今回の担当教諭は日本舞踊の使用楽器の事前学習を指導するなど、熱心に取り組んで下さった。アーティストは初の実施だったが、丁寧に分かりやすく進行して下さった。低・中学年は比較的熱心に見て聞いて楽しむ様子が伺えた。体育館で全児童対象の場合、座席配置の工夫が今後必要になると感じた。

先生から

多人数による日本舞踊や、様々な種類の楽器の演奏に、子どもたちは興味をもって鑑賞していたようである。いろいろな動きを全員が体験できるように、プログラムを組んでくださったので、とても良かったと思います。１年生から６年生をすべて満足させるプログラムは難しいと思いますが、体験の内容に、高学年向きのものを含めて、舞台を活用するなどの工夫をすると、さらに充実したものになると考えます。小学生向きに考慮してプログラムを組んでくださったので、ほとんどの子が飽きずに満足できる内容になったと思います。ありがとうございました。

音楽

汐見台小学校 ＋ オフィスマキナ
声とイメージ(2)

担当アーティスト	鈴木慶江
実施校	横浜市立汐見台小学校（磯子区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／5 学年、3 学級、86 人対象
実施日程	2010 年 2 月 1 日、2 月 2 日、2 月 15 日

授業のねらいと内容

子どもたち自身が、自分が持っている楽器である「声」の魅力に気づくことを目標とします。からだをほぐし、腹式呼吸を学び、全身を使って歌う楽しさや面白さを体験します。また、文部省唱歌を課題曲とし、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌うことを学びます。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

子どもたちはとても集中して歌っていました。それぞれが情景を思い浮かべながら歌っているのがよくわかりました。時間的が足りなくて伝え切れなかった部分を、ワークショップ後に、音楽専科の先生にフォローしていただいたので、発表会までスムーズにつなげられました。

コーディネーターから

４年目の継続校で、ワークショップから発表会までを、行事の一環として実施するという学校の風土ができていると思いました。また、このワークショップをきっかけに子どもたちに「歌を大事にする」という気風が生まれていると伺い、感激しました。今回は、ワークショップ中に、歌詞を「どのような感じで歌うか」という表現方法について、子どもたちと一緒に考えたことが、とても良かったと思いました。

先生から

ソプラノ歌手の鈴木慶江さんに、５年生対象で３日間計５時間の音楽の授業をしていただきました。音楽室でのお話を交えたミニコンサートでプロの演奏家が急に間近に感じられ、１クラスずつの授業では実際に慶江さんのお腹を一人ずつさわらせてもらい腹式呼吸のすばらしさを実感しました。曲の情景を思い浮かべる授業では、いつも以上に集中し、熱心に慶江さんとともに曲想を感じとり曲を作り上げていきました。１クラスずつまわってくださった給食では楽しく会食ができ、歌以外でのプロの音楽家の魅力を感じることができました。子どもたちの日常では味わうことのできない本物の音楽に身近に接することができ、プロの演奏家の人間性にふれ、子どもたちは皆歌がもっと好きになった、声が出るようになったと大満足の感想をよせていました。たったの３日間で子どもたちをよりよく変えることのできる力に感心し、またありがたい気持ちでいっぱいです。

音楽

能見台南小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
声という楽器で(1)

担当アーティスト	森美紀子
実施校	横浜市立能見台南小学校（金沢区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／5 学年、4 学級、151 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日、10 月 21 日、10 月 29 日

授業のねらいと内容

自分たちが持っている「声」という楽器を使って、無理をせず自然な声で歌う方法でジャズの醍醐味であるリズムやテンポ変えて歌う楽しさを体験する。課題曲「アメージンググレース」をクラスごとにアレンジしてクラス全員で一緒に歌い、心を合わせて一つの歌を作り上げていく楽しさも体験し、終了後の達成感を持ってもらう。

アーティストから

目の高さを同じにしてしっかりと目を見つめて感想を聞くということは重要なこと。一人ひとりと接する時間を大切にし、心と体がそれぞれバランスの良い時期に体験していただけたらアンバランスになった時の心の土台が違ってくるのではないかと感じました。

コーディネーターから

指導対象が 4 クラスとなり、アーティストには無理をお願いしたが、学校の全面的な協力で授業は成功裡に終了した。時間がない中、アーティストは児童と真摯に面と向かって指導していただき、一人ひとりの子供たちも一緒につくる喜び、楽しさ、大切さが感じられたのではないか。また、子供たちにプロの指導・歌を直に聞かせることにより、今後、彼らの糧になるのではないかと思う。

音楽

小机小学校 ＋ 横浜音楽協会
フルートのスクールコンサート(1)

担当アーティスト	田部元太
実施校	横浜市立小机小学校（港北区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜音楽協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／フルート／全学年、22 学級、648 人対象
実施日程	2009 年 11 月 12 日

授業のねらいと内容

・フルートの音色に親しむことができるようにする。
・フルートの形状や音の出るしくみを知り、その音色の特徴を味わって聴くことが　できるようにする。
・クラシックからポピュラーまで、幅広い音楽を楽しむことができるようにする。
「クラッシク・ヨコハマ」スクールコンサートとして実施。

アーティストから

・子ども達と身近に接し、対話しながら進めたことにより、素直に対応してくれて、とても楽しく演奏することができた。
・日ごろはＪポップ等を聴くことが多い子ども達であるが、クラシックと音楽にも興味をもってくれたと思う。
・フルートの音色に親しんでくれたと思う。

コーディネーターから

・２０才の若い演奏者は、子ども達の気持ちを上手につかみ、楽しい雰囲気の中で　演奏を進めることができた。
・演奏者自身が作成した４５分間のプログラムも適当であった。
・演奏者・伴奏者ともにすばらしい力をもった二人であった。

先生から

アーティストの方はとても魅力的な演奏をしてくださいました。親しみやすい雰囲気で、音色も美しかったです。ありがとうございました。

音楽

大豆戸小学校 ＋ 大倉山記念館
耳をすます、奏でる

担当アーティスト	もび
実施校	横浜市立大豆戸小学校（港北区）
コーディネート	大倉山記念館
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／パフォーマンス／6 学年、3 学級、92 人対象
実施日程	2009 年 12 月 4 日、12 月 8 日、12 月 10 日

授業のねらいと内容

まじめでおとなしい子が多く、自分から発言したり行動したりすることがなかなか少ないので、音を通して“自由に表現する”楽しさを発見する。また、生徒それぞれが音楽を充分に楽しむ。

アーティストから

学校の様々な場所の意味を、「耳をすましてきくこと」、「正直に奏でること」を通して少しずつずらしながら、「音楽の授業」の歩む線を寄り道させられたらと考えて大豆戸小に行きました。このワークショップでは、きく、奏でる、の二つの行為に、「少しの間信じてみること」を加えて、なんでもないこと、くだらなく思えることに真剣に取り組むことを、子どもたちにも体験してもらえたらと思い、率先して行いました。3 日間を通して、興味の矢印が、徐々に思い思いの方へと向き始めた感触がありました。子どもたちがさらに音に没頭したり、自分の世界を深めていったりするにはどうしたらよいかが課題として残りました。

コーディネーターから

今回の取り組みを通じて、担当の先生をはじめ学校との良好なつながりを作ることが出来ました。大倉山記念館は集会室を主とした公民館的な役割の施設として、文化のランドマークとなることを目標にしているため、施設側のメリットも充分にあったと考えています。また、先生方からの“非学校的”な授業の要望を強く感じ、文化施設としての事業計画にも役立つ情報が得られました。今回は学校側の寛容な対応もあり、アーティストの要望を全面的に受け入れてもらえました。このような学校側の姿勢があればこそ、このプログラムの利点を、関わる人達全体で享受できると強く感じました。

先生から

普段の授業では体験できないような面白いプログラムでした。若いアーティスト達の豊かな感性を子どもたちは吸収し、十分に楽しんでいました。担当学年以外の子どもたちのためにミニコンサートを急きょ開くなど、学校側の希望にも臨機応変に対応してくださり、ありがとうございました。

音楽

上矢部小学校 ＋ 横浜音楽協会
フルートのスクールコンサート(2)

担当アーティスト	田部元太
実施校	横浜市立上矢部小学校（戸塚区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜音楽協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／フルート／全学年、23 学級、782 人対象
実施日程	2009 年 11 月 26 日

授業のねらいと内容

・音楽の楽しさや良さにふれることを通して、音楽への興味関心を高めたり、鑑賞態度を育てる。
・音楽を通して生活を楽しく豊かにしようとする意欲や態度を育てる。
「クラッシク・ヨコハマ」スクールコンサートとして実施。

アーティストから

低学年も高学年も非常に鑑賞態度が良く、演奏する側としても気持ちよく演奏できた。最近はゲームやテレビなどから、テーマ曲やコマーシャルの一部としてクラシックが多少編曲されながら使われていることが多い。子供達が耳にしている曲では関心をもって聴いている。

コーディネーターから

学校や演奏者との連絡はメールやＦＡＸを利用したので、内容もはっきりとして記録としても残り仕事しやすかった。会場の準備が万端整い、演奏者もこちらも動きやすかった。演奏は音色も美しく、児童にわかりやすい曲の解説があり、フルートについては簡単な説明があった。プログラムはコーディネーターが作製し先生方に配布した。児童の知った曲が含まれていて選曲がよかった。

音楽

東戸塚小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
ゴスペルの魅力(1)

担当アーティスト	河原 厚子、城田 有子
実施校	横浜市立東戸塚小学校（戸塚区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ゴスペル／5 学年、4 学級、155 人対象
実施日程	2009 年 11 月 19 日、11 月 20 日、11 月 27 日

授業のねらいと内容

みんなで楽しく一つの音楽を作り上げていく楽しさを経験する。歌は「アメージンググレイス」。高学年になると苦手意識を持ちながら「歌う」ことを英語の歌詞を使うことで払拭していく。また、各クラスの個性を発揮したアレンジに取組、最後にお互いのクラスの曲を聴きあうことで、音楽の持つ魅力に気づく。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

今回、とにかく子供たちのアイデアの豊富な事にとても驚きました！1 組のラップと熱いけれどまとまったダンス、2 組のきちんとしたストーリーとオリジナルの日本語歌詞、3･4 組のユニークな輪唱とボディパーカッション、本当に驚きました！そして沢山の意見をみんなで即座にまとめていく団結力！素晴らしい子供たちのパワーに感動いたしました！また、先生方の暖かいご協力、楽しいパフォーマンスもとてもとても嬉しかったです！実り豊かな 3 日間、有難うございました。

コーディネーターから

昨年のプログラムの反省を踏まえて企画の調整を行なった。その結果、生徒一人ひとりに対し目配りができ、生徒にとって一番よい形となった。

先生から

昨年に引き続き２度目の授業でしたので、こちらも安心して、アーティストのみなさんにおまかせすることができました。子どもたちのよさを上手に引き出し、アイデアいっぱいの演奏に仕上げていく過程を見ていて、とても参考になりました。その後の子どもたちの活動の中にこの体験を通して得たものが音楽的なものにとどまらざ、いろんな活動への積極性なども表れています。一人一人のよさやおもしろさを認め、高めていくことの大切さを改めて学ばせていただきました。

音楽

深谷台小学校 ＋ 横浜シティオペラ
オペラへの好奇心(3)

担当アーティスト	横浜シティオペラ
実施校	横浜市立深谷台小学校（戸塚区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／オペラ／全学年、12 学級、260 人対象
実施日程	2010 年 1 月 28 日

授業のねらいと内容

生徒にオペラ鑑賞を実体験してもらい、理解を深めてもらう。判りやすいように日本語の訳詞で演奏し、また所々説明をナレーション、台詞を入れることによってより内容を理解しやすくした。またオペラの歴史や声種、オーケストラなどについても簡単に解説し、クラシック音楽により親近感を持ってもらえるようにした。

アーティストから

オペラ『電話』自体は『ヘンゼルとグレーテル』に比べると少し大人っぽい内容ですが、台詞やナレーションを入れたせいで、子供達も良くわかったようでした。静かに行儀よく鑑賞してくれました。演奏後の質問コーナーでも沢山の子供たちが質問してくれましたし、感想文も頂き、楽しんでもらえたことが伝わってきました。

コーディネーターから

今回はインフルエンザによる学級閉鎖で2度も延期になり、予定を合わせるのが少し大変でした。しかし、校長先生の皆で体験しなければ意味がないというポリシーは、子供たちを見ていたらひしひしと伝わってきました。

音楽

俣野小学校 ＋ オフィスマキナ
ジャズのアドリブを体感(2)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立俣野小学校（戸塚区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ジャズ／4 学年、1 学級、22 人対象
実施日程	2009 年 9 月 9 日、9 月 30 日、10 月 7 日

授業のねらいと内容

ジャズは横浜にとってゆかりのある音楽でありながら、子どもにとって、聴く機会は多くありません。まず、本物のアーティストによる生演奏を間近で鑑賞し、ジャズ特有のリズムやハーモニーを体験します。また、子どもたち自身も楽器を持って、実際にアドリブを体験します。お互いに聴き合いながら自由に表現する楽しさと、バンドと一緒に演奏する喜びを味わうことを目的とします。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

継続して実施している学校なので、他の学年の子どもたちも含めて、以前のことをよく覚えていて驚きました。今年は音楽の先生がヴァイオリンを弾いて下さったので、また趣向が変わり、とても良かったと思います。授業中に作った曲をリコーダーで覚える際も、よく集中していたと思いました。「ジャズなんてやりたくない」と言っていた数人も、よくお互いの音を聞いていて、最後には楽しそうに演奏していました。

コーディネーターから

継続校ですので、段取りが非常にスムーズでした。昨年の音楽選科の先生が担任をしておられたので、プログラムに対する事前の周知が行き届いていると感じました。元気なクラスでしたが、音楽が鳴り出すとバンドの音を一生懸命聴いているのがよくわかりました。発表会では、音楽専科の先生・担任の先生・保護者の方も舞台に上がってアドリブに参加し、場が多いに盛り上がりました。

先生から

プロの力、生の力、を感じました。音楽が好きな子どもはもっと音楽を楽しむことができ、音楽の授業ではあまり意欲をもてない子どもも、ジャズのリズムにのって身体を動かしたり、じっと聴き入ったりすることができていました。本校ではここ数年ジャズ教室を依頼していますが、毎年楽器が異なり子どもたちも楽しみにしています。横浜市でこのようなプログラムを行っていただいているので、音楽の素晴らしさを子どもたちに伝えることができると思います。

音楽

矢部小学校 ＋ よこはま音楽広場実行委員会
日本舞踊の動きかた(2)

担当アーティスト	藤間恵都子
実施校	横浜市立矢部小学校（戸塚区）
コーディネート	よこはま音楽広場実行委員会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／日本舞踊／4 学年、3 学級、110 人対象
実施日程	2009 年 11 月 17 日

授業のねらいと内容

①日本舞踊と和楽器による演奏を通して日本の伝統芸能に直接触れる機会を持つことで、日本の伝統文化への理解を深める。②和楽器の演奏に合わせて日本舞踊を体験することで、日本伝統芸能への親しみや興味を促す。③体験を通して自由な自己表現の機会を持ち、他者と取り組むことで相手の表現を共有し認め合う機会を持つ。

アーティストから

今回は 110 名位の体験型ワークショップでしたが、結果的にちょうど良い人数だったと思います。時間も余裕があったのでやりやすかったです。子供たち、特に男子が心配したより積極的に参加してくれ安心しました。正座や踊ることも思っていたよりスンナリと行き、子供たちの可能性をつくづく感じました。楽器は、やはり生の演奏になると興味津々で聞いていたのが印象的でした。自分達で作った杵がやる気を誘ったようにも感じました。

コーディネーターから

馴染みがないと思われる日本舞踊を間近に見て、その後自分達が同じ曲で踊るという一連の流れは、子ども達をより主体的にさせ、肌で伝統芸能を感じる体験となったようだ。３クラスを４グループに分け、踊りを習うというより指先からつま先まで自分の体に意識を向けるということが何よりも新鮮な体験になったようだ。講師達と息を合わせようとする子ども達の姿はとても爽やかで素晴らしく体験型の醍醐味を感じた。一緒に踊る教師も印象的だった。

先生から

藤間恵都子さん（日本舞踊）の説明、和楽器の説明は分かりやすくてよかった。おどりの指導も４グループにわかれ、各グループに２名の指導者（子どもの気持ちをそらさず上手に指導してくれた。）がつくなど、よかった。子どもたちも真剣に楽しく取り組めた。

音楽

港南台第三小学校 ＋ よこはま音楽広場実行委員会
声と表現

担当アーティスト	小澤慎吾
実施校	横浜市立港南台第三小学校（港南区）
コーディネート	よこはま音楽広場実行委員会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／6 学年、2 学級、60 人対象
実施日程	2010 年 2 月 18 日、2 月 25 日

授業のねらいと内容

歌うことを通して、伸び伸びとした自己表現を促す。仲間とともに表現を共有する楽しさを体験する。卒業生を送る会に向け、保護者や先生方に対して体験の成果を発表する。

アーティストから

20 年ほど前から小中高等学校にて音楽コンサート、オペラ及び体験講座に参加してまいりましたが、最近の都心部の学生は、個人主義的であるとか、おとなしいというか、目に力がないなどといわれています。しかし、音楽を体験させるだけでなく、心を揺さぶってみると、子供たちの目に力が湧き上がり、心の奥底がほぐれ、笑顔の花が咲き始めました。何てかわいく、清らかで、純真な花々。現代の子供たちは、この色彩を失いかけているような気がします。これからも世界中に素敵な花を咲かすことができるよう精進してまいりたいと思います。

コーディネーターから

担当教員と事前の話し合いで①保護者の前で発表できる内容②自己表現を伸ばしたいなど、主観と客観的な目標が提示されましたので、アーティストと相談し、事前に「旅立ちの日に」を課題として出した所、実施日に向けて子ども達は練習し、歌う気持ちも自然と高まったようで、ワークショップは集中して行えました。先生方も子ども達と一緒にご準備下さったことは、皆で一緒に作り上げるという大切なプロセスに繋がったかと思います。

先生から

プロの演奏家の方々に実際に教えていただいたり、演奏していただき、子どもたちはもちろん私共教員もとても感銘いたしました。いつもと違う指導者や雰囲気の中、新鮮な気持ちで取り組めているようでした。講師の先生方の姿（衣装も）、立居振舞い、言葉がけなどで教室内の空気も変わるのですね。子どもたちの目の輝きも違っていました。音楽の学びにはあまり関心のない子たちの中には、「音楽っていいものだな」と気持ちが変化したようです。

音楽

永谷小学校 ＋ オフィスマキナ
声の魅力とその響き（2）

担当アーティスト	山口佳子
実施校	横浜市立永谷小学校（港南区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／4 学年、3 学級、92 人対象
実施日程	2010 年 1 月 12 日、1 月 15 日、1 月 22 日

授業のねらいと内容

子どもたち自身が、自分が持っている楽器である「声」の魅力に気づくことを目標とします。腹式呼吸を学び、より気持ちよく声を出すことに挑戦します。まだ音楽や歌に対する好き嫌いが少ない 4 年生のクラスで実施し、全身を使って歌う楽しさを体験することを目指します。

アーティストから

初めての 4 年生対象の授業でしたが、5，6 年生と変わらない内容にもしっかりとついて来ているようでした。質問を投げかけると中々正解には達しないもののポンポンと子供なりの答えが返って来るなど、興味関心はむしろ強く、積極性もあったような気がしました。ただしどうしても一つの工程に時間が掛ってしまうので、子音のさばき方や歌詞の内容の理解、気持ちを込めて歌う事の大切さを知るといった所まで充分に指導が及ばなかったのが残念でした。

コーディネーターから

教わったことをそのままやってみようという、子どもたちの素直な姿勢が印象的でした。特に腹式呼吸の練習には、非常に集中して取り組んでいました。発表会前のリハーサルで、内容をイメージして歌う大切さを講師が伝えると、それまで関心がなさそうだった一部の子どもたちも、とても真剣に話を聞いていました。「子ども」に向けて話すのではなく、対「人間」として大事なことを（少々内容は難しくとも）伝える重要性を感じました。

先生から

オペラ歌手の方の歌声を聴くのははじめてで最初はびっくりしていた子どもも、だんだんひきつけられていき、講師にあこがれる気持ちがもてたようで、さすがに本物の力は大きいと思いました。ワークショップでは、1 時間ごとに成果が表れ、声がよくひびくようになりました。ワークショップの成果を最後に発表するというプログラムの構成もよく、講師のミニコンサートもしていただいたので、他の学年の児童や先生方にも大好評でした。歌がうまくなったと実感でき、全校の人の前で発表できたことで自信にもつながり、歌うことが好きになった子どもが増えました。今後は、この歌声を日々の学習につなげてもっと高めていこうと思います。教師の指導の参考にもなりました。

音楽

日野南小学校 ＋ オフィスマキナ
ジャズのアドリブを体感(3)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立日野南小学校（港南区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ジャズ／5 学年、2 学級、80 人対象
実施日程	2010 年 11 月 25 日、12 月 2 日、12 月 9 日

授業のねらいと内容

ジャズは横浜にとってゆかりのある音楽でありながら、子どもにとって、聴く機会は多くありません。まず、本物のアーティストによる生演奏を間近で鑑賞し、ジャズ特有のリズムやハーモニーを体験します。また、子どもたち自身も楽器を持って、実際にアドリブを体験します。お互いに聴き合いながら自由に表現する楽しさと、バンドと一緒に演奏する喜びを味わうことを目的とします。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

とてもリズム感のよい子どもたちでした。音をよく聞いて、カンをはたらかせて、難しいリズムもこなしていたので驚きました。発表会では、アドリブをする人の順番を決めず、その場で当てられた人がアドリブをするという形を取りました。指された子は、すぐにアドリブに挑戦していました。４年生だと「体験する」だけで終わってしまう部分が、５年生だと「理解して実践する」というところまでできると思いました。

コーディネーターから

前任の音楽の先生がドラムセットを使って指導をしておられたので、ドラムに対する興味がとても強かったようです。「爆弾の音」「天国の音」など、子どもたちの要求に応えてアーティストが楽器で音を作ってみせると、大喜びでした。授業中に作られたブルースは、かなり難しいリズムでしたが、強い集中力を発揮していました。多目的ホールでの発表では、リラックスした感じで、楽しそうに演奏していました。

先生から

大変素晴らしい機会をいただきましてありがとうございました。今回授業を受けさせていただいた児童たちは、楽譜を見て演奏することに対してむずかしさを強く感じる子どももいる学年でした。その為、どのように音楽を受け止めていくのか、不安な気持ちでスタートしました。しかし、第１日目から、先生の魔力に魅せられて、集中して授業を受けていました。児童の言う様子や物をドラムの音で表現していただいたり、様々なリズムをウッドベースで演奏していただいたり、みんなで一つになっていました。また、アドリブでは、まちがいはなく、自由にやってよいことを知り、「はじめは、ドキドキしたけど、楽しくできた。」と喜んでいました。音楽の一つとしてジャズがあることを知り、楽しむことができて、よかったと思って居ります。ありがとうございました。

音楽

左近山小高小学校 ＋ サンハート
ジャズのアドリブを体感(4)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立左近山小高小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／ジャズ／4・5 学年、2 学級、60 人対象
実施日程	2010 年 1 月 27 日、1 月 28 日

授業のねらいと内容

学校の重点目標である「豊かな表現力を一人ひとりが身につける」ことを目指すとともに、単級でおとなしめになりがちな子どもたちの「殻を破る」ことができるように、子どもたち自身で試行錯誤できる場を提供する。そのため、子どもたちが好きな活動である「音楽」で、かつ、予備知識や接した経験の少ないジャンルである「ジャズ」をテーマとし、独特のリズムと「アドリブ」を体感することで、驚きと興味をもって、楽しみながら未知の体験にチャレンジしてもらう。

アーティストから

他学年への発表がない形での実施でしたが、授業内で充実した体験ができたと思います。おとなしいクラスでは、初めはなかなか手が挙がらなかったので、まず担任の先生にアドリブに挑戦していただいて、少しずつ雰囲気に慣れてもらいました。ドラムセットが取り合いになるなど、楽器への強い興味も感じられました。金管バンドクラブの子どもたちは、各自の楽器でアドリブをしてくれましたが、皆とてもうれしそうに吹いていたのが印象的でした。

コーディネーターから

事前の打合せで、先生から「少人数校で単級のため、非常におとなしいクラス」という前情報をいただいていたが、プログラム全体を通して、アーティストの投げかけに対する反応はやや弱かった。ただ、反応が無いわけではなく、アーティストの話や演奏に対して個々に興味を示していった。

先生から

今回ジャズのご指導ありがとうございました。ちょうど２日目の５年生の演奏の様子を見ました。講師の先生方と子供たちが、音を通して触れ合う様子が分かりました。音が、リズムが、心と心の響き合いが教室空間にあふれていました。子どもたちにとって、すばらしいひとときになったと思います。ありがとうございました。

音楽

左近山第二小学校 ＋ サンハート
ゴスペルの魅力(2)

担当アーティスト	河原 厚子、城田 有子
実施校	横浜市立左近山第二小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／ゴスペル／6 学年、2 学級、44 人対象
実施日程	2009 年 7 月 14 日、7 月 15 日、7 月 16 日

授業のねらいと内容

プロのボーカリストによる圧倒的な声量や独特のリズム・ハーモニーを間近に聞くことで、誰もが持っている、もっとも身近で、それでいて魅力的な楽器である「声」のもつ力を感じ取ってもらいます。さらに、講師と一緒に自分たちオリジナルのアレンジを考え、発表することで、ゴスペルの自由さや奥の深さを理解し、「歌うことは楽しい」ことを体験してもらいます。

アーティストから

初日は、『一体この人たちは何者なんだろう？』と不思議そうに見ていた子供たちでしたが、すぐに慣れてくれ、またまた今回も非常にユニークなアメージンググレースができあがりました。しかも、とても対照的な作品でした…。　アクロバティックな見せ場たっぷりのクラス！かたや、芝居仕立ての感涙・感動のクラス！子供たちの無尽蔵のアイディア・頭の柔らかさに私たちも驚きの連続でした！　今回は、たまたま 3 日間続けてのワークショップで、どうなるかな？と多少心配でしたが、かえって緊張感がしっかり持続して、素晴らしい発表になりました！

コーディネーターから

河原さんを講師とした「ゴスペル」プログラムでは、3 年目にして初の試みとなる、3 日間連続の日程での実施。学校の日程に合わせてのものであり、事前の授業等で、ゴスペルに関する予備知識等を入れない形でのスタートとなったが、子どもたちのテンションが途切れず、導入・検討・練習・発表の各段階がとてもスムーズに進んだ。子どもたちの元々の反応も良く、規模もさほど大きくない構成だったのも、プラスに働いたと思われる。

先生から

ありがとうございました。子供たちが、回数を重ねるごとに表情も豊かになり、歌も大きくなっていく様子がとても感動しました。これからの学校生活の中でも継続して取り組み、卒業式の歌につなげていきたいと思っています。

音楽

ひかりが丘小学校 ＋ サンハート
ゴスペルの魅力(3)

担当アーティスト	河原 厚子、城田 有子
実施校	横浜市立ひかりが丘小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ゴスペル／全学年、6 学級、100 人対象
実施日程	2009 年 10 月 26 日

授業のねらいと内容

「音楽」という言葉の通りに、「音を楽しむ」体験を子どもたちにしてもらえるよう、プロのボーカリストの圧倒的な声量や独特のリズム・ハーモニーを間近で聞いて、ゴスペルの魅力や奥深さに触れます。今回のプログラムでは、昨年に引き続いての実施ということで、昨年より「体験」の部分を増やし、アーティストとともに声を出し、リズムに合わせて身体を動かすことで、より「ゴスペルの魅力」に触れ、普段の音楽とは異なる体験をするプログラムとします。

アーティストから

昨年に引き続き、ひかりが丘小学校全学年の皆さんの笑顔に出会えて、とても幸せになれました。私たちが唄っている時の子供たちの真剣な眼差し、音を逃すまいと耳を一生懸命傾け、はたまた思いっきり笑い、身体中から声を出して私たちに反応してくれました！大都市横浜の小学校なのに…、何故か郷愁を感じ、山奥？はたまた田畑の真ん中？と懐かしい感じがしてしまうのは何故でしょうか。帰り道、それはそれは暖かい気持ち良さをメンバー全員、楽しませていただきました！

コーディネーターから

全学年で 100 人という少人数校のため、2 年続けて全校（＋併設の幼稚園の児童）へのプログラムとなったが、昨年のプログラムやアーティストを覚えていてくれた子どもも多く、また子どもたちが参加する比率を増やしたこともあって、より和気藹々としたムードでの実施となった。熱狂的な盛り上がりとまではならなかったものの、みんなで楽しむという雰囲気はうまれていたため、「普段の音楽とは異なる体験」を提供できたと思う。

音楽

山下小学校 ＋ 子どもに音楽を
チェロを感じる

担当アーティスト	向山佳絵子、広海滋子
実施校	横浜市立山下小学校（緑区）
コーディネート	特定非営利活動法人 子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／クラシック音楽／5 学年、3 学級、96 人対象
実施日程	2010 年 1 月 14 日

授業のねらいと内容

5 年生の鑑賞教材が弦楽器であり、余り身近にない楽器であるので本物を体験させたい、という学校側の希望に添って、チェロの向山さんに演奏をお願いした。一方的な演奏会というのではなくせっかくの機会なので子ども達と演奏家との交流も考えた。質問コーナーを設け、又、会の終わりに演奏家・子ども達が一緒にエルガーの「威風堂々」を演奏することにした。

アーティストから

クラスによって、相当、子ども達の雰囲気が違いました。最後に子ども達全員のリコーダー合奏と一緒に演奏でき楽しかったです。

コーディネーターから

学校側の対応はとても良く、演奏家をはじめ事務局の者も気持ちよく活動することができた。質問コーナーでは通常の活動時より質問が少ないように感じました。

先生から

実施前は 60 分は長いような気がしていたが、子どもたち（のほとんど）は集中力を持続させて鑑賞することができていた。それは、近い距離からいい音色をきくことができたからだと思う。また、選曲も子どもの関心をひきつけたようで、曲を通して、チェロの様々な音に楽しめていた。

音楽

阿久和小学校 ＋ オフィスマキナ
ジャズのアドリブを体感(5)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立阿久和小学校（瀬谷区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ジャズ／4 学年、2 学級、43 人対象
実施日程	2010 年 1 月 13 日、1 月 20 日、2 月 3 日

授業のねらいと内容

ジャズは横浜にとってゆかりのある音楽でありながら、子どもにとって、聴く機会は多くありません。まず、本物のアーティストによる生演奏を間近で鑑賞し、ジャズ特有のリズムやハーモニーを体験します。また、子どもたち自身も楽器を持って、実際にアドリブを体験します。お互いに聴き合いながら自由に表現する楽しさと、バンドと一緒に演奏する喜びを味わうことを目的とします。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

子どもたちはとても集中してバンドの演奏を聴き、感想や意見を尋ねると次々に手が挙がりました。アドリブに対する積極性には個人差があるので、音をひとつずつ増やしていくなど、内気な子でもトライしやすい方法を取りました。発表のときも、お互いによく聴き合っていたと思います。何をするか「納得して」やっているという感じがしました。

コーディネーターから

昨年の４年生の発表を覚えていて、最初からとても楽しそうに取り組んでいました。普段の音楽の授業とはまったく違った形のアプローチなので、音楽専科の先生が感じていらっしゃる「もどかしさ」もよくわかりました。子どもが自分から挑戦するまで少し時間をかけて待つ、なるべく介入しないで自由にやらせてみる、といった点について、先生とアーティストで話し合ったことも良かったと思いました。

先生から

昨年度に続いて２回目です。昨年度の最後は３年生に聴かせるという授業でした。その時に「来年は私たち」という思いを持たせたので、４年生になった子どもたちは一年間待ちに待ったという気持ちで今回の授業に望みました。指導の先生方に教師自身の思いや考えをお話することで昨年度よりも子どもたちの満足度が増したように思います。今年度も３年生に聴かせましたので、「来年度は私たち」という思いを持ったと思います。ぜひ、来年度もさせていただけましたら、本校のカリキュラムに再度入れていきたいと考えています。ありがとうございました。

音楽

下瀬谷小学校 ＋ 日向山小学校 ＋ オフィスマキナ
ジャズのアドリブを体感(6)

担当アーティスト	ユキ・アリマサ
実施校	横浜市立下瀬谷小学校、日向山小学校（瀬谷区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／ジャズ／全学年（下瀬谷小学校）15 学級、361 人対象 （日向山小学校）6 学級、142 人対象
実施日程	2009 年 11 月 4 日

授業のねらいと内容

ジャズは横浜にとってゆかりのある音楽でありながら、子どもにとって、聴く機会は多くありません。まず、本物のアーティストによる生演奏を鑑賞し、ジャズ特有のリズムやハーモニーを体験します。また、身近な曲がジャズとして演奏されるとどう変化するかを聴き、バンドと一緒に歌う喜びを味わうことを目的とします。

アーティストから

この教育プログラムで、１回きりのコンサート形式で授業を行うのは初めてでした。ＷＳやＷＳ最終日の発表会と比べると、バンドとして演奏する時間が多かったので、しっかり演奏を聴いてもらえたと思います。１時間、盛りだくさんの内容でしたが、低学年の子どもたちも最後までよく聞いていました。静かな曲がいいという子と、元気な曲がいいという子が、同じぐらい手を挙げていたのが面白かったです。

コーディネーターから

演奏前から楽器に関する質問が飛び、まずは楽器の紹介から始まりました。「聖者の行進」「星に願いを」など、子どもたちが聞き知っている曲が演奏されたので、最後まで飽きなかったようです。子どもたちの選んだ音を使って即興で曲が作られたり、文部省唱歌の「紅葉」が静かなスローで演奏されると、とても集中して聞いていました。バンドと一緒に「グリーン・グリーン」を全員で歌ったときには、子どもたちも自然とスイングしていました。

先生から

（下瀬谷小学校）

とても楽しかった。子ども達が知っている曲を使って、いろいろアレンジしていただけて良かったです。１つの曲がリズムやベースを変えることで曲の感じが違うことがわかって子ども達もおどろいていました。リズムにのった元気なジャズと静かなジャズをみんながよく知っている「もみじ」で演奏してくださり、とてもわかりやすかったです。また、一緒に歌う場面もあり、あきずによく聴いていました。子ども達の感想もベースやドラムをやってみたいというものが多かったです。ありがとうございました。

（日向山小学校）

本校のねらいは子どもたちに生の芸術にふれさせたいということとともに、全校一緒の心に残る思い出作り、統合に向けて日向山小・下瀬谷小の子どもたちに共通の体験をもってもらうことでした。実際に授業をしていただいて、子どもが自分から興味をもち音楽や演奏の様子にふれることができ、ＣＤ等ではなく本物はやはりよかったです。しかし、１～６年ですと好みや集中できる時間の長さも異なり、１時間のうち１、２曲一緒に歌うことはあったものの聴き続けるのは難しい面もありました。一緒に手拍子を打つなどで参加できることが増えることで、演奏者や子ども同士の一体感ができ、より楽しく鑑賞できると思いました。

音楽

南瀬谷小学校 ＋ オフィスマキナ
声の魅力とその響き(3)

担当アーティスト	山口佳子
実施校	横浜市立南瀬谷小学校（瀬谷区）
コーディネート	株式会社 オフィスマキナ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／6 学年、4 学級、150 人対象
実施日程	2010 年 1 月 21 日、1 月 25 日、1 月 26 日、1 月 29 日

授業のねらいと内容

子どもたち自身が、自分が持っている楽器である「声」の魅力に気づくことを目標とします。からだをほぐし、腹式呼吸を学び、全身を使って歌う楽しさや面白さを体験します。文部省唱歌を課題曲とし、日本語を丁寧に発音して歌うことを学びます。

アーティストから

子どもたちはとても素直で集中力もあり、授業内容にもよくついて来てくれたと思います。これまでよりも実際に声を出して練習する時間を多く取った事で、かなり声が出てきたので子どもたちにも達成感をより感じてもらう内容になったと思います。

コーディネーターから

２年目の継続校で、先生方との連携を含め非常にスムーズに実施することができました。どのクラスも講師の話にじっと聴き入り、非常に集中して取り組んでいました。発声練習では、コツを掴むたびにどんどん声が変わり、驚きました。発表会では子どもたちはかなり緊張した様子で、授業の効果をいかに本番へつなげるかが、課題だと感じました。

先生から

ミニコンサートで山口先生の歌声を聞かせていただき、子どもたちは、相当な刺激を受けたようです。その刺激が二度の授業の中に大いに生かされたことと思います。どの子も真剣な眼差しで授業を受けていました。指導計画もきちんとされていて感心しました。歌の基本となる呼吸法や体全体を使って歌うことの大切さを分かりやすく丁寧に教えてくださって、大変ありがたかったです。さらに発声のしくみから響きのある声の出し方までご指導いただき、本当に為になりました。今後もまたお世話になることがあるかもしれませんが、その折には、今回のような展開で進めていただけたなら十分かと思います。いろいろありがとうございました。

音楽

桂台小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
ゴスペルの魅力(4)

担当アーティスト	河原 厚子、城田 有子
実施校	横浜市立桂台小学校（栄区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／ゴスペル／5 学年、2 学級、73 人対象
実施日程	2009 年 10 月 27 日、10 月 28 日、10 月 31 日

授業のねらいと内容

10 月 31 日のオープンスクールに向け、みんなで楽しく一つの音楽を作り上げていく楽しさを経験する。歌は「アメージンググレース」。高学年になると苦手意識を持ちながら「歌う」ことを英語の歌詞を使うことで払拭していく。また、各クラスの個性を発揮したアレンジに取組、最後にお互いのクラスの曲を聴きあうことで、音楽の持つ魅力に気づく。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

色々な小学校に行かせていただいていますが桂台小学校では、本当に印象深い教育プログラムを昨年に引き続き実施させていただきました特に先生方の熱い生徒への情熱に感動！そして、子どもたちの自由なひらめき、多彩なアイデアに驚きの連続！私たちの予想をはるかに上回る素晴らしいパフォーマンスを堪能させていただきました。先生方、子どもたちからいただいたパワー！愛！に感謝！感謝です。ありがとうございました。

コーディネーターから

発表会に向けて子供たちの創造力が発揮され、アーティストも思ってもいなかったアイデアがでて、活発な授業となった。担当の先生方も積極的に係わっていただき、５年生の良いところを引き出していただいた。アーティストも楽しんで指導をしていた。オープンスクールで保護者も大勢来て、子供たちの成果を堪能した。

先生から

・本番前には子どもたちがどれだけ集中できるかとても不安でした。普段がとても集中力の持続が難しかったのですが、先生方一人一人がとても魅力的でぐっと集中した 3 日間でした。ゴスペルという本物の音楽を心、体で味わえ、また学級としても 1 つのことをつくりあげる力もみられ、本当にすばらしかったです。終った後も、ビデオをみて喜び、先生たちの歌に合わせて歌っている姿がとても生き生きとしていました。私自身も本当に楽しい 3 日間でした。

・新しい子どもの姿が見られました。積極的に活動していてとてもよかったです。日程を、月曜日、木曜日、土曜日（発表）くらいの予定だと余裕があっていいかなとも思いましたが、今回みたい間隔が狭いと子どもの考え方が反映されてよいとも思いました。間隔があると担任が入りすぎてしまいますしね。楽しい体験をありがとうございました。

音楽

千秀小学校 ＋ リリス
みんなのまちのクラシック

担当アーティスト	高瀬真由子、加賀谷彩、伊久希
実施校	横浜市立千秀小学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センター リリス
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／クラシック音楽／全学年、6 学級、242 人対象
実施日程	2009 年 11 月 5 日

授業のねらいと内容

「プロが演奏する本物の芸術」に生で触れることで、感性を磨き、音楽が楽しいものだという認識をよりいっそう深める。千秀小学校校歌や共演プログラムを通じて、音楽の楽しさを味わう。

アーティストから

前半に関して。１～３年生対象で、素直な反応が返ってきました。楽器紹介のときに、舞台の上からだと、説明をしても伝わりにくいので、下に降りて児童たちの近くで説明しました。ヴァイオリンやチェロなど、身近で見たことがあるという子が結構いましたので、大きさや音程の違いだけでなく、造りなどの説明も詳しくしました。ピアノは、まだ楽器が暖まっていなくて、音が響かず大変でした。　後半に関して。6 年生との共演プログラムで、暗譜してきていたのには驚きました。全体的に、できれば音楽室での開催にして、児童たちとの距離を近くできると、もっと子どもたちへのインパクトと記憶が残るので、学年を決めて毎年開催したほうがオススメです。

コーディネーターから

小規模校であるためか、落ち着いた和やかな雰囲気で進行でき、生徒たちも楽しく鑑賞できていた。高学年の「カノン」共演プログラムも、ぶっつけ本番ながら美しい共演を披露できた。

先生から

千秀小のような小規模校で、音楽鑑賞や演劇鑑賞をするのは、費用がかかるという点で、今までしたくてもできなかったので、このプログラムは、とてもうれしいものでした。又、申し込みをして、来ていただけるか心配していたのに、来ていただけて、しかも、打ち合わせも綿密なもので、とても安心しました。今回は音楽鑑賞ということで、千秀小からも見学に行っている、地球市民プラザ内のリリスから来ていただけ、子ども達もとても身近に感じつことができました。ふだん、クラシックをあまり聞く機会が少ない子ども達のために、テレビで流されている曲や、子ども達の授業で聞く曲を入れてくださり、子ども達の興味・関心をさらに引き出し、感動させていただきました。途中で、バイオリン、チェロ、ピアノについて、説明していただいたのも、よかったです。バイオリンの弓が馬の毛で出来ていることを、分解して見せてくださった時に初めてわかり、子ども達もびっくりしていました。校歌を演奏してくださり、いっしょに歌ったり、6 年生もリコーダーでカノンをいっしょに演奏したりと、すごく、心に残る場面もありました。千秀小にとってものすごくプラスになったこのプログラムを来年もぜひ続けて参加させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

音楽

伊勢山小学校 ＋ テアトルフォンテ
耳と目で聞く

担当アーティスト	HARROMI-YAH!!!（ハロミーヤ）　林瑞穂、篠田浩美、大家一将
実施校	横浜市立伊勢山小学校（泉区）
コーディネート	泉区民文化センター テアトルフォンテ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／パーカッション／1・2 学年、4 学級、120 人対象
実施日程	2009 年 12 月 9 日

授業のねらいと内容

本物との出会いは、感性の豊かな子どもたちにとって刺激的で得るものも多い。本プログラムでは、子どもたちが芸術的なものへの関心を持ち、その面白さを認識するきっかけをつくるとともに、音楽鑑賞のマナーを体験する機会とする。さまざまな打楽器を自在に操り、個性豊かな音を奏でる「ハロミーヤ」の 3 人が、実際に音楽室のバスドラムやビブラフォンなどを使い、目でも耳でも

楽しめる時間を創出する。さまざまな打楽器から出てくる不思議でゆかいな音と一緒に「あそぶ」時間を通し、子どもたちが音を身近に感じる糸口としたい。

アーティストから

今回の演奏会は子どもたちの反応が予想以上に良かったので、とてもやりがいを感じました。また、スタッフや学校の先生が温かい方ばかりだったので、雰囲気の良い空間で演奏会をすることが出来ました。子どもたちが元気よく歌を歌ってくれたり、身体を大きく動かしてリズム遊びを一緒に楽しく出来たのも嬉しかったです。打楽器の音から、子どもたちがさまざまなイメージを広げてくれたり、音を聞いて即時反応が出来るのも本当に感心しました。とても有意義な時間を過ごせました。子どもたちをいかに最後まで飽きさせずに集中させ、音楽を聴いて貰えるか…。これからもどんどん工夫を凝らした楽しい演奏会をしていきたいと思います。

コーディネーターから

1 つのマリンバを 3 人でまわりながら弾くなど、目でも楽しめる「ハロミーヤ」の演出は、登場時から子どもたちの笑いを巻き起こし、あっという間に 1 時間が経った。皆が歌える曲から迫力の現代曲まで、身近な「打楽器」からさまざまな響きが引き出され、子どもたちは主体的に耳を澄ましているように見受けられた。内容はもとより、事前の導入や本番の進行についても、先生や演奏者との密な連携が、本番で子どもたちが体験する音楽の質に結びつくことを実感した。

先生から

新型インフルエンザ等の対応で最後まで開催が心配されましたが、実施に向け、関係者の方々が誠実に取り組んでくださいました。感謝しております。当初全学年対象であったものを低学年（1～2 年）に変更して実施いたしました。内容的には、対象を広げず低学年で行ったことは結果的によかったように思います。通常の音楽では、積極的に参加できないお子さんもいきいきとしていたと、担任の先生も驚かせていました。感想も喜んで書いていたそうです。中には自分も「ハロミーヤの一員になりたい」と書いていた子どももいたようで、みな大感動、大感激でした。常々『本物との出会いが大切』と思っておりますので今後も継続して事業を実施していただけるように希望します。ありがとうございました。

音楽

荏子田小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
声という楽器で(2)

担当アーティスト	森美紀子
実施校	横浜市立荏子田小学校（青葉区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／声楽／4 学年、3 学級、93 人対象
実施日程	2010 年 1 月 26 日、1 月 28 日、1 月 29 日

授業のねらいと内容

自分たちが持っている「声」という楽器を使って、無理をせず自然な声で歌う方法を知り、ジャズの醍醐味であるリズムやテンポを変化させて歌う面白さを体験します。また、課題曲をクラスごとにアレンジし、クラス全員で一緒に歌うことで心を合わせて一つの歌を作り上げていく楽しさも実感します。課題曲は「アメージンググレイス」。課題曲の歴史的背景を知り、英語の歌詞に取り組むことで、子供たちに達成感を持ってもらう。2 分の 1 成人（10 歳）である生徒に対し、講師の体験に基づく生命（いのち）の授業を行い、生命（いのち）の大切さを伝えます。

アーティストから

二分の一成人式を迎える 4 年生児童を対象にした授業でした。心身ともに成長の過度期である思春期を前にしたこの時期に、「平和」と「生命」を考える授業ができた事は意義のある事であったと思います。今まで年齢的にも考えの及ばなかった部分の話に子供たちの瞳が輝き始め深く思慮しようとする姿に、私達講師も教えられることが大きく、この機会を与えてくださった企画に感謝します。いつもの授業ではなく非日常の中で新しい大人に出会い、初めての話を目の当たりにし、子供たちの心に大きなインパクトがあったのではないかと思います。

コーディネーターから

4 年生（10 歳）を対象に「生命の大切さ」の授業を実施した。講師から課題曲の成立の背景と体験（病歴）に基づいた話を聞き、各自が持つ生命の重さに生徒たちも十分認識した。歌唱指導については、授業当初から英語の歌詞で歌えていて、学校の事前の協力が素晴らしかった。クラスごとのアレンジを実施し、パフォーマンスを含め、子供たちの持つ豊かな潜在能力を引き出せたのではないか。

先生から

森先生、池田先生、お２人のお人柄、音楽にふれることができ、子どもたちと大変充実した３日間を過ごすことができました。生のジャズの演奏のスウィング感、いくらでも即興的に変化していく音楽の魅力に限られた時間でしたが、大いに親しむことができました。また、お２人の経験から話されるいかに平和であることが大切か、仲間を思いやる気持ちが貴いかというメッセージも子どもたちに素直に伝わったようです。音楽の活動とお話の場のバランスが良く、３日間のご授業はあっという間のように感じました。ほんとうにどうもありがとうございました。

音楽

鉄小学校 ＋ フィリアホール
ア・カペラのハーモニー

担当アーティスト	AURA(アウラ)
実施校	横浜市立鉄小学校（青葉区）
コーディネート	青葉区民文化センター フィリアホール
実施科目・教科名	特別活動
実施内容	鑑賞型／アカペラ／全学年、8 学級、200 人対象
実施日程	2009 年 10 月 28 日

授業のねらいと内容

横浜市の「学校を開く週間」の期間中に行う鑑賞会。生徒だけではなく、父兄や地域の方々も招いて多くの方々に音楽を楽しんでいただく。今年は横浜開港 150 周年にもあたるので、横浜市の市歌をプログラムに入れて全員で歌う。また、演奏だけでなく、ア･カペラのハーモニーの秘密についても触れる。

アーティストから

小さい子供たちの前での演奏は初めてだったが、皆さんとても真剣に目をきらきらさせながらじっと聴いてくれて良かった。曲間では少し騒がしくなっても、歌が始まると、自然と静かになって、集中していてくれたことが分かった。とくに最前列の 1 年生も落ち着いて聴いていたのが印象的だった。演奏する側もすごく楽しい経験だったので、また機会があれば是非チャレンジしてみたい。

コーディネーターから

鉄小学校では音楽鑑賞会が既に多く開催されていて、ピアノ・弦・管など、様々な楽器の演奏を生徒たちは今までに聴いたことのある環境だった。そのような状況の中でも、少し異色な「ア･カペラ」を提供することにより、新鮮な印象を皆さんに持っていただけたのではないかと思う。アンケートでもそれが伺える。学校との連携については、校長先生の並々ならぬ熱意と人柄の良さが全てにおいて助けとなり、全く困ることはなかった。

先生から

今回はステージ上ではなく、同じフロアで、演奏してくれたことにより、臨場感、迫力、呼吸までも、子どもたちが体験・体感することができ、すばらしい成果が得られたと思う。また、女声 5 重唱での合唱でア・カペラ演奏ということもあり、歌うことの楽しさ、ハモることの美しさ、うれしさも十分に味わうことができたと思う。実はこのプログラムを実施してからの数日間はいろいろな学年で「トルコ行進曲」や「フニクリ・フニクラ」などを歌い合う光景が見られた。子どもたちの体の中に確かに染みこんだのだなと思った。

演劇 深谷小学校 ＋ アートの時間
身体で表現する

担当アーティスト	柏木陽
実施校	横浜市立深谷小学校（戸塚区）
コーディネート	アートの時間
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／身体表現／3・4 学年、4 学級、122 人対象
実施日程	2010 年 1 月 8 日、1 月 15 日、1 月 22 日、1 月 29 日

授業のねらいと内容

文化的なものに触れる機会が少ない子ども達に、自らの身体を動かし、声を出す演劇的体験をさせ、新たな自己発見のきっかけとする。最終的に、学習発表会で発表をする。（プログラム期間のみでは、発表できるまで仕上げるのではなく、その後、先生方が引き継ぎ完成させる）

アーティストから

学校という、すでに人間関係ができあがっているところで「非日常的なことをやる」おもしろさがあります。「言われたからやってみたけど、まんざらでもない」と思ってもらえたらしめたものです。3-1 では「チンゲン葉の育ち方」を種蒔きから収穫して料理するところまで身体の動きだけで 6 グループが発表しました。あらすじが同じなのに、続けて観ていられるのは、そこに子ども達の「語る身体」があるからです。

コーディネーターから

「普段静かな子が、廊下でマイケルを踊りだしました。こんなことしても受け入れられるんだという感覚が演じる中で見つけられたのかな。私としても、子ども達を客観的にみるいい機会でした。」と話してくださった若い先生がいます。子ども達にも、先生の中にも「戸惑いと発見」を残していくことが教育プログラムの役割の一つなのだと感じます。短期間で引き継ぎ、学習発表会として仕上げられた先生方はすばらしかったです。

先生から

教師は視野を広げる必要があると常々考えている。しかし、現実にはなかなかそういった機会をもてずに、学校というせまい世界での経験のみで、子どもたちと接している教師も少なくないと感じる。そういう意味で、学校現場とは異なる専門家の方に学校に来ていただき、子どもに指導して下さるということは、子どもにも教師にも刺激になる。子どもだけじゃなく、教師も学ばせていただいた。今回の柏木様は子どもたちの中には入ってくださり、とてもフレンドリーに子どもたちに接していただいた。本校の子どもたちにはとてもよかったと思うが、「アーティスト」の方によっては今回とはちがった形になるだろうとも思う。その方によっては、子どもに合う、合わないは当然生じてくるとも思った。

演劇

港南台第一小学校 ＋ ST スポット横浜
ことばと演劇

担当アーティスト	渡辺香奈
実施校	横浜市立港南台第一小学校（港南区）
コーディネート	特定非営利活動法人 ST スポット横浜
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／演劇／3 学年、2 学級、74 人対象
実施日程	2009 年 12 月 9 日、12 月 16 日、1 月 14 日

授業のねらいと内容

身体表現に親しむ中で、子どもたちが上手なコミュニケーションの取り方を考える機会にする。そのために、子どもたちがなじみやすい題材と、体を動かすプログラムを通じて、創造力やイメージをのびのびと膨らませることに主眼を置く。

アーティストから

今回は、子どもたちにクラスの思い出の作品を作ってもらいました。この演劇の授業も、みんなの楽しい思い出にしてくれたら、とてもうれしいです。

コーディネーターから

「身体や声を使って想像したものを立体化することの楽しみを経験する」「仲間と作り上げることで、共有し活かすことの難しさと手ごたえを感じる」といった目的を達成することができました。

先生から

渡辺香奈さんの助手として来校されていた方が上手に子どもの心をつかんで活動されていた。ありがとうございました。

演劇

善部小学校 ＋ ST スポット横浜
みんなでつくる、演じる

担当アーティスト	倉品淳子
実施校	横浜市立善部小学校（旭区）
コーディネート	特定非営利活動法人 ST スポット横浜
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／演劇／5 学年、3 学級、82 人対象
実施日程	2009 年 12 月 1 日、12 月 15 日、12 月 17 日

授業のねらいと内容

自己表現が気軽にできる状況を作り出し、学習発表会などの発表へ関心をつなげる。具体的には「クラスの二人が転校してしまいます。転校する二人は別れを告げ、残るひとは送ることばを言います」とのシチュエーションをもとに、各チームに分かれて作品を創作し、発表する。

アーティストから

演技が好きな子どもや、真剣に取組む子が多かったのが印象的でした。今回は、みんなで一気に作り上げた演劇作品を解体して、もういちど再構成してみるという、集団創作の方法で子どもたちと作品づくりを行いました。やればやるほど見えてくるものがあったと思います。

コーディネーターから

挑戦することや何かを作っていくことについて、もともとモチベーションが高い子どもたちでした。１クラス４５分ずつを３回という限られた時間でしたが、集中力を持って演劇に取り組んでいました。また、３回の取組以外にも子どもたちが自主的に練習をしていたりしたようで、その甲斐もあり、クラスごとの色合いが出た発表で、とても面白いものになりました。

先生から

３日間の授業の中で子ども達が生き生きと活動していた姿が心に残りました。やはりいつもの先生達とはちがう、プロの方と接したことによってその真剣さが子どもに伝わったようです。子ども達なりにいろんなことを感じとったと思います。今回の活動で新しい自分自身の姿を発見した子も多くいました。

演劇　中和田南小学校 ＋ テアトルフォンテ
自己表現とコミュニケーション

担当アーティスト	東の宮美智子
実施校	横浜市立中和田南小学校（泉区）
コーディネート	泉区民文化センター テアトルフォンテ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／演劇／5 学年、2 学級、50 人対象
実施日程	2009 年 11 月 9 日、11 月 20 日

授業のねらいと内容

目標 ： 気持ちを表現できるように（感情を全面に出せるように）

本プログラムでは、子どもたちに感情を身体で表現することを体験してもらいます。体操をしながら「泣く」「笑う」「怒る」を「腹の中」で作っていく、また、グループに分かれて「笑い」「かゆい」「怒り」の感情を段階で表現していくなどの実技を通し、遊びながら自然に自己表現、コミュニケーションの方法を見つけてもらえればと思います。

アーティストから

児童はおとなしいとの先生の話でしたが、皆で円になり体操し、お腹の底から「笑う」練習をすると、友達と遊んでる時のような顔になり、次々と手を上げてエチュードをやってくれました。「笑う」「怒る」「恐怖」を『演じる』ことを自由に思いっきりやってくれました。一番嬉しかったのは、人が演じている時に観ていること――観客も舞台を創る――を伝えられたことです。将来、芸術を大切にする人になってくれると思います。演劇を観るだけでは解らない経験になったと思います。

コーディネーターから

最初は身体をほぐしていくところから始めましたが、時間が経つにつれ、遊びながら感情を身体で表現することが出来ていたと思います。言葉を使わずに身体で感情を表現するのは難しいことだと思いますが、子どもたちが積極的に取組んでいた姿が印象的でした。日常生活での自己表現・コミュニケーションにもつながる内容だったので、子どもたちに体験してもらえたのが良かったと思います。

演劇

山田小学校 ＋ 劇団かかし座
影絵をみる、体験する

担当アーティスト	かかし座
実施校	横浜市立山田小学校（都筑区）
コーディネート	劇団かかし座
実施科目・教科名	特別活動
実施内容	体験型／演劇／1～3 学年、9 学級、300 人対象
実施日程	2010 年 3 月 2 日

授業のねらいと内容

この事業に関して学校側では体験型を想定していたようですが、学校側の問題として、まずは授業時間を割くことが難しいという点があげられた。かかし座からは提案として鑑賞型をお薦めしました。学校では低学年を対象とした鑑賞を実施したいとのご要望をいただいたので、上記プログラムの実施となりました。

アーティストから

この作品は三つのショートストーリーをオムニバス形式で上演していますが、三つ目の物語を始めましょう！と言ったとたん、子どもたちの中から「ワー、やったー！」と声が上がりました。上演開始から子どもたちがが集中して見てくれていると感じていましたが、私たちもとても嬉しく感じた瞬間でした。作品の中で手影絵を体験できるコーナーも入っていますので、その事も子どもたちが喜んでくれたようでした。そして、先生たちも子どもたちと一緒に楽しんでくれたようでした。

コーディネーターから

学校側との打ち合わせの結果、鑑賞型にすることになりましたが、結果的には良かったと思います。実施した山田小学校では数年前より演劇鑑賞会は実施しておらず、校長先生もこういった芸術鑑賞は実施できると良いのだが、と仰っていました。

先生から

今回、初めて本プログラムに申し込み、プロのアーティストの方に授業していただくことの良さを改めて実感しました。体育館に入った瞬間から、素晴らしいステージが用意されており、子どもたちは非日常の世界に引き込まれてワクワクしておりました。実際に影絵の体験をさせていただいているときには、どの子も目が輝き、より芸術が身近に感じられたことと思います。学校にいる職員にはなかなか難しいことを実現してくださり、子どもたちにとっても、大変素晴らしい体験になりました。

演劇　坂本小学校 ＋ Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
パペットをつくる、演じる(1)

担当アーティスト	中村信子
実施校	横浜市立坂本小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	企業組合 Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
実施科目・教科名	演劇
実施内容	体験型／パペット／3 学年、3 学級、85 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日、10 月 20 日、11 月 5 日

授業のねらいと内容

自分で工夫したパペット人形を製作する。それを遣い寸劇やグループ発表を通して豊かな創造性を育む。全工程を通して互いに協調、協力することを通してコミュニケーション能力向上を育むことを目標とする。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

子どもたちの発想は自分自身の参考にもなりますし、楽しいプログラムです。講師とのやり取りで一人づつと応対することで子ども達の顔がはっきり見え、パペットと子どもの顔がつながったのがよかったと思っています。今後も継続してやりたいという声をいただいたことは講師として大変うれしいことだと思っています。

コーディネーターから

学校の取り組みとして位置づけていただいていますので、全体的に問題なく進めることができました。学習発表会で保護者の方にも成果を観ていただいています。特に今年は講師が指導した操演のポイントを子どもたちが自分たちの表現として活かしているのが印象に残りました。

演劇 八景小学校 ＋ 横浜こどものひろば
思いをつたえる

担当アーティスト	渡辺穣
実施校	横浜市立八景小学校（金沢区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜こどものひろば
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／演劇／4 学年・個別支援級、3 学級、61 人対象
実施日程	2009 年 11 月 4 日、12 月 3 日、1 月 12 日

授業のねらいと内容

・自分の思いや気持ちを大きな声で伝えること。
・人前で表現する喜び、達成感を伝え、自分たちもやってみたいと思う気持が持てるように努力する。

アーティストから

今回のワークショップを担当するにあたり、自分の小学生時代、そして２年前まで小学生だった甥をイメージしてのぞんだ初日でしたがいきなりのノックアウト…。大人にあたりまえのように伝わる言葉や思いが通用しない現実。それでも３日間を通してなにかを共有できた手応えを感じつつ、企画の段階から担当の先生も交えて意見交換しながら組み立てたら、もっともっと子どもたちにとって忘れられない時間を作ることができたのではないかと切実に感じました。

コーディネーターから

・ベテラン俳優の真摯で真剣な指導に応える生徒さんたちと、子どもたちに交じって積極的に授業をつくっていこうとする先生方の姿がありました。
・１０歳という節目を２分の１成人式として、４年生として過ごした１年の学校生活をグループに分かれて小さなお芝居にして自ら演じるという課題は楽しくもあり、またハードルの高いものでもあり、思春期の入口に立った子どもたちには人前で発表する晴れがましさと恥ずかしさの両面が一緒にわいてくる思いだったのではないかと感じられました。
・それでも３回の指導故か、最終回には体育館中に届くほどの大きな声で自分への期待を発する子どもたちを頼もしく思いました。

先生から

八景小の子どもたちの為に力を尽くしていただき、ありがとうございました。担任一同心より感謝しております。今回のプログラムに参加させていただいた目的に、１月の「１／２成人式」に向け、恥ずかしがりやで、人前で大きな声を出すことが苦手な子も、「大きな声で自分の言葉を伝えられるようになってほしい」という思いがありました。１回目の授業から、「じょうさん」「みっちゃん」と演劇集団円の方々には親しみやすく接していただき子どもたちも安心してスムーズに取り組むことができました。動作化した自己紹介の場面から楽しみながら声を出す工夫が盛り込まれ、ゲームで体を思いっきり使い、子どもたちを惹きつけてくれました。２回目の授業は、子どもたちも最初から心を開き、授業を楽しみにしていました。グループで声を合わせるゲームなど、どれも楽しみながら声をだす工夫が盛り込まれ、少しずつ声が出せるようになってきたことを嬉しく感じました。３回目はお正月明けで、「１／２成人式」が迫っていたため、実際の子どもたちが作ったグループごとの寸劇に対してアドバイスをいただきました。教師の気づかない工夫などをアドバイスいただき、その後の練習に生かすことができました。コーディネーターの方には私たちの意図を理解し、アーティストを選んでいただき、子どもたちが楽しんで参加できたことを感謝しています。追伸：１月 25 日には、無事１／２成人式も行うことができました。緊張しながらも子どもたちも自信を持って、満足のいく寸劇や呼びかけができたようでした。ありがとうございました。

演劇 上大岡小学校 ＋ 急な坂スタジオ
他人の表現を受けいれる

担当アーティスト	石神夏希
実施校	横浜市立上大岡小学校（港南区）
コーディネート	急な坂スタジオ
実施科目・教科名	国語
実施内容	体験型／演劇／6 学年、2 学級、61 人対象
実施日程	2009 年 11 月 4 日、11 月 6 日、11 月 12 日

授業のねらいと内容

演劇の小作品製作（グループでアイディアを出し合っての作品づくり、言葉と体を使った演技）を通し、コミュニケーション能力、特に生徒個々の「自己表現」の力を伸ばすことを目指す。

アーティストから

演劇ならではの「チームでの表現（他人の表現を受け容れながら自分が表現すること）」を体験してもらったが、あるチームの発表には生徒たちからアンコールが出るなど、お互いの表現に熱心に向き合い、楽しんでくれていたと思う。自分の予想以上に、子供たちの「上手にやりたい」「面白いものにしたい」といった向上心が高いことに驚いた（自主的に練習する・衣装を作る等）。
少しでも「残る」体験をして欲しくて作品の完成・発表というゴールを設定したが、今後また授業をする機会があれば、より自由な表現を引き出すために、いかに彼らの競争意識やプレッシャーを取り除くかという点にも取り組みたい。

コーディネーターから

学校の協力により、小道具・衣装の工作や楽器などを交え、教室外の会場にて普段の授業とは違った時間になりました。アーティストは、「何かを教える」というスタンスではなく「側にいる」ことで、生徒たちは共に悩み、話し合いながら表現力やチームワークを発揮できたと思います。普段やりなれないことだからこそ、照れや恥じらい・緊張を感じながら、クラスメイトが仲間として向き合う場になれたかと思います。

先生から

急な坂スタジオの里見さんはじめ、スタッフの皆さんには何度も学校に足を運んでいただきました。特に里見さんには細かいところまで事前にコーディネートしていただき感謝いたしております。また、里見さん自身が、プログラムを盛り上げようとしていることを強く感じることができました。急なお願いや変更に対しても気持ち良く対応してくださり、感謝いたしております。アート教育を通して、何の学習をするのか、当初は子どもも教師もよく把握できないところもありましたが、実際に取り組んでみると、子どもたちは演じることの魅力に引き込まれていました。日頃の学習では見せることのない種類の生き生きとした表情や意欲を感じることができました。その道のプロの方に教えていただくということは、それだけでも子どもたちにとっては興味があるものであり、意味あることでもあると思います。子どもたちからはもっとやりたい、違ったストーリーにも取組んでみたいという前向きな声が多く上がっていました。貴重な体験をありがとうございました。

演劇

新治小学校 ＋ Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
パペットをつくる、演じる(2)

担当アーティスト	中村信子
実施校	横浜市立新治小学校（緑区）
コーディネート	企業組合 Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／パペット／3 学年、2 学級、53 人対象
実施日程	2010 年 1 月 28 日、2 月 12 日

授業のねらいと内容

自由に創造性豊かなパペット人形を製作する。講師のパペットと即興を演じることにより表現力を育む。全工程を通して互いのコミュニケーション能力向上を育むことを目標とする。

アーティストから

子どもたちの、のびのびとした明るさを感じました。各自創作、演技の工夫などクラス全体で楽しみながら「人形劇」や「表現する」楽しさを体験できたと思います。とても楽しい授業でした。

コーディネーターから

大人が予期せぬ工夫のあるパペットがたくさんできました。今年の３年生の表現力はすばらしく、講師との即興でのやりとりでは「役者揃」で感心しきりでした。振り返り当日も子どもたちが自発的に即興劇を楽しんでいますと先生から伺い大変うれしく思いました。

先生から

１回目はパペットの製作でしたが、綿密な計画や準備のもとに、子どもたちに分かりやすく伝えられ、指導が行われた。手先の器用さの差により、また個性の差によりさまざまな個性あふれる作品が製作された。一緒にどの子もとても興味をもって楽しく取り組むことができ、満足気な様子が見られた。２回目は製作したパペットをもとに、その動かし方や寸劇など指導していただいた。ふだん進んで発表できない子もパペットを通して話すこと、顔を見ないで話せることなどにより、積極的に学習に取り組めた。事後、さらに別な場面での使い方なども紹介いただき、とても参考になった、すばらしい取組であったと思った。

演劇

榎が丘小学校 ＋ Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
パペットをつくる、演じる(3)

担当アーティスト	中村信子
実施校	横浜市立榎が丘小学校（青葉区）
コーディネート	企業組合 Ｍｅｄｉａ　Ｇｌｏｂａｌ
実施科目・教科名	演劇
実施内容	体験型／パペット／2 学年、4 学級、127 人対象
実施日程	2010 年 2 月 15 日、2 月 17 日、2 月 23 日、2 月 24 日

授業のねらいと内容

自由な発想でパペット人形を製作する。パペットを媒体とした表現力を育む。全工程を通して互いのコミュニケーション能力向上を育むことを目標とする。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

各クラスそれぞれ個性のある楽しいパペットができました。子どもたちの発想力には、いつも新しい発見があります。２年生ですが友達の発表を観る、自分が演じるということもしっかりできてよかったと思います。

コーディネーターから

今年は型紙をすべて子どもたちでカットしてみました。（昨年は一部カット済で製作）。先生方から、問題なくカット作業できたというお声を頂戴しました。振り返りで、このプログラムに初めて取りくまれる先生のためのレクチャーがあるとよいとご希望がでました。来年度、実行可能であれば行いたいと考えています。

先生から

※

舞踊

永田小学校 ＋ 吉野町市民プラザ
自分のダンスをつくる

担当アーティスト	JOU
実施校	横浜市立永田小学校（南区）
コーディネート	吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／コンテンポラリーダンス／4 学年、3 学級、86 人対象
実施日程	2009 年 11 月 13 日、11 月 24 日、12 月 2 日

授業のねらいと内容

コンテンポラリーダンスとは、決まった型のないダンス。アーティストそれぞれの意識や感覚といった個性が、それぞれの型となっていきます。揃わなくても良い、人と違っていていい…そのことをまず楽しみ、認め合えることを目指します。その上で、お互いの中でどのような共通点を見出し、時間と空間を共有していくか、その面白さを体験していきます。自分や社会や人生にも変換できうるこうしたコンテンポラリーダンスならではの感覚を、ほんの少しでも体験してもらいたいと思います。

アーティストから

”自分のダンスをする”ことの中には、感性、個性、想像力、表現力、コミュニケーション力などの総合能力が必要であり、それらは、真の意味で”生きる力”の基礎力、ということを、授業を通して再認識し、共鳴できたこと。皆の楽しそうな笑顔。給食。子どもは社会の未来。教育は国の源。命は身体と心。こうした画期的な教育プログラムを実践されている財団、学校の先生方、全てに、感謝致します。貴重な時間をありがとうございました。

コーディネーターから

元気一杯体を動かす子どもらしい姿の中に垣間見える大人の表情は、10 歳という、身体的にも精神的にも大人に向かっていく過程を感じました。この授業を通して、身体を動かすことにより、自分らしさを見つけたり、自分の気持ちを表現したり、友達とコミュニケーションをとったりと色々な事柄を少しでも感じ取ってもらえていたらいいと思います。

先生から

「ダンス」ということで子ども（特に男子）のことを当初楽しく参加できるか心配していました。しかし前年度経験された先生もとてもよかったとのお話しでしたのでダンスに決めました。少し大人になりかけるこの時期（4 年生）の子どもたちにとって言葉のキャッチボールなど心の面の解放、適度な運動量がとてもよかったと感じています。また音楽に合わせて、ふりつけをまじえた発表のダンスもよかったです。子どもたちも楽しめました。このような機会を与えて下さり感謝しています。

舞踊

菊名小学校 ＋ ST スポット横浜
自由にうごく

担当アーティスト	山崎広太
実施校	横浜市立菊名小学校（港北区）
コーディネート	特定非営利活動法人 ST スポット横浜
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／コンテンポラリーダンス／3 学年、4 学級、128 人対象
実施日程	2009 年 7 月 6 日、7 月 7 日、7 月 8 日

授業のねらいと内容

学校側からは、身体を使って表現する機会が少ない中で、コンテンポラリーダンスのプロの振付家による授業を通して、子どもたちが心と身体を開放し、身体を使って自己表現する力を養うと共に、秋の体育祭の発表するパフォーマンスに繋がるキーを提供したいとの要望があった。ST スポット横浜としては、国内外で第一線で活躍する振付家／ダンサーの山崎広太を講師に起用し、ダンスが持つ力で、子どものコミュニケーション力、表現力、創造力を高めることを目指した。

アーティストから

子供達にとって、体を使ってのコミュニケーションが、いかに豊かなものにするのか、想像していた。そしてそれが必要不可欠なものとして痛感した授業だった。自分の過去を振り返るなら、自分は余り言葉を上手く話せる子ではなかった。言葉を話そうと考える前に、体を使ってコミュニケーションができたら、どれほど素晴らしいのだろうと思っていたのである。つまり、お互い同士を言葉ではなく、体で知ることなのである。そして、ダンスすることの喜びを体験させたいと思っていた。

コーディネーターから

全体の印象として、生徒の適応力は大変高く、さまざまな課題に積極的に取り組む姿勢が伺えた。個別に見ると、当初はクラスごとで集中力やまとまりに差異があるように感じられ、講師も状況を見ながら試行錯誤を行っていた。しかしながら、最終日の発表では、比較的消極とも思えたクラスが個性的でまとまりのあるダンスを発表し、低年齢の生徒に向けたクラスでは連続性をもったクラスが有効だと思った。講師のパーソナリティも明るく魅力的だったことも、クラスにいい影響を与えたものと思われる。

先生から

実施時の様子…最初は恥ずかしがってなかなか動こうとしなかった子どもたちが先生の声かけや、動きを見て、少しずつ動き出し、友だちと関わりながら慣れてくると、とても楽しそうに活動していました。最後の発表会では、照れもなく、のびのびと表現していたので、とても良かったと思います。＜今後の期待や希望、感想＞今回山崎先生に、いろいろな表現の方法を教えて頂きましたが、子どもたちは「自由に動いてみよう」「思ったことを自由に発表しよう」などの声かけに、初めとまどっている様子でした。普段、教師に言われたことをやるので「自分で考えて」ということに慣れていないんだなということに改めて気付きました。でも、少しずつ「何を発表しても構わないんだ」ということに気づき、子どもたちなりに考えて動いていたので、こんな一面も持っているんだなと、改めて学んだことも多くありました。

舞踊

日野小学校 ＋ 横浜こどものひろば
オイリュトミー体験

担当アーティスト	松山由紀
実施校	横浜市立日野小学校（港南区）
コーディネート	特定非営利活動法人 横浜こどものひろば
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／オイリュトミー／1・2 学年、4 学級、113 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日、10 月 22 日

授業のねらいと内容

・体を動かすこと、気持ちを一つにしておどることの楽しさを実感する。

アーティストから

子どもたちはとても素直に自然に目を輝かせてオイリュトミーの流れに入ってきてくれた。ことばのリズムや響きを身体で動く楽しさを体験してもらえたと思う。皆がよく知っているお話「大きなかぶ」を使ったこともあって、思わず皆で大きな声を合わせて「うんとこしょ」と動く場面など、全身からはじけるような喜びがあふれていた。短い時間だったが、子どもたち一人ひとりに一瞬深くつながった気がした。貴重な出会いの機会にとても感謝している。

コーディネーターから

・音楽に合わせ、ダンサーの動きに機敏な反応で後を追うこどもたちの動きが楽しそうに見えました。よく知られる「おおきなかぶ」というお話を踊るという形式で、全員でおじいさん、おばあさん、孫と次々と登場する人物になり、「うんこらしょ、どっこいしょ」と繰り返される場面は自然と笑いが生まれていました。

・２名のダンサーとピアニスト１名の３人構成で、こどもたち１人ひとりと丁寧にコミュニケーションを取られていたと感じました。１、２年生対象ということで内容は整理され、分かりやすく参加しやすい形になっていたと思いました。

先生から

4 クラス×20 分は、少し短く子供たちも不完全燃焼だったかなと感じた。2 クラス×40 分の方がよかったように思う。プロの方に教えてもらったのは、とてもよかった。打ち合わせでの綿密な打ち合わせとイメージの伝え方が大切だと感じた。

舞踊

白根小学校 ＋ 芸術家と子どもたち
からだでお習字

担当アーティスト	岩渕貞太
実施校	横浜市立白根小学校（旭区）
コーディネート	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／コンテンポラリーダンス／4 学年、3 学級、96 人対象
実施日程	2010 年 1 月 15 日、1 月 20 日

授業のねらいと内容

からだを動かしながら、表現するおもしろさ、楽しさなどを子どもたちが味わう機会とする。今回のワークショップで取り組んだ表現を後日先生が構成し、1 月に毎年実施される「10 歳を祝う会」で発表する。

アーティストから

2 日間で実施するワークショップを行うのは初めてだったので、1 つのテーマを 2 回続けて発展させていくというやり方で子どもの興味が続くのか不安だったが、子どもたちが集中して取り組んだおかげで表現を作ることの導入ができた。子どもたちが作っていくうちに、文字の内容とかたちがリンクして、表現として立ち上がってくる瞬間が見られておもしろかった。子どもは、少し材料を与えただけで、予想以上にいろいろなものを発想し、思わぬ方向に発展させていくので、驚いたし、刺激になった。

コーディネーターから

発表を見据えた授業にしたいという学校の要望を受け、「からだでお習字」という一つのテーマに 2 回続けて取り組むシンプルな内容となり、落ち着いて活動を深めていく授業ができた。アーティストが子どもの発想一つ一つを丁寧に受け止め、よいところほめるうちに、子どもたちの姿勢がより積極的になり、楽しみながらも真剣な目で取り組んでいる表情がとても印象的だった。先生方もいつもの立場から解放されて新鮮な目で子どもたちを見ることができたそうで、その場にいた全員がフラットな関係で活動を共有できたことで、子どもも大人もそれぞれ発見を持てたよい機会だった。

先生から

ペアで手を合わせて動かす活動で、何人かできない子がいたので、私達は相手の立場に立てない、気持ちを読めないととらえてしまったが、先生方は「やっているうちに上手に合ってきましたね」というとらえ方をされていた。表現することは、体で表現するだけでなく、表現を通して心情を育てるということを学ばせていただいた。どんな動きにもほめ、認めてくださったので、どの子も楽しそうで、私達が見ていてもとても心地よかった。子どもたちに自信がついたように思う。ほんとうにありがとうございました。

舞踊

二ツ橋高等特別支援 ＋ ST スポット横浜
からだをリズムにのせる

担当アーティスト	TATSUO
実施校	横浜市立二ツ橋高等特別支援（瀬谷区）
コーディネート	特定非営利活動法人 ST スポット横浜
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／ストリートダンス／3 学年、1 学級、21 人対象
実施日程	2010 年 1 月 19 日、1 月 26 日、2 月 12 日

授業のねらいと内容

少しでも多くの体験をすることで、余暇の楽しみを増やすこと。今回は身体を使った取組みとして、ヒップホップ分野のアーティストを起用し、自由な発想を身体の動きへとつなげていく。

アーティストから

ふだん相手にしているダンススクールの子どもと雰囲気が違ったので、とても新鮮でした。コミュニケーションの取り方がすごく純粋で、思った瞬間に行動する彼らに引っ張ってもらって進めました。先生にも参加してもらったワークショップでは、コンテスト用の技術ではなく、ダンスの根本を伝えられた気がしました。

コーディネーターから

難しいステップや動きも最初は戸惑いながらも一生懸命挑戦している様子が伺えました。毎回行くたびに上達していて、子どもたちの頑張りを感じました。また子どもたちを支えていただいたのは先生方で、学校全体として関わっていただけたことが嬉しかったです。最後の発表会では、事前にダンスのワークショップをうけていない子どもたちも一緒になって盛り上がることができ、一体感を味わうことができました。

先生から

アーティストの方がとても上手に関わってくださり、生徒たちも楽しんで取り組むことができました。人柄も良い方たちで、学校としても安心してお任せすることができました。生徒たちはダンスに興味をもち、今でも廊下や体育館で自然とステップを踏んでいたり、卒業後はスポーツクラブなどに通って身体を動かしたいという発言が出たり、その場限りの体験でとどまらず、「余暇の幅を広げる」というねらいが達成されたように感じました。今後も余暇の幅を広げるきっかけ作りになればと考えています。今回の企画に際してはいろいろとご配慮いただき、ありがとうございました。

舞踊

いちょう小学校 ＋ ST スポット横浜
ことばとからだ

担当アーティスト	山下残
実施校	横浜市立いちょう小学校（泉区）
コーディネート	特定非営利活動法人 ST スポット横浜
実施科目・教科名	体育
実施内容	体験型／コンテンポラリーダンス／全学年、7 学級、206 人対象
実施日程	2009 年 9 月 3 日

授業のねらいと内容

自らの体で表現を行うコンテンポラリーダンスを通して、普段と違う体の動かし方を体験する。また、自分の体や友だちの体を改めて感じる機会とし、体による表現やコミュニケーションを体感する。

アーティストから

全校をあげての取組ということで、やってみないとわからなかったところもありますが、やったことに対して素直に反応してくれていることが印象的でした。今回の体験を通して、今後動きにもいろいろな質があるんだということを思い出してもらえたらうれしいです。

コーディネーターから

おそらく多くの子どもたちが初めて挑戦する体の動かし方やダンスだったと思いますが、ちょっと恥ずかしがりながらも自分の体と向きあってくれていました。大人数で短い時間の取組ではありましたが、普段と違う自分の体、友だちの体に出会う機会になりました。

先生から

ストレッチやふだん体験したのことのない身体の動きを間近でみせていただき、子どもたちも大変驚いたようでした。低学年にとってはくねくねした動きがとてもたのしかったようで、感想にもたくさん書いていました。ただ、高学年の子どもたちにとっては、「フワフワ」とか「カクカク」という言葉だけでは、なかなか照れもあり乗り切れなかった子もいました。今後、体育などの授業の中でも、ストレッチや体ほぐしの動きに取り入れたいと思います。

美術

平沼小学校 ＋ 横浜市民ギャラリー
ゆかいな卒業写真

担当アーティスト	池田晶紀
実施校	横浜市立平沼小学校（西区）
コーディネート	横浜市民ギャラリー
実施科目・教科名	図工・総合的な学習の時間
実施内容	体験型／写真／6 学年、3 学級、86 人対象
実施日程	2009 年 12 月 18 日、1 月 13 日、1 月 19 日

授業のねらいと内容

学校生活の中から自分たちの思い出の場所を決め、その場所への思いをスピーチすること。

・　ポーズや一緒に写る物・人で表現できること

・　ＤＶＤジャケットを工夫して、時間内に制作できること。

・　学校は、上記の取り組みのため、スムーズな作業工程を立て、子どもたちを指導する。

・　アーティストは、よい写真を撮影し、ＤＶＤを作成する。

・　コーディネーターは、三者間の連絡を取り持ち、適宜アドバイスをする。またジャケット制作を導く。

アーティストから

小学校６年生のご卒業に向けておこった今回のワークショップ、「ゆかいな卒業写真」。生徒さん一人一人が、学校で過ごした日々の思い出をひとつ物語にし、自分自身が出演した写真と声の記録が入った映像作品。これは、大人になった彼らにとってもっとも貴重なモノにしたい。そういうモノをぼくらのワークショップで出来たらというおもいで作りました。良い事も悪いこともあった出来事をたったの一枚の写真の中にどれだけ彼らとそのまわりにある、あった何かが残る記録を目指し、全員分の写真と声をおさめる事が出来たのが大変でしたが、よかったことだと思っています。

コーディネーターから

学校とアーティストの間に立ち、一つのワークショップをつくりあげる、貴重な経験となりました。自施設の事業ではないので、双方が何を期待し、何を目指したいのかを掴むのに最初のうち苦労しましたが、講座の骨子が決まると三者が協力して実施へと向っていきました。ただし、学校、アーティストともに多忙で連絡の難しさは実感しました。子どもたちとアーティストの出会いを中心に据えたワークショップの展開という目的を果たせたと感じています。

先生から

最初、子どもたちの落ち着かない様子から、撮影まで運べるか心配したが、池田さんをはじめとしたゆかいのスタッフの方々の明るい人柄に子どもたちが引き込まれ、子どもたちは生き生きとした表情で活動に取り組んでいた。池田さんとのかかわりがもっと多くなれば、子どもたちもアーティストの方々と心を通わせ、もっと活動を発展させることができたと感じる。教師だけではできない学習は大変貴重で、これからも芸術文化教育プログラムを利用していきたい。

美術

洋光台第四小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
似顔絵を描く(1)

担当アーティスト	黒田 晃弘
実施校	横浜市立洋光台第四小学校（磯子区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／木炭画／5 学年、2 学級、62 人対象
実施日程	2009 年 10 月 28 日、11 月 4 日

授業のねらいと内容

似顔絵作家・黒田晃弘氏と一緒に、学校の授業では馴染みの少ない木炭を使った表現活動を実施する。この活動では、友達とのコミュニケーションを通して「上手に描く」ことではなく、「楽しく描く」ことを主眼において次の効果を狙う。

(1) 似顔絵を描くという表現活動を通じて、創造力や感性を高める。また、集中力を養い、情緒の安定を促進する。(2)友達の顔を描くことで、相手、友達そして自分自身のことを考えるきっかけを提供する。(3)創作に取り組むことで、成し遂げた時の達成感、成就感を感じる機会を提供する。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

5 年生を担当し、授業に対しての関心を持たせ、積極的に取り組ませることができたと思います。全体で進める授業の中で、やはり遅れが出てしまい、時間を少しオーバーしてしまったが、子どもたちはそれを気にせず絵を描くことに取組、集中していたことは素晴らしかった。自分のアイデアを独創的に描くという部分に関して、皆不安気で、隣の人を見ながら、という様子でしたので、今後のカリキュラムに何か良いヒントが盛り込めたと思います。

コーディネーターから

表現活動も取り入れている教育プログラムを 3 年続けている中で、保護者の方々にも来年の本プログラムへの待望を聞かれる機会があり、この取り組みの素晴らしさを改めて認識できた。

先生から

子どもたちは、炭を使って表現することの楽しさを、授業を通して、体験することができました。絵を描くのが苦手な子の心を楽にしていただき、似顔絵を描くポイントをおさえながらの指導は大変わかりやすいものでした。どの子も講師の先生の話を素直に受けとめのびやかに描くことができ、充実した時間となりました。　講師の先生のお手本に感動する場面もたくさんあり、本物の芸術に触れる機会となりました。

美術

小田中学校 ＋ 横浜美術館
絵具についてチョット知っちゃおう！(1)

担当アーティスト	鈴木淳
実施校	横浜市立小田中学校（金沢区）
コーディネート	横浜美術館
実施科目・教科名	美術
実施内容	鑑賞型／絵画／3 学年、4 学級、120 人対象
実施日程	2009 年 12 月 1 日、12 月 17 日

授業のねらいと内容

デモンストレーションなども交えながら画材や絵画の保存や修復についてのレクチャーを行う。中学生たちが普段使用している画材も含め、美術館に展示されている絵画などが、どのような画材で描かれているのかなどの知識を深めてもらうとともに、美術館に展示されている作品が、様々な人々の手により長い年月の間、大切に維持され、未来に向けて受け継がれて行くべきものであることを理解してもらうことをねらいとする。また、このことにより、今後の中学校での創作活動や美術鑑賞に対して、新たな意識が芽生える事を期待する。

アーティストから

授業の内容は与えられた時間に合わせて絞り込んだが、もっと多くのことを教えたいとの思いが強く残った。たとえば２時間枠の企画でも生徒の集中は途切れなかっただろうと感じた。またこの企画に参加したあとの実感として、アーティストは自身の授業と中学校の通常授業との連動を考慮すると良いと思う。アーティストの授業に続く授業で担当教諭がその内容を発展させる実技や美術館見学などをおこなえるように構成しておけば、この企画が１回限りに終らず、より充実した効果を期待できると考える。

コーディネーターから

このプログラムに関して美術館は初参加であったため、手探りの状態で進める部分が多々あったが、中学校の担当教諭の協力とアーティストの多大なる努力のおかげで、美術館として充実した授業を実施することができたと思います。子どもたちも興味を持って積極的に授業に参加してくれたと思います。今回の経験が、少しでも子どもたちの今後の活動に生かされればと願っています。

美術

品濃小学校 ＋ アートの時間
仮面パレード

担当アーティスト	深澤純子
実施校	横浜市立品濃小学校（戸塚区）
コーディネート	アートの時間
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／造形／5 学年、3 学級、84 人対象
実施日程	2009 年 10 月 16 日、10 月 20 日

授業のねらいと内容

比較的家庭環境に恵まれ、落ち着きもあり意欲的でもあるが、その反面自己表現が苦手な子どもたちに、このワークショップを通じて、じっくり「見て」「感じて」という段階を踏みながら、模られたそれぞれ違う顔（仮面）から出発する創作は自ずと違う作品に仕上がるのだという体験をし、様々な装飾を施した仮面を被って発表することで、いつもと違う自分の発見をしてもらいたい。

アーティストから

限られた短い時間の中でどれたけのことを伝えられたかがとても心配であったが、最初に見せたルーカス・サマラスの作品（写真）を「アートって面白い」と思ってもらったり、自分の作品でありながら他者の手を借りる製作過程のユニークさをきちんと捉えてもらっていたようで、感激であった。決まり事の多い学校生活の中で、仮面パレードを楽しむ子どもたち、先生方の笑顔はとても輝いて見えた。

コーディネーターから

石膏包帯という素材で仮面を作るというシンプルなプログラムではあるが、その中には、「他者が関わる作品づくりのコミュニケーションの大切さ」「（仮面を作ってもらう側の）無防備という怖さ」「（仮面を被り）別人になることでの自己解放」など、子どもたちに体験して欲しい色々な要素が盛り込まれていた。これらをその場に居合わせたみんながきちんと受け止め、存分に楽しんでいたように思う。子どもも大人も大興奮の 2 日間であった。

先生から

今回初めて横浜市芸術文化教育プログラムを実施していただきました。打ち合わせ時に造形活動を通して、自己を開放し、オリジナルな自己表現へとつなげる授業を、ということで、自分の顔の形を石こうで型どって、マスクを作る活動をすることになりました。やる前から楽しそうなプログラムで子どもも楽しみにしていましたが、実際は子どもどうしのふれあいもあり、個々の創作活動もありで、自分にしか作れない世界にひとつしかないマスクを作ることができ、予想以上に子どもたちも大満足でした。自己開放感、他の作品の良さを実感していました。作品は校内作品展に出品します。ありがとうございました。

美術

大正中学校 ＋ 横浜美術館
絵具についてチョット知っちゃおう！(2)

担当アーティスト	鈴木淳
実施校	横浜市立大正中学校（戸塚区）
コーディネート	横浜美術館
実施科目・教科名	美術
実施内容	鑑賞型／絵画／2 学年、6 学級、200 人対象
実施日程	2009 年 11 月 24 日、11 月 25 日

授業のねらいと内容

デモンストレーションなども交えながら画材や絵画の保存や修復についてのレクチャーを行う。中学生たちが普段使用している画材も含め、美術館に展示されている絵画などが、どのような画材で描かれているのかなどの知識を深めてもらうとともに、美術館に展示されている作品が、様々な人々の手により長い年月の間、大切に維持され、未来に向けて受け継がれて行くべきものであることを理解してもらうことをねらいとする。また、このことにより、今後の中学校での創作活動や美術鑑賞に対して、新たな意識が芽生える事を期待する。

アーティストから

本事業は見学などの学外授業と異なり、生徒が過ごしている学校で授業をおこなうことに意義があると感じた。生徒が慣れ親しんでいる教室で、通常とは異なる講師の授業を受ける。このギャップが生徒を集中させるのかもしれない。授業が進むごとに生徒の姿勢が前向きに変化する様子を感じた。1 クラスごとに授業をおこなうことが中学校の担当教諭からの要望だった。当方の負担は大きいが、生徒との距離が近く、反応を確かめながら授業の進行を微調整できたことに満足している。

コーディネーターから

このプログラムに関して美術館は初参加であったため、手探りの状態で進める部分が多々あったが、中学校の担当教諭の協力とアーティストの多大なる努力のおかげで、美術館として充実した授業を実施することができたと思います。子どもたちも興味を持って積極的に授業に参加してくれたと思います。今回の経験が、少しでも子どもたちの今後の活動に生かされればと願っています。

先生から

アーティストが中学校にいらして授業をしてくださるという生徒にとって初めての体験は、彼らの期待以上の素晴らしいものでした。「絵の具って自分で作れるんだ！！」「傷んだ絵もあんなにきれいにできるんだ！！」鈴木淳先生が見せてくださる魔法のような絵の具作成の実演や、絵画修復の映像を興味津々に見つめていました。「卵で絵の具ができるなんてビックリ！」「修復によって美術作品が輝きを取り戻すことが素晴らしい。」「絵の具や絵の大切さが分かった。」等々の生徒たちの感想や気さくな先生のお人柄にも魅了されながら楽しく授業に参加できた 100%近い生徒の回答が今回の授業の成功を物語っています。「自分でも絵の具を作ってみたい。」生徒の願いを今後の授業で叶えたいと思います。

美術

都岡小学校 ＋ サンハート
似顔絵を描く(2)

担当アーティスト	黒田 晃弘
実施校	横浜市立都岡小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／木炭画／6 学年、2 学級、78 人対象
実施日程	2009 年 10 月 29 日、11 月 2 日

授業のねらいと内容

「木炭」という、未体験の画材に挑戦することで、「絵を描くこと」への得意・不得意という先入観無しに体験し制作作業を行っていきます。さらに、「似顔絵」では、友達とのコミュニケーションを通して「上手に描く」ことではなく「楽しく描く」ことを、「自画像」では、自分自身を見つめなおすことで、想像力や感性を高めることを目指す。

アーティストから

みな授業に前向きに取り組んだ。進行はとてもスムーズだった。担任の先生と生徒の関係がよかった。女子のほうが元気がよく、自己主張が強い。クラスのムードも大変よく、６年生だな、しっかりしているな、と感じた。似顔絵では男の子同士、女の子同士がペアになってお互いを描いた。相手を大事に受け止め、真剣に描き、良い表情を出そうという気持ちが、出来た作品からうかがえた。私の指導を適切に理解して、目の描き方をつかみ、真面目に描いていた。その中にも不思議と面白い捉え方の作品があり、特別な感覚をもつおどろかされる作品もあった。自画像では、苦手意識を克服するための指導を試みた。木炭でつくる陰影の表現にも立体感や味のある濃淡の表現をつかむ子供もでた。自分の顔も躊躇なく描きあげ、ほとんど全員が完成。

コーディネーターから

昨年度からの継続校であり、先生もアーティスト・プログラムも同一であったため、アーティストの受け入れ態勢が自然にできており、スムーズな実施ができた。作品作りの過程や、完成後の作品のフォロー(定着作業)なども、アーティスト・学校側・コーディネーターの３者の役割分担が自然にとれていた。また、昨年のこの学校からの要望でスタートした「似顔絵」のプログラムは、今回で延べ３校目となって錬度が高まってきたため、絵を書くこと、自分を描く（＝見つめ直す）ことへの「苦手」感の克服という課題へのアプローチも、子どもたちに理解しやすくなっていたのが印象的だった。

先生から

初めて取り組むことで子供たちは、とても楽しく行えました。普段の授業では､行えないことをやって頂いたり、楽しくすすめて頂いたこともあって、物を造るということに、より興味を持ち、行えたと思います。また「うまい、へた」というより、「自分が納得するまで取り組む」

「苦手」を「やってみよう」という気持ちで、取り組むなど子供の立場にたち、話して頂き、子供たちもやってみようと思ったと思います。子供たちには、いろいろな体験から楽しさ、そしてやる気を持って、ほしいと思っています。今年で２度目になりますが、よい体験をさせて頂いてます。ありがとうございます。

美術

二俣川小学校 ＋ サンハート
似顔絵を描く(3)

担当アーティスト	黒田 晃弘
実施校	横浜市立二俣川小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／木炭画／4 学年、3 学級、99 人対象
実施日程	2009 年 10 月 30 日、11 月 9 日

授業のねらいと内容

現状の図画工作のカリキュラムでは、「思い」や「願い」を自由に表現することに重きが置かれているが、その表現力自体を向上させる機会があまり無いため、今回のプログラムを通じて、デッサン力、色彩感覚の図工の基礎的なスキルを、児童全員が同じスタートラインに立てる「木炭画」のプログラムにより楽しみながら学ぶ。

アーティストから

素直で活発な生徒たち。４年生なので、授業の進行は担任の先生、サンハートの堀さんも一丸となって関わり、授業を進めた。そのため進行も上手くいき、みな完成まで至ることができた。似顔絵では皆楽しんで意欲的に取り組んでいた。木炭が見せるタッチに驚きながらも、大胆に描き進めた。出来た作品もおおざっぱではあるが、友達のよい表情がとらえられていて、見ていて気持ちのよい作品が多かった。

自画像では、皆真剣に取り組み、その結果、似顔絵では友達の笑い顔が多かったが、自画像では真一文字に口を閉めた、真剣な表情の自分が多かった。鼻の表現では陰影を使って立体感を出す試みも行えた。４年生ながらも、巧みな表情を描き分ける子供もいた。完成した絵は子供たちの感情が伝わってくるものに仕上がった。障害をもつ子供がひとりいたが、担任の先生もつねに側で補助を行い、なにより本人が作品を描くことに強い意欲をもち、すばらしい作品を完成させた。この姿勢はよい意味でクラス全体に影響をあたえているのだと思う。

コーディネーターから

「木炭画」のプログラムは、画材的にも、手法的にも、子どもたちにとって未知の部分が多く、アーティストの個性もあって、導入の時点から集中度合いが高く、雰囲気も良いのが印象的。そのため、今回のプログラムの中も、アーティストのレクチャートーク部分で、４年生の子どもたちにとっては少し難解な内容やフレーズが出てきても、飽きたり集中力が落ちたりせず、最後まで作品作りに没頭していた子が多かった。

先生から

まずインタヴューする、好きなものを書くことから入り、宇宙を作るなど説明にこだわらず描けるところがすごいと思いました。又、ティッシュで消したり、明暗をつけたり、練り消しの効果を生かしたりと、木炭のよさを使いこなした表現が、すばらしかったです。子供の作品には、内面がにじみ出ていて見ごたえがあり、一同のものを並べてはった迫力はすごかったです。しっかりと何かを見て描くという体験は少ないので、とてもいい経験になりました。また来年もお願いしたいです。

美術

竹山小学校 + ART LAB OVA
図工パーティー

担当アーティスト	ART LAB OVA、捩子ぴじん
実施校	横浜市立竹山小学校（緑区）
コーディネート	ART LAB OVA
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／現代美術／2 学年、2 学級、55 人対象
実施日程	2009 年 12 月 14 日、12 月 15 日、12 月 17 日

授業のねらいと内容

・身体を使ってアートする。
・布を染める。
・上手い下手にこだわらずもっとのびのびと制作する体験をさせる。
・授業を効率よくこなすだけの子も一生懸命に参加してもらえるようにする。

アーティストから

アーティストが作品を発表するときに、作品が受容される社会の間口を、ついつい狭く想定してしまいがちなのだけれど、社会はアート以上に多様であり、そもそもアートとはその多様性そのものであると言っても過言ではない。“小学校二年生のあるクラス”という括りを取り払い、ただ誰の前でもそうあるように、掴みかかるようにダンスを踊った。そうしたら彼/彼女らは自分たちのやり方で、その多様性で掴みかかってきた。

コーディネーターから

こどもたちが学校内で多くの情報にまみれ、時間に追われ生活をしている様子に驚いた。それをうまく生き抜ける子や目立つ失敗のできる子は一部であり、ほとんどの子は問題が見えにくい大人しい子たちである。一方で、クラス内での関係が固着化し、先生も友達も本人も困っている問題児に、アーティストが変化球的な言葉をかけたところ、それ以来その子がそのアーティストに甘え、いろいろなことを話してくるようになった。昨今、廃校にアートスペースを作る例は多々見られるが、現役の学校内の空き教室にこそ、アートスペースを設け、アーティストとの日常的なかかわりを創出することは、保健室とはちがった、セイフティネットができるのではないかと思った。

美術

上瀬谷小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
色を感じる

担当アーティスト	菊池敏直
実施校	横浜市立上瀬谷小学校（瀬谷区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／水彩画／5 学年、4 学級、122 人対象
実施日程	2009 年 9 月 14 日、9 月 18 日、9 月 24 日、10 月 1 日

授業のねらいと内容

本物の芸術に触れ、アーティストから芸術を身近に感じる機会を提供してもらうことにより、より感性を伸ばす一助とする。

アーティストから

オートマティズムの手法で「色をいかした絵／模様」を描くプログラムを設定した。児童がこのような制約の少ない課題で自由や戸惑い等を感じたり、「何をするか」考え楽しめることができれば成功と考えた。問題は出来上がった作品（完成度は低い）を教師や保護者がどのように視るか。折角のプログラムであり、普段できないであろう、半日１コマに時間を集中させたり、巨大な共同制作にチャレンジするような試みがより効果的である。

コーディネーターから

児童は自由にのびのびと授業を受けていた。授業の最後に、作成した作品を並べることによるクラス全体としての色が浮き出て、その中に、各自が描いた模様に各々の感性といったものが垣間見えた。学校の意向と講師の考えの調整は苦労した。次回は、講師が述べているように巨大な作品づくりも面白いと思う。

先生から

図画工作科の学習にアーティストの方に来ていただいた。高学年では絵に対して、固定概念を持って苦手だと感じる子ども達もいるが、今回のプログラムで、変化が見られたことが良かった。伸び伸びと表現する方法をプロの方に教えてもらい、認めてもらったことが子ども達の喜びにつながったようだ。絵の具を使って、スパッタリング、マーブリング、デカルコマニーなど、遊びながら教えてもらった技法を次に生かしたいという子が多く見られた。アーティストの方が、広く温かい目で指導してくれた事が大きかったと思う。ぜひ今後もうけたいプログラムなので継続してほしい。準備、当日ともきめ細かくしていただきました。ありがとうございます。

美術

美しが丘中学校 ＋ 横浜市民ギャラリーあざみ野
アニメーションをつくる

担当アーティスト	今井紀彰
実施校	横浜市立美しが丘中学校（青葉区）
コーディネート	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	美術
実施内容	体験型／アニメーション／2 学年、2 学級、72 人対象
実施日程	2010 年 3 月 3 日、3 月 4 日、3 月 17 日

授業のねらいと内容

デジタルカメラでの静止画を１コマとして、６０コマで３０秒のコマ撮りアニメーションをグループで制作する。仕組みを理解し、何をどのように動かすかを相談し絵コンテに表し撮影する。何が動くと面白いかという発想力と、それがどう終わると意味がでてくるのかという表現力、それを６０コマで納める工作力とチームワークを経験する。２週おいて鑑賞会を行う。

アーティストから

アニメーションは「写真を連続して動かすという仕組み」であることをよく理解し何をどう動かそうかという相談をしながら取り組み、それぞれはじめての経験ながら面白いアニメーションを制作しました。

コーディネーターから

中学校では最大２校時しか活動時間が取れないということが制作ではネックになることもあると感じた。

美術

川和小学校 ＋ 横浜市民ギャラリーあざみ野
粘土にふれる、つくる

担当アーティスト	うめぐみ
実施校	横浜市立川和小学校（都筑区）
コーディネート	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／造形／個別支援級、1 学級、10 人対象
実施日程	2009 年 9 月 30 日、10 月 1 日、11 月 11 日

授業のねらいと内容

１年生から６年生まで１０人の子どもたちのいる個別支援学級で、土粘土に触れ、自由な表現をし、それらを焼成し鑑賞するまでの活動をする。各日２校時を使う。１日目は土粘土に慣れるための活動をして、２日目はそれぞれ作りたいものをつくる。チャンスがあれば生活で使えるものをつくる。３回目は焼成後、できあがった作品に着彩する。

アーティストから

土粘土に楽しく触れることからはじめ、基本的な形の作り方を指導しました。昨今の表現活動は「好きなことをする」ということが主流ですが、作品になる喜びは次もやってみたいという思いにつながることと考え、花瓶の作り方を教えました。個別の子どもたちは私たちとの関わりを楽しんでいました。

コーディネーターから

ハンディキャップの子どもとの関わりは経験がなければ難しいが、うめ組は横浜美術館子どものアトリエでの経験が生かされたと思う。

先生から

個別支援級ということで、まず休み時間の延長で一緒に遊び、コミュニケーションをとるところから初めてくださいました。そして、一番苦手を克服させたい６年生の子を活動の中心にし、リズミカルに取り組む楽しさを教えてくださったので、子どもたちも触感等の苦手意識を感じる間もなく、いろいろな形をつくり出して楽しめました。また、適切な用具を使うことによって、立派な「使うもの」を子ども自身の力を生かしてつくることができるということを私も学びました。今回はアーティストの方ということもありますが、横浜市民ギャラリーあざみ野という地域の施設とそこのスタッフの方に、今後も連携をとらせていただいて、教育活動を行っていければ、という期待をもちました。

美術

新羽小学校 ＋ 横浜市民ギャラリーあざみ野
乗りものをつくる

担当アーティスト	増田拓史
実施校	横浜市立新羽小学校（港北区）
コーディネート	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	図工
実施内容	体験型／造形／2 学年、3 学級、104 人対象
実施日程	2009 年 10 月 5 日、10 月 6 日、10 月 7 日

授業のねらいと内容

木製の台車のキットに発砲スチロールで＜自由な造形＞をし、着彩を施し、それぞれ個性的な乗り物をつくる。いきなり制作にかかるのではなく、完成をイメージし図に表し、手順を決めてから作業にかかる。スチロールカッターの使い方を練習して、必要な形を切り出せるようにする。自由な造形に必要な工作力や構成力を養う。

アーティストから

今回の活動は「話を聞いて理解しながら制作をする」というもので、自由につくるために、節目ごと話を聞くことを求めたが、よく話を聞けました。

コーディネーターから

必要なことを教えてもらって自由な表現をするという活動ができたと思う。

先生から

打ち合わせから、当日まで話し合いや準備を十分にしていただき、安心して実施にあたることができました。当日も作業の期待に心から高ぶっている児童を上手に扱ってくださり安全に楽しく学習ができました。作品は「さわやか作品展」に展示しました。児童も満足気で保護者に自慢している姿が見られました。ありがとうございました。来年度も今の一年生がきっと期待していると思います。

伝統

藤の木小学校 ＋ 吉野町市民プラザ
箏にふれる、演奏する(1)

担当アーティスト	米澤 浩、熊沢 栄利子
実施校	横浜市立藤の木小学校（南区）
コーディネート	吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／邦楽／6 学年、3 学級、114 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日、10 月 23 日、10 月 29 日

授業のねらいと内容

日本の代表的な伝統楽器である「箏」を使い、日本古来の音色に触れ、実際に演奏する機会を提供します。児童１人に１面の箏を用意し、絵のイメージから音づくりを始め、自由に演奏しながら箏の音色を楽しむとともに、馴染み深い『かえるの歌』などを演奏していきます。今回は、学校側からの要望であります「さくら」をプログラムに組み込み合奏を楽しみます。最終日には、「兄弟学級」や保護者の前で演奏する機会も設けます。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

藤の木小学校におけるワークショップは３年目を迎え、学校側の受け入れ態勢も万全でした。又、児童にとっては単に箏の体験と言う次元に留まらず、楽器の準備や片付けにまで参加し、副次的なレベルでも体験教育のプログラムを実践することが出来るようになりました。今年度は学校側の要望で合奏体験曲を「さくら」に切り替えましたが、事業としての期待通りの成果と併せ、参加した児童も個々に期待通りの達成感を得たと思料します。

コーディネーターから

全体を通して、箏を１人１面使用できることで、子ども達にとって楽しくそして集中して取り組める環境がとても良かったです。また、自由に箏に触れてみたり、イラストを使用したりと子ども達の興味を引く多彩なプログラム構成により、ただ箏を学ぶだけではなく、子ども達の中の感性・創造力を十分に引き出すことができていたと感じます。箏を体験したことをきっかけに、子ども達が邦楽を含む日本の文化に興味を持ってもらえればと思います。

先生から

今回もアーティストによる生のすばらしい演奏を鑑賞する機会やわかりやすい指導により、児童の学習意欲が高まりました。はじめのうちは、演奏ができるのか不安な様子を見せていた児童の多くが、時間が進むにつれ、自信を持って演奏することができ、学習終了時には発表の喜びと達成感を味わうことができました。また事前の打ち合わせにより普段の学習の内容を活かしたプログラム内容を実践したこと、財団スタッフ、本校の専科や

経験のある教員も微力ではありますが支援にあたったことにより、よりいっそう児童一人ひとりに指導が行き渡ったといます。本校は３回目の実践で、過去の反省を活かし、成果のある学習体験ができましたこと、大変感謝申し上げます。今後もぜひ本校の「伝統文化を理解し愛する」学習の内容として実践を存続させていただけるよう、お願いいたします。

伝統

能見台小学校 ＋ 久良岐能舞台
狂言体験(1)

担当アーティスト	善竹富太郎、善竹大二郎
実施校	横浜市立能見台小学校（金沢区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施内容	体験型／狂言／6 学年、3 学級、108 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日

授業のねらいと内容

国語の教科書で取り上げられている伝統芸能「狂言」の鑑賞と体験を通し、より身近に感じ、楽しんでもらうことを目標とする。子どもたちがより関心を示すように、事前学習を各学校で実施する。（レジュメ配布）狂言鑑賞「柿山伏」（多くの小学校の教科書で取り上げられている演目）を鑑賞した後に、狂言の所作や発声法、簡単な役を演じる体験を実施する。

アーティストから

このように狂言師が学校を周ることはやっているようでやっていない。小学校も狂言師に来てもらうように依頼したいと思っていても、敷居が高いから出演料も高いのではないかと心配してしまうが、間に横浜市が入り、小学校は無料で鑑賞できるのはお金の心配をしなくても済むので良い。今後も活動を続け、子どもたちが能楽堂に足を運ぶきっかけになってくれることを願っています。

コーディネーターから

最初は緊張していた子供たちも、狂言を体験することで古典芸能を本当に楽しむことができて良い経験になったと思いました。観るだけではわかりづらい狂言や能の面白さを、アウトリーチ活動を通し、子供たちが狂言師に実際に出逢うことでより身近に感じてもらえる機会をつくれたことが嬉しいです。子供たちが大きくなったとき、狂言は面白いものだという認識を頭の片隅にでも置いてくれたら良いと思います。

先生から

実際に本物の「狂言」を観る機会が得られたことは、たいへんよかったと思います。全員が初めての経験であり、少し難しいところもありましたが、所作や発声法等を楽しく体験でき、子どもたちの心に残ったようです。講師の先生の話術がすばらしく、6 年生になり伝統芸能の世界にひたることができました。今回の経験を今後の学習活動に生かしていく場面が表れてくることを期待しているところです。ありがとうございました。

伝統

川上小学校 ＋ 久良岐能舞台
狂言体験(2)

担当アーティスト	善竹富太郎、善竹大二郎
実施校	横浜市立川上小学校（戸塚区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施内容	体験型／狂言／6 学年、2 学級、51 人対象
実施日程	2009 年 9 月 28 日

授業のねらいと内容

国語の教科書で取り上げられている伝統芸能「狂言」の鑑賞と体験を通し、より身近に感じ、楽しんでもらうことを目標とする。子どもたちがより関心を示すように、事前学習を各学校で実施する。（レジュメ配布）狂言鑑賞「柿山伏」（多くの小学校の教科書で取り上げられている演目）を鑑賞した後に、狂言の所作や発声法、簡単な役を演じる体験を実施する。

アーティストから

午前中と言うこともあり、子どもたちがとても集中して授業に参加していたのが良かった。正座や背筋を真っ直ぐにして立つ姿勢はなかなか普段の子どもたちの生活にはないので、すぐに崩してしまう子もいたがほとんどの子が我慢強く挑戦していた。

特に元気の良い生徒が２人いて、その２人がいることで周りの子どもたちも自然と笑いながら楽しむことが出来たように思う。

コーディネーターから

今まで久良岐能舞台での狂言教室は企画して観ていましたが、今回は体育館で実施することにより、能楽堂とは違うとても開放的な空間のため、狂言の持つ笑いの「芸」が伝わりづらいように感じました。（空間に力が逃げてしまう感じがした。）それでも子供たちは体験を通して狂言師と交流を取りながら親しくなり、全員が狂言を体感することが出来たように感じました。教科書と同じ演目なので教科書と見比べながら、内容も良く理解することが出来たようです。

先生から

子どもたちは、なかなか狂言になじみがなく、目新しさを感じているようでしたが、立ちふるまいや言葉にはとても興味をもって体験しているようでした。現在、国語の教科書では狂言は発展として扱われています。授業でじっくり取り組めていなかったのが残念です。また、実際に伝統文化にふれたことのない子どもたちが多いようです。今回のプログラムは子どもたちが伝統芸能にふれ、しかも体験できたことは、とても良かったと思います。ありがとうございました。

伝統

鳥が丘小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
落語体験

担当アーティスト	桂枝太郎
実施校	横浜市立鳥が丘小学校（戸塚区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／落語／6 学年、3 学級、92 人対象
実施日程	2009 年 10 月 19 日、10 月 26 日

授業のねらいと内容

古典（落語）に親しんで、その中で話し方での抑揚のつけ方等表現方法や話し方を学ぶ。実際に講師から課題落語「つる」を出していただき、選ばれた 3 人が考えてきて発表する。それをクラス全員で聞いて自己表現やコミュニケーション手段としての声の出し方、自分の気持ちを伝えるヒントを取得する。

アーティストから

ほぼ全員の生徒さんが落語にふれるのは初めてでしたので、どういう反応を示すのか興味があったのですが、皆さん一人ひとりきちんと向き合って関心を持ってくれました。正直、教育云々より「落語って面白い」と生徒さんが感じてくれたのが、落語家として嬉しくしめたものだと思いました。後は、この中で一人でも将来落語家がでてくれれば(笑)。初心に帰れてこちらこそ勉強になりました。有難う御座いました。

コーディネーターから

伝統芸能「落語」ということで、どのように授業を進めていくのか心配であったが、講師と学校との話し合いをする中で、いろいろなアイデアが講師からでて、結果的に生徒がこの授業を前向きに取り組んでくれたことは良かったと思う。「二人落語」という難しい宿題を対応した子はもとよりできなかった子にも暖かい声援が自然発生的に生まれるなど、この学校のもつ暖かさ、優しさを確認した。

伝統

南舞岡小学校 ＋ 民族歌舞団　荒馬座
荒馬踊り

担当アーティスト	荒馬座
実施校	横浜市立南舞岡小学校（戸塚区）
コーディネート	民族歌舞団　荒馬座
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／荒馬踊り／4 学年、2 学級、45 人対象
実施日程	2009 年 11 月 16 日、12 月 1 日、12 月 5 日

授業のねらいと内容

農耕文化に根ざした日本の伝統を体感し、郷土芸能の素晴らしさを学習する。５年生が田植えをして育てたお米の収穫にあわせて行う収穫祭を盛り上げる取り組みとして荒馬踊りを披露し、他学年や保護者・地域の方々へ日本の伝統文化の素晴らしさを紹介すると共に、荒馬踊りを通して子ども達が生き生きと表現する姿を称え、仲間と一緒につくりあげる喜びを感じられる取り組みとしたい。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

元気な子ども達だったが、授業中の集中も大変良く、伝えた踊りをしっかり踊ってくれました。お囃子も先輩達からしっかりと受け継ぎ、すぐに踊りに対応できる力がある事に驚きました。みんなが一生懸命生き生きと楽しみながら取り組んでいる姿と先生方のバックアップにも感謝したい取り組みでした。

コーディネーターから

学校の伝統として荒馬踊りを踊り継いでいきたいという学校の位置づけが感じられ、子ども達自身もその事を感じながらしっかりと取り組み、自身を持って踊っていた姿が印象的でした。担任の先生方の協力も子ども達のやる気を引き出す大きな力になっていました。発表当日には保護者や地域の方が多数見に来ていることからも、楽しみにされている年中行事になっていることを実感しました。

先生から

「荒馬踊りの体験」それは、体験を超えた「荒馬踊りの実感」でした。すでに５、６年生が踊っていたのを見ていたので、４年生は荒馬踊りを知っていました。その４年生が、荒馬座の方に来校していただいた１回目の授業で見せていただいた踊りの力強さに、瞳を輝き始めさせていたのを覚えています。本物との出会いが、子どもたちのやる気の背中を押し、自分たちだけの練習にも、真剣さが満ちあふれていました。「なぜ馬なのか」「なぜ力強く跳ね回るのか」などの意味も、子どもたちの輝く瞳と心、そして体が吸収していきました。３回目の授業の場面では、全校に発表し、お世辞ではなく「感動した」の声をたくさんいただくことができました。軽快かつ力強いお囃子のリズムにのった子どもたちの笑顔に、体験が実感へと変わっていっていることを感じました。また、来年度の米作りの活動につながる大きな一歩となりました。本当にありがとうございました。

伝統

野庭中学校 ＋ 久良岐能舞台
狂言体験(3)

担当アーティスト	善竹富太郎、善竹大二郎
実施校	横浜市立野庭中学校（港南区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	鑑賞型／狂言／全学年、9 学級、310 人対象
実施日程	2009 年 9 月 28 日

授業のねらいと内容

伝統芸能「狂言」の鑑賞と体験を通し、より身近に感じ、楽しんでもらうことを目標とする。子どもたちがより関心を示すように、事前学習を各学校で実施する。（レジュメ配布）狂言鑑賞「柿山伏」を鑑賞した後に、数名舞台上に上がって頂き狂言の所作や発声法、簡単な役を演じる体験を実施する。

アーティストから

舞台上に上がる生徒をその場で指名したため、生徒達は舞台上に上がる心構えもない状態で上がらされ、積極的に体験するのではなく恥ずかしがりながら動いていたが、ある生徒が純粋に教えた事を一生懸命真似していたのでとても良かった。今回は担当の先生が狂言を子どもたちに見せたいという思いから決まり、私自身も「日本１億２千万人総鑑賞計画」を夢にしているため先生の考えがありがたく、今後も継続して実施しきたい。

コーディネーターから

中学では子どもたちの考えも大人びてきていて、「伝統芸能　狂言」という存在もある程度は知り、古文も聞き取れる知識が備わっている中での授業のため、演目「柿山伏」鑑賞の時間は友人たちと指をさして笑いながら楽しんでいた。しかし体験では舞台に上がることで恥じらいがあり、最初はあまり動いていなかった。それからだんだんと話をして体験をしていく過程で善竹先生に打ち解けていき、終盤には全員が参加する姿勢に近づいたことが嬉しかった。やはり大人数を対象にするときも、生徒全員が体験できる環境にするべきだと実感した。

先生から

古典芸能ということで生徒がどこまで興味を持って取り組めるか心配でしたが、善竹さんの導入の仕方が大変上手だったので、真剣に狂言を鑑賞することができました。生徒も堅ぐるしいものと思っていたがユーモラスがあり楽しむことができました。狂言を見ることが初めての生徒ばかりなので、体験することができ、大変有意義な時間をすごすことができました。

伝統

希望ヶ丘小学校 ＋ サンハート
箏にふれる、演奏する(2)

担当アーティスト	米澤 浩、熊沢 栄利子
実施校	横浜市立希望ヶ丘小学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センター サンハート
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／邦楽／6 学年、4 学級、117 人対象
実施日程	2009 年 12 月 1 日、12 月 3 日、12 月 8 日

授業のねらいと内容

児童１人に１面の箏を用意することで、自由にのびのびと箏に触れられる環境を提供する。演奏方法の学習からではなく、絵のイメージから自由な発想で音づくりすることから始めることで、箏の音色に親しみ、演奏する楽しさを体験していく。また、講師の演奏の鑑賞と、多学年の前での成果発表を行うことで、「聴く楽しみ」「(人に向けて)演奏する楽しみ」を感じ、重層的な構成とすることで、より印象的な体験とする。文化庁「学校への芸術家等派遣事業」と連携して実施

アーティストから

希望が丘小学校におけるワークショップは２年目を迎えるが、今年度は４クラスを対象としたため本来のプログラム時間枠を圧縮し、１クラス 70 分と言う変則的な時間枠で実施した。限られた条件内であったが、各担任の先生やサンハートの方々の協力を得、併せて本プログラムの趣旨を損ねることなく題材曲切り替え等圧縮の準備を整えたこともあり、期待通りの成果が得られ、参加した生徒も個々に期待通りの達成感を得たと思慮します。

コーディネーターから

昨年からの継続実施校であり、学校・アーティスト・コーディネートの３者が初めから共通認識を持ってあたれたため、全体として円滑に進めることができた。
実施クラスが４クラスと増加したため、７０分ずつの実施という変則時間割となったが、事前の準備作業や当日の進行手順に工夫と協力をしあえたことで、課題であった箏の設置と調弦の時間についても昨年より短縮が図れたし、実施クラスが４クラスと増加したため、７０分ずつの実施という変則時間割となったが、子どもたちの達成感は維持できたと考える。

先生から

２回目の実施で、話し合い、準備、当日の進行とてもスムースでした。継続することで子供たちにとっても、より身近に感じられると思いました。”アーティストによる授業”は、その人が人生の中でこの道と決めた芸術への思いが伝わってくるところも魅力です。子供たちも興味をもって、真剣に箏に向かっていました。ありがとうございました。

伝統

鴨居小学校 ＋ 久良岐能舞台
狂言体験(4)

担当アーティスト	善竹富太郎、善竹大二郎
実施校	横浜市立鴨居小学校（緑区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施内容	体験型／狂言／5・6 学年、4 学級、172 人対象
実施日程	2009 年 10 月 15 日

授業のねらいと内容

国語の教科書で取り上げられている伝統芸能「狂言」の鑑賞と体験を通し、より身近に感じ、楽しんでもらうことを目標とする。子どもたちがより関心を示すように、事前学習を各学校で実施する。（レジュメ配布）狂言鑑賞「柿山伏」（多くの小学校の教科書で取り上げられている演目）を鑑賞した後に、狂言の所作や発声法、簡単な役を演じる体験を実施する。

アーティストから

取材のテレビがあったり、人数が多かったりしたが、とても集中して取り組んでいて良かった。質問コーナーではとても多くの質問があり、内容もしっかりとしたまじめな内容だったので充実した時間となった。

コーディネーターから

小学校５年生と６年生の合同で大人数でしたが全員しっかりと聴く姿勢が出来ていて良かったと思います。１年の学年差でもやはり５年生は体験に積極的に参加し、６年生は落ち着いていたので狂言体験では少し控えめにしていました。質問では多くの質問が飛び交い、狂言に興味を持ってくれたと実感することが出来ました。最後には廊下で狂言師がサイン攻めに会っていて、質問もしていて、本当に熱心な子どもたちだと思いました。

先生から

伝統芸能という子どもたちにはなじみの薄いプログラムで心配しましたが、実際に公演して頂くと、とても興味深いものであるということがよくわかりました。子どもたちもとても熱心に聴き入っていました。日本人であるアイデンティティを子どもなりにほんの一部でも自覚したのではないかと思います。ワークショップではステージ上で模範をやって頂くとわかりやすかったと思います。色々とお世話して頂き感謝。

伝統

山下みどり台小学校 ＋ 横浜邦楽邦舞家協会
三味線体験(1)

担当アーティスト	東音　阪本剛二郎
実施校	横浜市立山下みどり台小学校（緑区）
コーディネート	横浜邦楽邦舞家協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／長唄三味線／5 学年、3 学級、92 人対象
実施日程	2009 年 12 月 22 日

授業のねらいと内容

わが国の音楽の特徴を感じ取り、曲全体のよさや美しさを味わって聴く。範唱や範演を聴き、楽曲の特徴や演奏形態を知る。楽器の音色の特徴をとらえて聴く。歌の背景となるものや曲に使われている楽器を見て、イメージをふくらませる。

アーティストから

担当教諭が大変ご熱心で、事前に正座でのご挨拶の仕方などを指導してくださり、気持ちよく授業をすることができました。打楽器的な旋律の「大薩摩」とメロディアスな「さくらさくら」を用いましたが、子供たちはそれぞれに力を発揮し、楽しそうに合奏をしていました。1日で３クラスということで大変でしたが、それぞれのクラスに特色があり指導していて面白かったです。厳しい条件ではありましたが、非常にやりがいのあるプログラムでした。助演　長唄：安田忠、囃子：橘内幹、笛：三枝舞、三味線補助　鶴田弥生、三味線・琴　菊井屋　鈴木義朗

コーディネーターから

アーティストの方針である「初めて触れる邦楽だからこそ、本物を伝えたい」を実現するためには、唄方・囃子方の存在が必要不可欠です。今回はアーティストがさまざまな形で、プログラムに協力してくださいました。子供たちに本物の邦楽・音楽に触れる機会を与えたいというのは皆共通の願いですし、現場の先生方からもそのような声がきかれました。生き生きとした表情で演奏を聴き三味線に触れる子供たちを見ると、もっともっと色んな経験をさせてあげたいと心から思うものです。私たちも是非今後も活動していきたいと思っていますが、続けていくためには工夫が必要です。継続していく道を作っていきたいです。

先生から

“本物”の迫力に子どもたちは圧倒されつつも、どんどん引き込まれていました。伝統の“芸”を極めているからこその音、音色には説得力がありました。また、アーティストの技だけではなく、話術も巧みで、子どもたちは引きつけられていました。子どもへの対応も適切であり、また、「子どもが好き」「伝統を伝えたい」という想いや、自分の仕事に対するプライドと愛着を感じることもできました。貴重な休暇時間の中でお願いをし、昼休みに全校の子どもにも聴けるチャンスをいただきました。今回のプログラムに参加していない他学年の子どもたちも身近に演奏を聴くことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。高学年だけではなく、低学年も日本の伝統音楽をとても身近に感じることができ、真剣に耳をかたむけていました。

伝統

上郷小学校 ＋ リリス
尺八と箏を体験する

担当アーティスト	栄区三曲協会
実施校	横浜市立上郷小学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センター リリス
実施科目・教科名	音楽
実施内容	鑑賞型／邦楽／4～6 学年、8 学級、250 人対象
実施日程	2009 年 11 月 26 日

授業のねらいと内容

本物の楽器に触れ、箏の代表曲「さくら」を自分たちで合奏できるくらいまで体験することで、日本の伝統的な楽器の良さ・面白さを理解する。邦楽の生演奏を聞いて、箏・尺八などの日本の伝統楽器の素晴しさを鑑賞する。

アーティストから

各クラスでの授業は、2 時間目のクラスが 1 時間目のクラスを、3 時間目のクラスはそれまでの 2 時間の授業を聞いていたかのように、みんな習得するのが早く、演奏も上手で、さくらさくらを最後まで演奏できたのがすばらしかった。コンサートでは、子どもたちは曲を知らないけれど、感性が鋭いので、間違えたりすると見破られないか、こちらがとっても緊張した。

コーディネーターから

地元の音楽団体の協力を得て開催できたことがよかった。地域の中での世代間交流・文化交流をこの機会を借りて実施できた。前半の講座は、箏の数も充実し、体験の満足度も高かった。今まで見るだけだった楽器にたくさん触れて、弾いて楽しむという目的は達成できた。

先生から

箏は、祖母が持っている児童がいたり正月などに流れていたりと、一見身近な楽器に思えますが、一般的な児童はほとんど触れることのないのが現実のようです。また、静かな感じの日本の音楽は鑑賞させれば美しさや日本情緒が感じ取れますが、児童の感性にはなかなかぴったり来ないように感じていました。しかし、今回、「アーティストによる授業」で二人に一面の箏で 9 人の指導者に一人一人、手取り足取り手ほどきをしていただいて、なんとか「さくら」を最後まで演奏することができるようになったことで、箏や日本の音楽に親しみを持つことが出来たように思います。また、午後の鑑賞教室では「さくら」より高度な技術と構成の曲を聴くことで、日本の音楽の深みを知ることも出来ました。今回は「春の海」「千鳥の曲」「さくら変奏曲」で、充分楽しかったのですが、鑑賞曲の中に、児童が好きな最近の曲が入ると、楽器としての面白さがさらに感じ取れたのかと思いました。来年度以降も、4 年生には箏を体験させたいと思っていますので、栄区三曲協会さんにご協力いただけたらと思っています。

伝統

桜井小学校 ＋ 荒馬座
太鼓体験

担当アーティスト	荒馬座
実施校	横浜市立桜井小学校（栄区）
コーディネート	民族歌舞団　荒馬座
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施内容	体験型／和太鼓／4 学年、3 学級、81 人対象
実施日程	2010 年 2 月 16 日、2 月 22 日、3 月 2 日

授業のねらいと内容

・日本の民族芸能に込められた思いを知り、気持ちを込めて叩き・踊ると共に、身体表現の楽しさを味わう。
・みんなで１つのものをつくりあげる喜びを味わい、一体感をもつ。
・「10 才を祝う会」に合わせ保護者を招いて発表を行い成長を喜び合う。

アーティストから

子ども達は、最初の授業からみんな元気が良く、楽しんで取り組んでくれました。太鼓をしっかり叩く、かけ声をかける、踊りを踊るという「元気一番太鼓」の大事な所をつかみ、自信を持って披露していました。先生方にも小太鼓で協力して頂き、学年全体で良いものができたと思います。

コーディネーターから

・子ども達は大変素直で、元気いっぱい太鼓を楽しんでいました。
・１グループ毎の人数がどうしても同じ人数にならなかったのですが、練習を繰り返す中で構成上の不都合も子ども達の力で乗り越えスムーズに出来たことは、息を合わせる事や、みんなでつくりあげる事の大事さを感じてもらえたことでしょう。
・２分の１成人式のオープニングも自信をもってしっかりと叩ききっていた姿が印象的でした。

先生から

初めはモジモジしていた子どもたちでしたが、荒馬座の方々の楽しく熱心なご指導で、授業が終わるころにはどの子も声を張り上げ、足を高く上げ、身体表現を楽しんでいました。「１０才を祝う会」のオープニングセレモニーにあてたこともあり、相手意識、目的意識を持って取り組むことができました。みんなで１つのものを創り上げる喜びを味わうことができ、今後の小学校生活につながる活動ができたらと思います。ありがとうございました。

伝統

いずみ野小学校 ＋ 横浜邦楽邦舞家協会
三味線体験(2)

担当アーティスト	東音　阪本剛二郎
実施校	横浜市立いずみ野小学校（泉区）
コーディネート	横浜邦楽邦舞家協会
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／長唄三味線／4 学年、2 学級、52 人対象
実施日程	2010 年 11 月 19 日

授業のねらいと内容

長唄三味線の体験を通して日本の伝統文化に触れ、親しむ。模範演奏や班毎の発表を聴き、独特の演奏形態を知る。楽器の音色の特徴を楽しむ。

アーティストから

長唄三味線の授業を…というとこでしたが、本来の長唄の演奏形態を伝えたいと考え、長唄（唄方）と囃子方を招き、一緒に授業をすすめていきました。（長唄：安田忠義、囃子：藤舎呂凰、笛：三枝舞）　見慣れない黒紋付に袴姿の私達を見て授業開始直後はざわついていた子供たちも、模範演奏が始まると集中し、身を乗り出して聴いていました。初めて三味線に触れる児童ばかりでしたが、堅苦しく考えることなく、真っ直ぐな眼差しで集中して取り組む姿を見て、子供たちは純粋に興味を持ち、吸収していく力を持っているのだと感じました。

コーディネーターから

「初めて触れる邦楽だからこそ、本物を伝えたい」というアーティスト・助演者、それぞれの想いが詰まった授業でした。今回は私が授業進行役を仰せつかったのですが、予定時間をオーバーして繰り広げられていくアーティスト・助演者の指導にあっという間に時間経ち、三味線に触れる時間が少なくなるのではと、終始やきもきしまう程でした。一方、子供たちは驚くべき集中力でこちらが用意した課題をクリアし、もっとやりたい、囃子の楽器も触りたいと興味津々で取り組んでいました。授業を前・後半に分け、三味線グループ・唄グループ交代で体験するプログラムでしたが、短い練習のあと囃子入りで合奏をすると、曲らしく仕上がり大興奮の子供たちでした。授業後の給食交流では、「もっとやりたかった」、「楽しかった」という声が多く聞かれ、私たちもやりがいを感じることが出来ました。最後に、今回のプログラムを実施するにあたり、三味線・琴　菊井屋の鈴木義朗氏に多大なるご協力(楽器運搬・授業前後の楽器管理・調整など)をいただきました。

先生から

古典芸能という分野がきまり何をするのかと思っていたが、三味線と長唄ということで少々興味がわいた。子どもたちもどんなことをやるのかなという気持ちで当日をむかえたが、やってみるととても楽しかったようでほとんどの児童が楽しかったという感想を記入していた。三味線をひいたこと、長唄を歌ったことがとても印象深かった。

伝統

新鶴見小学校 ＋ 横浜邦楽邦舞家協会
三味線体験(3)

担当アーティスト	東音　阪本剛二郎
実施校	横浜市立新鶴見小学校（鶴見区）
コーディネート	横浜邦楽邦舞家協会
実施科目・教科名	※
実施内容	体験型／長唄三味線／4 学年、3 学級、106 人対象
実施日程	2010 年 3 月 8 日

伝統

美しが丘東小学校 ＋ 横浜市芸術文化振興財団
箏の音を知る

担当アーティスト	奥田雅楽之一
実施校	横浜市立美しが丘東小学校（青葉区）
コーディネート	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
実施科目・教科名	音楽
実施内容	体験型／邦楽／6 学年、3 学級、78 人対象
実施日程	2010 年 2 月 8 日、2 月 15 日、2 月 22 日

授業のねらいと内容

日本の代表的な伝統楽器「箏」を通じて、邦楽曲と普段耳にする機会の多いクラシックやポピュラーの曲との違いや、「日本の音」「日本らしい音」とは何かについて考えていきます。さらに、一つの曲（「さくら」「荒城の月」「ひなまつり」）をクラス全員で仕上げていくことで、クラスの連帯感や個々の達成感を育みます。

アーティストから

標題「日本の音とは何か」を設け、講師を含めた皆で考えました。「三味線、箏、尺八」等の楽器。「鐘、鹿おどし、風鈴、木魚」といった生活の中にある音。「波、風、竹林」等の自然の音。中には「渋い音、低い音」という意見もありました。挙げてもらったその全てが正解だと伝え、次に箏の稽古に入りました。楽器に触れた経験や知識以上に、日本人の中にある特有の感覚を意識して欲しいという指導方法に努めるように致しました。

コーディネーターから

昨年実施したため、準備がスムーズに終了した。箏は初めてさわる子どもたちも講師陣の指導で最初はぎこちなかったが、最後は立派に保護者、先生の前で披露することができた。今、小学校は中学校と連携して授業を行っているが、中学校のカリキュラムの邦楽で「ここの卒業生はスムーズに入ることができている」との評価がある。次に繋がるプログラムと実感できる授業であった。

先生から

プロから指導を受ける。本物の演奏をみる、きくというのが何よりの子どもたちの心に感じました。これは、我々にはできないことです。しかも、お話や説明も実に子どもたちにわかりやすく、おもしろくて、子どもたちは「こと」の魅力にどっぷりひたることができました。今後もぜひこのような活動を続けてください。

アーティストプロフィール（五十音順、敬称略、実施日時点）

あ

■ＡＵＲＡ
Aura（アウラ）は 2003 年結成の女声 5 声のクラシック･ア･カペラグループ。オーディションで選ばれた、才能と個性のあるメンバーが約 6 年間でじっくりと熟成させたアンサンブル。レパートリーは名曲を新たに編曲したものが中心で、古楽曲など編曲せずに歌っている曲もある。グループ名の Aura はラテン語で「風、空気、天、日光、明るみ etc.」と多くの意味を持つ言葉。

■ART LAB OVA
制作経験の有無やしょうがいの有無、年齢、国籍に関係なく、アートを通じた交流ができる場をつくっている非営利のグループとして 1996 年から活動をしています。桜木町の 13 坪のアートセンターを拠点に、映画館やスナック、商店街、動物園、学校、福祉施設など、まちの狭間で「場」や「出来事」を通じて「関わり」を探るアートプロジェクトを展開中です。

■民族歌舞団　荒馬座
1966 年東京板橋区に創立。首都圏唯一の民族歌舞団。日本各地の優れた芸能を舞台化して首都圏を中心に上演をおこなっている。日本の子ども達に日本の芸能の素晴らしさを伝えたいと保育園・学校公演などを旺盛に展開する一方、太鼓・民舞教室を開催、民族芸能のすそ野を広げる活動も積極的に行っている。近年では、大学の音楽技法を学ぶ授業をはじめ、小・中学校での総合の授業、教育者を対象とした研修会の講師として活躍する場が増えている。

■飯田千夏
声楽家。武蔵野音楽大学卒業。同大学院終了。ウィーン留学。Ｈ・レッセルマイダン、Ｅ・ヘフリガー諸氏に師事。帰国後、メノッティ「アマールと夜の訪問者」アマール役でオペラデビュー。その後、二期会オペラスタジオ第 45 期マスタークラス終了。多数のオペラに出演。01 年友愛ドイツリートコンクール入選。第 4 回日本アンサンブルコンクールリート部門優秀賞受賞。青山学院女子短大、洗足学園音大講師。横浜文化協会、横浜シティオペラ、二期会会員。

■伊久希
桐朋学園女子高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。2000 年第三回ワールドチェロコングレスボルティモア大会、2002 年京都国際音楽学生フェスティバルに桐朋チェロアンサンブルのメンバーとして参加。

■池田晶紀
写真家。1978 年横浜生まれ、写真家。1999 年自ら運営していたドラックアウトスタジオで個展を中心に活動を始める。2003 年よりポートレート・シリーズ「休日の写真館」を発表。2006 年、代々木に個人スタジオ「ゆかい」を設立。展覧会以外にも雑誌や書籍、広告、コミックバンド「ゆかい」のバンド活動などでも活躍している。

■今井紀彰
写真家。1964 年生まれ。横浜市青葉区在住。日本大学芸術学部写真学科卒。第 24 回キャノン写真新世紀優秀賞、第 5 回岡本太郎記念現代芸術大賞受賞。著書に「熊野詣」がある。現在、参加者と話合いをしながら作品制作をつくるワークショップに取り組んでいる。

■岩渕貞太
ダンサー・振付家。ダンサーとしてＡＰＥ･ニブロール･伊藤キム＋輝く未来･Co. 山田うん･Ko&Edge.Co などに参加。2005 年、初振付作品『smoke』を発表。2006 年、ダンスがみたい！―批評家推薦シリーズ―に乗越たかお氏の推薦で参加し、『mint』『double』を発表。アサヒビール企画の稽古場カフェ～二代目店長をＪＯＵと共に 2006 年 9 月から 2 ヶ月間担当。 2007 年、清家悠圭との共同作品『yawn』を発表。同年、イスラエルの振付家 Arkadi　Zaides の作品(急な坂スタジオの国際交流レジデンス事業)『DAAT』に参加。関かおりとの共同作品で多国籍プチフェスタ in 夢の島 2007 参加。1980 年あたりに生まれたアーティストが集まったユニット、群々（むれ）のメンバー。

■石神夏希
劇作家・演出家。1980 年生まれ。1999 年、「ペピン結構設計」を設立、以降殆どの作・演出を担当する。劇場の立地や環境、参加メンバー個々の生活における問題意識を作品に反映させる創作方法にこだわり、生活者としての切実さと哲学的なテーマとを共存させた不思議な世界観、またリズミカルな台詞、独特の言葉選びに支持を得ている。2004 年、「東京の米」にて第 2 回かながわ戯曲賞最優秀賞受賞。

■うめぐみ
横浜美術館子どものアトリエでの指導経験を活かして、廣島佐映子、遠山和美、川崎信の 3 人で構成されたワークショップユニット。幼児･児童の造形指導に定評がある。横浜市民ギャラリーあざみ野でもワークショップを行っている。

■大倉源次郎
能楽大倉流小鼓方十六世宗家、同小鼓方。1957 年、大倉流十五世宗家大倉長十郎の次男として大阪に生まれる。甲南大学文学部卒業。流派を越えて 21 世紀の能を考える「能楽座」メンバー。通常の能公演はもとより、誰もが日本文化である「能」と気軽に出会えるよう「能楽堂を出た能」をプロデュースするほか、新作能、復曲能にも数多く参加。海外公演も多い。日本能楽会会員（重要無形文化財総合認定）。社団法人能楽協会理事。

■奥田雅楽之一
箏演奏者。1979 年東京生まれ。祖母中島靖子に生田流箏曲を師事。祖父唯是震一に地歌三弦を師事。後年、名古屋の今井勉に平家琵琶を師事。胡弓を森雄士に師事。作物を二代目富山清琴に師事。平成 16 年度文化庁国内研修生。1985 年国立大劇場にて初舞台。2002 年「雅楽之一」の名を継ぐ。舞台を務め上げる一方、西洋音楽を中心とした作曲活動にも積極的に取り組んでいる。

■小澤慎吾
国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。イタリアのミラノ・クレモナに留学。現在、国立音楽大学講師。劇団ひまわり講師。ゴスペル音楽院講師。

か

■劇団かかし座
劇団かかし座は、日本で最初にできた影絵の専門劇団です。1952 年に後藤泰隆（とうたいりう）によって創立されました。影絵の世界は人々の心を無限の想像へ駆り立てる、ふしぎな性質と魅力をもっています。この性質と魅力をもって「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで創立以来 50 年以上にわたりかかし座独自の手法で独特な影絵を、TV、映画、舞台、出版などを通じて提供し続けてきました。

■加賀谷彩
桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。

現在後進の指導にあたる傍ら、2003 年より自ら企画・演奏する Poco a Poco を定期的に開催。

■柏木陽
演劇百貨店店長・代表理事、俳優・演出家。1993 年、演劇集団「NOISE」に参加、演出家・劇作家の故・如月小春と活動。2003 年に NPO 法人演劇百貨店を設立、代表理事に就任。全国各地の劇場・児童館・美術館・学校などで、子どもたちとともに独自の演劇空間を作り出している。近年の主な仕事に、兵庫県立こどもの館での中高生との野外移動劇創作、世田谷パブリックシアター「地域の物語ワークショップ・ティーンズ班」の演出・進行など多数。

■桂枝太郎
落語家。三代目桂枝太郎。昭和 52 年岩手県で生まれる。平成 8 年 6 月桂歌丸師匠に入門。前座名：桂歌市。11 月に楽屋修行開始。浅草演芸ホールにて初高座。演目は「つる」。平成 12 年 6 月二ツ目に昇進。桂花丸に改名。平成 21 年 5 月真打昇進。三代目桂枝太郎襲名。岩手県から「いわて文化大使」「奥州大使」に任命される。横浜にぎわい座で独演会を開催中。

■河原厚子
ボーカリスト、ピアニスト。東京・高円寺に生まれ育つ。成蹊大学時代よりジャズクラブで歌い始める。その後コーラス・ヴォーカリストとして、スタジオワークをはじめ、ピンクレディー、郷ひろみ等のツアー、数多くのテレビ番組のレギュラー、東京電力をはじめとするＣＭ製作等をこなす。1983 年にニューヨークへ渡り、ハーレムのジャズスクール、ジャズモービルで本格的にボーカルを磨き直す。帰国後、東京・横浜のジャズクラブで精力的にライブ活動を展開する一方、親子のためのコンサート、小・中学校、生涯教育学校でのトーク＆ライブ等、3 歳から大人までのジャズの実験教室などバリヤフリーな活動に力を注ぎ、さまざまな場所で活躍している。

■菊池敏直
画家。1953 年、東京都に生まれる。1979 年東京藝術大学油絵科卒業。1986－1987 ドイツシュトゥットガルト造形美術大学留学。1979 年藍画廊個展。1988 年お茶の水画廊個展。1994 年ギャラリー21＋葉個展。2000 年文房具ギャラリー個展。モネの蓮池や川面をテーマに描く画家。現、立教大学兼任講師。

■倉品淳子
俳優。82 年より演劇活動を開始。RKB ラジオに出演するなどタレント活動を経て、90 年に「山の手事情社」に入団。出演作に『オイディプス王』『道成寺』『タイタスアンドロニカス』など。02 年、ヘブンアーティスト(東京都公認ストリートパフォーマー)資格を取得。国内、海外での舞台活動と並行して市民劇やワークショップにも取り組む。

■黒田晃弘
画家。1970 年北海道生まれ。札幌在住。2000 年より黒田一人による芸術文化向上委員会「lopnor」の活動を開始。様々なイベントや展覧会などで企画・制作する。他者との関係生成のきっかけとして「似顔絵描き」をはじめ、最近ではそれが主要な表現活動、兼自身の生活の一部となりつつある。この「似顔絵描き」から「横浜トリエンナーレ 2005」に招聘された。

■小坂由加梨
ヴァイオリニスト。東京音楽大学、洗足学園大学大学院卒業。2008 年、フランス・ムーランダンテ講習会にて、M.ヴァイマンのレッスンを受講、修了コンサートに選ばれて出演。これまでに水野佐知香、篠崎功子、ポール・カンターの各氏に師事。現在は、オーケストラ・室内楽・ソロ等幅広い分野で活躍。

さ

■栄区三曲協会
1986 年栄区発足と同時に 38 名の会員で創立。箏は、山田流・生田流、尺八は琴石流・都山流・上田流などの流派が集り、現在会員は 52 名。1996 年に栄区文化協会が設立され、邦楽部の一部門として「区民芸術祭」秋の「さかえ邦楽の集い」春の「邦楽コンサート」などにそれぞれ参加し、箏・三絃・尺八の腕を磨いております。区内の小・中学校での箏・尺八などの体験教室や邦楽鑑賞会の演奏、地域の各行事へも参加しています。

■東音　阪本剛二郎
長唄三味線方。昭和 53 年、横浜市出身。【長唄三味線】を恩師である東京芸術大学名誉教授、長唄東音会四代目会長、東音　味見亨師に師事。東京芸術大学邦楽科別科修了。長唄東音会研修所を経て、三味線方として長唄東音会同人となり、長唄三味線演奏家として舞台に立つ。長唄協会会員、横浜邦楽邦舞家協会会員、長唄二十一の会同人、長唄汎の会同人長唄二題の会同人、長唄寿々弥会主催。

■沢崎恵美
洗足学園大学音楽学部声楽科卒業。マスネ「サンドリヨン」サンドリヨンでオペラデビュー。91～94 年イタリアへ留学。昭和音楽大学附属音楽教室講師。日本オペラ協会会員。劇団ひまわり講師。

■JOU
コンテンポラリーダンサー＆振付家。2009 年ソウル国際振付ファスティバルにて、外国人特別賞受賞。「長い手足、自由度の高い身体、それを繊細にもダイナミックにも動かし、半径 1 m の円の中で踊り続けて飽きさせない身体のボキャブラリーを持っている。なのに、いきなりマヌケなネタを平気でかます面もあり、気が抜けない」（乗越たかお著：コンテンポラリーダンス徹底ガイド）「Odorujou」時々主宰。すなわち、わくわく心躍る企画します。ミクロとマクロの両方から物事を見てアイディアを出す。

■城田有子
ジャズピアニスト、シンガー。尚美音楽院でジャズピアノ、水島早苗ボーカルスクールでジャズボーカル、メイト音楽院でジャズ理論を学び、大学在学中より音楽活動を開始。1981 年渡米し、シダー・ウォルトンにジャズピアノを師事。“城田有子とサンシャインベイブ”を結成。1985 年、1986 年ゴールデンカイト世界音楽祭に連続で日本代表として出演、優秀作品賞、編曲賞を受賞。2000 年、横浜から世界に向けて文化を発信するコンセプトで Yokohama Asociation of Artists(YAA)を結成し主宰。

■鈴木潤
ピアニスト・レゲエキーボーディスト。1967 年生まれ。京都大学哲学科美学美術史専攻の時代から、五線譜には表せないグルーブ（のり）の構造に興味を持ち研究を始める。96 年ごろから、レゲエキーボードとして活動を始め国内外のレゲエシンガーのバックを務める。一方鍵盤ハーモニカ（ピアニカ）の演奏グループ「P-ブロッ」のメンバーとして NHK 教育テレビ「ドレミノテレビ」に出演、NHK 教育テレビ「あいのて」の挿入歌『ワニバレエ』を担当、ローランド芸術文化振興財団や富山大学での講義、著書『音・リズム・からだ』（民衆社）等教育活動にも携わる。

■鈴木淳
画家／絵画保存修復家。59 年東京都生まれ、横浜市在住。86 年東京芸術大学油画卒業、88 年同大学院保存修復技術修士課程修了、93 年博士課程修了、美術博士。84 年－現在、個展、グループ展等。99-02

年、文化庁芸術家在外派遣研修員、文化財保護振興財団在外研修員。ボストン美術館などで保存修復に従事しながら西洋絵画の組成を研究。93-96 年、東京芸術大学非常勤講師、現在：多摩美術大学、群馬県立女子大学、工学院大学非常勤講師。04-09 年、横浜美術館、横浜市民ギャラリー、平塚美術館等で市民講座を担当。06 年、beacon art studio（絵画保存修復）、ＡＣＰ美術保存パートナーズ（多分野美術作品保存修復）、絵画技法材料研究会（社会人絵画教室）設立。

■鈴木慶江
ソプラノ歌手。横須賀市出身。東京芸術大学卒業及び、同大学院オペラ科修了。第 29 回イタリア声楽コンコルソ第 1 位ミラノ大賞受賞により、イタリアのＧ．ニコリーニ国立音楽院に推薦留学。第 31 回Ｖ．ベッリーニ国際声楽コンクール最高位受賞。多くのコンサート活動・オペラ出演の他、2002 年 NHK「紅白歌合戦」、2003 年 NHK「ニューイヤーコンサート」などテレビにも多く出演。「Fiore」、「Regalo」、「ニンナ・ナンナ～大人のための子守歌」、「Calore－ぬくもり」等のＣＤをリリース。

■瀧田亮子
武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。著名な声楽家の伴奏者として活躍中。

■善竹富太郎
大蔵流狂言師。社団法人能楽協会会員学習院大学文学部卒。祖父故善竹圭五郎、父・善竹十郎に師事。3 才より稽古を始め、5 才の時に狂言「靭猿」の小猿役で初舞台。その後 20 才で「三番三」、22 才で「那須」、24 才で「釣狐」を披く。現在は東京を中心に活動中。

■善竹大二郎
大蔵流狂言師。社団法人能楽協会会員駒沢大学文学部卒。大蔵流狂言師。祖父善竹圭五郎、父善竹十郎に師事。5 歳の時に狂言「靭猿」の小猿役で初舞台。現在は東京を中心に活動中。くらしき作陽大学伝統芸能専修科講師。

た

■高瀬真由子
桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。横浜市栄区民文化センターリリス・レジデンス・アーティスト。横浜市民広間演奏会会員、芸術集団 2008 支援アーティスト。

■ＴＡＴＳＵＯ
ストリートダンサー。自由な発想力と身体能力を生かした動きから、ハイスキルなステップを自在に操るダンサー。フロアを取り入れたオリジナルハウススタイルを確立した DANCE TEAM"GLASS HOPPER"のリーダーでもあり、日本のみならず世界各国の数々のコンテストやバトルでチーム、ソロともに数多くの賞を獲得している。

■棚川寛子
舞台音楽家。1970 年生まれ。92 年より「ク・ナウカシアターカンパニー」に参加。パーカッション生演奏の指導、楽曲構成・演奏を行う。2003 年『マハーバーラタ』ク・ナウカで第 3 回朝日舞台芸術賞受賞。近年は、「ク・ナウカシアターカンパニー」「Ort-d.d」などで舞台音楽を続けると共に、「飛竜会」の胴体力体操を元にした体操教室にて講師を続けながら、身体の動きや言葉のリズムと、音楽の繋がりについて考えている。また、パーカッションを使ったワークショップの活動も精力的に行っている。

■田部元太
13 歳よりフルートを始める。阿部光博氏に師事。第 40 回北海道菅弦楽器個人コンクール木管・中学校の部金賞。第 43 回北海道菅弦楽器個人コンクール木管高校の部金賞。第 61 回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第 1 位、全国大会横浜市民賞。現在東京音楽大学在学中。細川順三氏に師事。2008 年 7 月横浜交響楽団定期演奏会に出演。

■塚越裕子
横浜国立大学教育人間科学部音楽科卒、大学院在学中。横浜国立大学教育人間科学部音楽科卒。2007 年日本ピアノ教育連盟主催第 24 回オーディション奨励賞受賞。2008 年第 5 回ブルクハルト国際音楽コンクール審査員賞受賞。これまでに、田中登茂美、大瀧邦彦、尾沢瑞樹の各氏に師事。

■津堅直弘
沖縄県出身。国立音楽大学卒。現在、NHK 交響楽団首席奏者として活躍する他、東京音楽大学助教授、洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学客員教授、沖縄県立芸術大学講師、尚美学園ディプロマコース講師として後進の指導にも積極的に携わっている。またマルセル・ケンツビッチの名で作曲活動にも積極的に取り組んでいる。

な

■中村信子
人形劇俳優・美術家。2006 年度より横浜市芸術推進教育プログラム「パペット」を担当。劇団風の子国際児童演劇研究生を経てどんきい劇場に入団。公演活動のほかＴＶ、映画でも操演。現在ＮＨＫ「おかあさんといっしょ」人形操作レギュラー出演中。パペットワークショップとして総合学習の表現活動やＰＴＡ、親子行事、幼稚園・保育園その他のコミュニケーションづくりのイベントなど開催している。ＮＰＯ法人地域学習会副理事。中野区社会教育委員。

は

■HARROMI-YAH!!!
パーカッション・ユニット。2007 年、東京藝術大学打楽器専攻の 3 人の仲間、「ハ」林瑞穂、「ロミ」篠田浩美、「ーヤ」大家一将で結成したパーカッション・ユニット。超新感覚でオリジナリティ溢れる選曲と、超絶技巧で魅せる打楽器パフォーマンスを持ち味とする。高い演奏技術はもちろん、ユーモア溢れるステージを展開中。学園祭でデビュー後、埼玉ミュージックフェスタ、演奏会ゲスト出演、埼玉県内のおやこ劇場にてワークショップ＆ライブをおこなうなど積極的に活動している。2009 年 8 月、テアトルフォンテ ファミリーコンサートに出演し、好評を博す。

■東の宮美智子
女優。オンシアター自由劇場を経て、横浜ボートシアターの創立メンバーに。同劇場の仮面劇「小栗判官・照手姫」他の主演女優として、日本各地、エジンバラ、ニューヨーク、香港等で公演。現在「遊行座(ゆぎょうざ)」を主宰し、『てるて姫伝説』をゆかりの地で上演。また、説経「さんせう大夫」を元にした『安寿恋しや』など、日本・世界の昔話や古典を「音楽と語り芝居」として公演している。

■深澤純子
アートファシリテーター。多摩美大卒。～89 年まで同校勤務。アート、ジェンダーのワークショップを女性センターや社会教育施設等で多数手がける。現在、ＮＰＯ法人ヒューマン・サービスセンター主宰、港区コミュニティカフェを運営。アートとジェンダー論で神奈川大学の講師を務める。横浜在住。

■藤間恵都子
日本舞踊家、長唄、邦楽囃子。日本大学芸術学部講師、社団法人日本舞踊協会参与。横浜、東京を基盤に活動。古典の伝統伝承は勿論のこと、新しい作品、他ジャンルのアーティストとのコラボレーション、学校公演などにも力を注いでいる。

海外公演も多数。受賞歴多数。

ま

■増田拓史
造形作家。1982 年生、埼玉県出身。横浜美術短期大学造形美術科クラフトコース金属専攻卒業。2007 年、第 9 回国際バラとガーデニングショウ　ガーデン部門入賞。2007 年、丸の内ガーデニングショウ 2007 入選。2008 年、アジア創造美術展推薦出品　国立新美術館。2009 年、黄金町に制作拠点を移動（旧黄金町バザール）。横浜市中区の黄金町を拠点にし、地元企業や近隣住民の方々を巻き込んだ制作活動を展開中。

■松井イチロー、鈴木タケオ
パーカッション、ドラムス＆キーボード。ラテンジャズバンド「LA NOCHE」を結成、神奈川・東京のライブハウスで活動を行う。現在は「LA NOCHE」の他に小編成ラテンジャズバンド「GRUPO CERVEZA」と、オリジナル曲を中心としたサンバ・ボサノババンド「JYOSAMP」を主宰する。参加する「LATINESTRELLA」と共に、北海道から沖縄まで全国各地を演奏活動で旅している。

■松山由紀
オイリュトミスト、翻訳家。慶応義塾大学美学科卒。ドイツ・シュツットガルト・オイリュトメウム卒。1998 年オイリュトミースタジオ・ルラを結成。横浜・蒔田にあるスタジオを拠点に、国内外にて多くの舞台公演を実施。子どものための、日本の昔話やメルヘンのオイリュトミー舞台作品も数多い。2003～07 年、オイリュトミーの専門家(オイリュトミスト)養成クラスを主宰・指導。８人のディプロマ･オイリュトミストが誕生した。他、ルドルフ・シュタイナーの音楽のオイリュトミー講義録「見える歌としてのオイリュトミー」を２００９年３月に翻訳出版（涼風書林）。

■向山佳絵子
東京生まれ。9 歳よりチェロを始め、松波恵子、故堀江泰氏、レーヌ・フラショー、毛利伯郎らに師事。90 年、第 10 回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第 1 位。92 年第 2 回出光音楽賞受賞。チェロの J.シュタルケル、D.ゲリンガス、ヴァイオリンの I.スターン、J.スークなど、世界の一流演奏家達との共演も数多くこなす一方、N 響、都響、読響他、国内外の主要オーケストラとも共演。その他、リサイタル、室内楽、NHK-FM「おしゃべりクラシック」のパーソナリティ、東京芸術大学非常勤講師等、多彩に活動している。

■もび
音楽パフォーマンス集団。2005 年、子どもの生活する空間にパフォーマンスを届けようと西井夕紀子が俳優らと共に結成。ミュージシャン、詩人、ダンサー、画家を迎えてのパフォーマンスやワークショップを各地で実施。「もちはこびパフォーマンス」と称して学校の教室、文化施設、託児スペースなどに赴いている。取手アートプロジェクト 2006「アーティスト学校派遣事業」、世田谷文学館 2008 年度「土曜ジュニア文学館」などに参加。

■森美紀子
ジャズシンガー。日本人には珍しいアメリカンソプラノの明るい歌声とそのパーソナリティーは聞く人の心を捉えて離さない。作曲家中村八大氏に見出された後、ピアニスト市村敏幸氏に師事。現在はライブハウスで多くのピアニストと共演。また、「ふぁとふるコンサート」を定期的に行うほかポピュラーソング教室を主宰し、こどものための「読み聞かせ教室」を開催。ジャズをベースにクラシックまでの幅広いジャンルの曲に取り組んでいる。

や

■山口佳子
ソプラノ歌手。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程独唱科修了。第 37 回日伊コンコルソ入選。2005 年渡伊、2006 年オルヴィエート市歌劇場公演「ラ・ボエーム」ムゼッタ役、2008 年トスカーナオペラフェスティヴァル「カルメン」フラスキータ役等、国内外のオペラやコンサートに出演。リクルート・オペラスカラシップ第 35 回生。19 年度文化庁派遣芸術在外研修員。日本ロッシーニ協会会員。サントリーホール・オペラ・アカデミー・メンバー。藤原歌劇団団員。

■山崎広太
振付家・ダンサー。東京とＮＹを創作拠点として世界各地で活躍する振付家・ダンサー。ベニントン大学ゲスト講師、コロンビア大学非常勤教授。1959 年新潟県生まれ。18 歳より笠井叡に舞踏を、22 歳より故井上博文にバレエを師事。1994 年バニョレ国際振付賞受賞。2002 年から NY にも活動を広げ、同年新カンパニー「Fluid hug-hug co.」を設立。2007 年 NY ダンス・パフォーマンスアワード・ベッシー賞受賞。

■山下残
振付家・演出家。1970 年大阪府生まれ。10 代の頃からダンスを始める。90 年代中頃から振付家・演出家として作品ごとに出演者を集める形式での発表を続けている。主な作品に、揺れる筏の舞台で踊る『船乗りたち』、ダンスを言葉にして声にする『透明人間』など。2004 年『せきをしてもひとり』で「京都芸術センター舞台芸術賞 2004」受賞。2005 年太田省吾演出作品『聞こえる、あなた？－fuga#3』に俳優として出演。演劇計画 2006 では即興を演出する『動物の演劇』に取り組む。2007 年バンコクにて『せきをしてもひとり　タイバージョン』を発表。

■ユキ・アリマサ
ジャズ・ピアニスト。3 歳よりピアノを始め、12 歳頃オスカー・ピーターソンを聞いてジャズに魅了され独学で勉強。玉川大学英米文学科卒業後、渡米。バークリー音楽大学でジャズピアノ演奏、作編曲を学ぶ。ピアニストとしてハンク・ジョーンズ賞、デューク・エリントン作曲賞を受賞。1986 年に卒業後、同校ピアノ科助教授として勤務。帰国後、Yuki Arimasa Trio のリーダー及び作編曲家として活動を続ける。洗足学園音楽大学ジャズコースでソルフェージュとピアノのクラスを担当。

■横浜シティオペラ
1983 年創立、2004 年に NPO 法人化。横浜を拠点に地域密着型のオペラ及びコンサートを企画運営している。上記出演者は同団体会員。NPO 法人横浜シティオペラ主催の各種オペラ・歌曲コンサートに出演の他、その他の歌劇団公演や、コンサートに出演活躍中。

■横山奈加子
桐朋学園大学音楽学部卒業。同大学ソリスト・ディプロマコースを修了。第 10 回チャイコフスキー国際コンクール第 5 位 。宮崎国際室内楽音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラなどに参加。NHK－FM「土曜リサイタル」「FM リサイタル」「名曲リサイタル」等の番組にも出演。98 年には、W. フルトベングラーのヴァイオリンソナタ第 2 番を本邦初演。全日本学生音楽コンクールの審査員。

■米澤浩
邦楽演奏家(尺八奏者・箏奏者)。宮田耕八朗氏に師事。78 年日本音楽集団入団。内外のオーケストラとの共演経験も多く、現在に至るまで 200 公演に及ぶ海外実績を持つ。コンサート活動の他、演劇・放送音楽、市民文化講座やワークショップ、

専門的な講習会の講師も務めるなど活動の幅は広い。

わ

■鷲宮美幸
桐朋学園大学ピアノ科入学。在学中、フランス音楽界の第一人者 H.ピュイグ＝ロジェ氏に見い出され、パリに留学。帰国後、桐朋学園大学を卒業。第 56 回日本音楽コンクール入選を皮切りに、多くのコンクールに入賞。

■渡辺香奈
俳優。1994 年、青山円形劇場プロデュース「転校生」出演。1995 年、劇団青年団入団。「火宅か修羅か」「南へ」「冒険王」「ソウル市民昭和望郷編」「砂と兵隊」「眠れない夜なんてない」などに出演、現在に至る。五反田団、劇団桃唄３０９、サンプルなどに客演。また舞台以外にも市川準監督映画「東京マリーゴールド」に出演。

■渡辺穣
演劇集団円所属俳優。1994 年演劇集団円会員。舞台「三文オペラ」「オセロー」（日生劇場）「不思議な国のアリスの帽子屋さんのお茶の会」「西へ行く女」「栗原課長の秘密基地」「マクベス」「オリュウノオバ物語」「孤独から一番遠い場所」他。映画「トキワ荘の青春」「てなもんや商社」他。ＴＶ「徳川慶喜（ＮＨＫ大河レギュラー）」「義経」他。アテレコ「ＥＲ」「オーシャンズ１２」「シルミド」他。

コーディネータープロフィール（実施日現在）

アートＮＰＯ、民間芸術団体

●特定非営利活動法人 子どもに音楽を
世の中には素晴らしいものがたくさんあります。それらを出来るだけ多くの子どもたちに伝え残すことが、私たち大人の大切な役目だと思います。その一つとして、一流の演奏家による生の演奏を小中学生の子どもたちに聴いてもらいたい、演奏家の息づかいや楽器の持つ魅力ある音と響きから、機械ではない、人間の心から紡ぎ出される音楽に接してほしいと考えています。平成 18 年の設立以来、各地の小中学校等で 33 回の演奏活動を実施しています。

●特定非営利活動法人 横浜こどものひろば
平成13年２月に神奈川県認証のNPO法人として設立しました。子どものための優れた芸術文化活動を振興し、子どもたちの芸術文化体験の場と子ども自身の社会参画の場の創出が豊かな子ども時代の創出に繋がるよう努めてきました。近年は、０～３歳の子どもと子育て世代の親たちが自身で運営していく、芸術文化体験による子育てのひろばを毎月開催しています。また「わらべうたの伝承者」を広げる活動も並行して行い、０～３歳の子育てひろば等とかみ合う活動をすすめています。また横濱世界演劇祭、みなと横浜演劇祭等の事務局の一翼も担当しています。

●特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち
2001 年に設立された特定非営利活動法人です。多様な価値観・考え方・身体感覚を持つ人々が共生する社会を創出するため、子どもたちとアーティストとの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会をつくりだす活動をしています。「ASIAS（エイジアス）」(Artist's Studio In A School の略)は、公立の小中学校、特別支援学級、幼稚園、保育園などにおいて、アーティストと先生が協力してワークショップ型の授業を実施する活動です。横浜市芸術文化教育プログラムでは、平成 19 年度より毎年いくつかの授業をコーディネートしています。 他、地域コミュニティにて活動する「ACTION！(アクション)」などを展開しています。

●企業組合Ｍｅｄｉａ Ｇｌｏｂａｌ
2005 年横浜市より認可を受け、アートマネジメント管理事業を主軸とする芸術系企業組合として発足。母体は１９９８年設立の市民芸術文化グループ「企画集団夢現 MUGEN」。子どものワークショップを得意として活動してきた。これまで行政との協働事業による「ワークショップ」、市民対象の「アートマネジメント講座」や若手アーティスト支援の公演などジャンルは多岐にわたる。2006 年より「横浜市芸術文化教育プログラム」のコーディネーターを担当。

●株式会社 オフィスマキナ
学術イベント、セミナー、コンサート等の催し物の企画制作を行っています。平成 18 年度より「横浜市芸術文化教育プログラム」の「声楽」ワークショップを担当。20 年度からは「ジャズ」ワークショップのコーディネーターも担当しています。

●横浜邦楽邦舞家協会
1991 年に横浜市在住の邦楽演奏家、舞踏家をもって設立。横浜市教育委員会主催の子ども対象事業「おもしろ邦楽セミナー」を年２回開催するほか、学校へのアウトリーチにも取り組んでいる。

●よこはま音楽広場実行委員会
「地域にひらかれた音楽（コミュニティ・ミュージック）」を実施するため、平成 19 年に発足しました。平成 19～20 年度には横浜市市民活力推進局による「文化芸術の創造性を活かした地域づくり事業」として横浜市鶴見区に在住の外国人と近隣の住民を対象としたワークショップを行い、演奏家を交えたコンサートを行いました。平成 20 年度から「横浜市芸術文化教育プログラム推進事業」「クラシック・ヨコハマ　サロンコンサートブリッジ」の事業に携わり、病院や小学校などに演奏家を派遣し、体験型のコンサートを行いました。 教育や福祉、または医療機関などで音楽を行う意味や意義を領域横断的な視点から研究しています 。

●ＡＲＴ　ＬＡＢ　ＯＶＡ
制作経験の有無やしょうがいの有無、年齢、国籍に関係なく、アートを通じた交流ができる場をつくっている非営利のグループとして 1996 年から活動をしています。桜木町の 13 坪のアートセンターを拠点に、映画館やスナック、商店街、動物園、学校、福祉施設など、まちの狭間で「場」や「出来事」を通じて「関わり」を探るアートプロジェクトを展開中です。

●民族歌舞団　荒馬座
1966 年に東京の板橋に生まれました。私たちの祖先が働く中からつくり出してきた民族芸能を舞台化し、首都圏を中心に公演活動をおこなっています。民族芸能には、自然や命をいとおしむ心、生きる知恵、協同の喜び、困難を乗り越える強さや明るさが込められています。「明日を生きる力」となるような舞台や、人と人

とをつなげる文化活動を広げています。

●劇団かかし座
日本で最初にできた影絵の専門劇団です。1952 年に後藤泰隆（とうたいりう）によって創立されました。影絵の世界は人々の心を無限の想像へ駆り立てる、ふしぎな性質と魅力をもっています。この性質と魅力をもって「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで創立以来 50 年以上にわたりかかし座独自の手法で独特な影絵を、TV、映画、舞台、出版などを通じて提供し続けてきました。かかし座の影絵劇の特徴は大きく２つあります。１つは、繊細なデザインと柔らかい色調という美術的な特徴。 もう１つは、せりふに録音を使わないという劇的な特徴です。そうした特徴を生かして、劇団かかし座は、一人一人の劇団員が元気に生き生きと演じ、それを見るものも楽しく生き生きしてくる、そんなステージを目指しています。

●アートの時間
2007 年１月から３月の間に、横浜市芸術文化振興財団が主催した「アートマネージメント講座」を受講し、同年９月より活動を始めた団体です。コンサートホールや劇場、美術館などから飛び出して、アーティストとともに地域や学校へ出向き、質の高いアートを届けるべく、イベントやプログラムの企画運営をしています。これまで小学校や幼稚園、障害者施設などにダンスやクラウンショーの出前を行ったり、地域の方々に気軽に参加していただけるよう、お寺での縁日ライブも行ってきました。パフォーマンスだけでなく、アーティストの息遣いまで感じられるスチュエーションを作りたい。そして、特に子どもたちには、より身近にアーティストの感性に触れるという体験を通して、「別の自分の発見」をして欲しい。そんな思いで活動しています 。

●特定非営利活動法人 横浜音楽協会
大正 13（1924）年、横浜市民音楽文化向上をめざし、横浜市出身の新人音楽家を紹介するための演奏会を開催したのがはじまりで、それ以来、市民をはじめ幼稚園・小・中学校の児童生徒を対象とした音楽会等を、横浜市・横浜市教育委員会・音楽関係諸団体の共催や後援を得て活動をすすめています。いわば、音楽文化向上のためのボランティア団体として地道に歩んできました。会員の職業や年令も様々で、積極的な協力をいただき今日に至っております。また永年の活動が認められ、第 45 回横浜文化賞を受賞しております。

●特定非営利活動法人 横浜シティオペラ
長年にわたって横浜市の音楽の発展に力を尽くし、また日本のオペラ界にも多大な貢献をした故・佐藤美子の跡を継ぎ、1983 年、横浜市教育委員会の指導のもとに、横浜市在住の音楽家 30 名によって、発足した。その後、市・県の助成を受け、青少年から大人までを対象としたオペラを上演する一方、オペラアリア、歌曲のコンサートを行っている。さらに平成 3 年より、オペラ・ガラ・コンサート、大ホールでのオペラ、中ホールでの室内オペラの３本による『神奈川芸術フェスティバル』を 18 年間連続で催している。

地域の文化施設

●青葉区民文化センター フィリアホール
1993 年にオープンしたクラシック音楽ホールです。内外で活躍する一流のアーティストの公演を年間約 30 回主催し、また、音楽愛好家･アマチュアの方々の音楽の練習や発表の場として数多く利用され、地域密着型のホールとして地元の皆様を中心に広くご愛顧いただいています。ファミリー･コンサートや 2、3 才児向け音楽ワークショップなど、子供向け教育プログラムにも積極的に取り組み、2007 年度からは横浜市地域文化拠点機能強化事業として、青葉区･緑区の公立小学校への訪問コンサートを実施し、「音楽の喜び」の幅広い普及に日々努めています 。

●泉区民文化センター テアトルフォンテ
1993 年に開館し、昨年 15 周年を迎えました。演劇やダンスの上演に最も適した「ホール」を中心とする文化施設です。観る・演じる・創る――この３つの活動を通し、地域の交流、文化活動の活性化の発展に努めています。平成 18～20 年度には、泉区に伝わる昔話や地域を題材にしたオリジナルミュージカルを上演しました（出演は一般公募の区民）。また、こども向けの演劇ワークショップや、舞台美術に関する講座、地域のアーティストを招いての事業など、芸術鑑賞の場を提供するだけでなく、地域に根ざした文化活動の発展にも力を入れています。

●栄区民文化センター リリス
本郷台駅より徒歩３分の立地にある区民文化センター。平成 18 年 4 月より、指定管理者として神奈川共立・共立・JSS 共同事業体が運営している。アコースティック音楽に適したホールを持ち、クラシック鑑賞事業に特に力を入れているほか、区内の福祉施設・学校等を会場にしたアウトリーチコンサートを平成 19 年度以降、継続している。

●神奈川区民文化センター かなっくホール
H21 年度、開館 5 周年を迎えるかなっくホールは、「集い、ふれあい、つくりだすこころを、ここかなっくホールから」をキーワードに、区民の皆様への上質の芸術パフォーマンスのご提供にとどまらず、地域の中に芸術の作り手を増やす働きかけにも積極的に取り組んでいます。区民から企画を公募して開催する「区民応募企画」や、「区民プロデューサー育成事業」のほか、若手アーティスト支援事業「フロムかなっく」出演アーティストや朗読ワークショップで勉強した参加者を地区内の様々な場所に派遣してのアウトリーチ活動などを通じ、区民の皆様が日常生活の中で芸術文化に触れ合い、自らが芸術の作り手となって区民文化センターを活用・運営していく“区民がつくる文化のかたち”をめざした事業展開を行っています。

●大倉山記念館
昭和七年に精神文化の研究所として建てられた洋館を市が昭和 59 年に市民利用施設として公開しました。音楽会や美術の展示など市民の文化活動の場として活用されるほか、映画やテレビ等の撮影としても積極的に活用されています。

●急な坂スタジオ
舞台芸術（現代演劇・ダンスなど）の創造拠点として、2006 年 10 月にオープンした横浜市による公設民営の文化施設です。元結婚式場の旧老松会館を転用し、大小５つのスタジオ、市民向けのコミュニティ・ルームなどを備えた稽古場として、地域とアーティストの交流の場を生み出しています。また、横浜を基点とした創造・発表のあり方を模索しながら、次世代の舞台芸術を担う人材も育成・集積し、横浜から世界へと羽ばたくバックアップを図っています。

●久良岐能舞台
横浜市磯子区の自然豊かな場所に位置する久良岐能舞台では、能楽をはじめとする古典芸能の稽古や発表会、茶室でのお茶会など市民に開かれた能舞台として利用されています。四季折々の草花が楽しめる庭園では散策も楽しめます。株式会社シグマコミュニケーションズでは劇場管理・ホール運営事業を進め、平成１８年９月より久良岐能舞台の指定管理者として運営・管理を横浜市より委託されています。一年間に自主事業を１０公演開催し、１０月には近隣地区小学校を無料招待する小学校向け狂言鑑賞教室も開催しています。

●旭区民文化センター サンハート
旭区二俣川駅に隣接するビルの５階に、横浜市によって設置された地域文化施設です。平成２年８月に開館し、平成１８年度より、(財)横浜市芸術文化振興財団・(株)横浜アーチスト共同事業体が指定管理者として管理・運営しています。２つのホールとアートギャラリー、各種の練習系施設を備え、鑑賞・発表・練習の場として、開館以来、多くの方にご利用いただいています。サンハートでは、地域に根ざした文化施設として「区民が芸術文化を通じて、主体的に地域生活を豊かにしていくための活動拠点」となることを目標としています。そのための活動として、ホールやアートギャラリー等での公演や体験型の企画の実施のほか、サンハートを飛び出して、区内の学校や施設などでも企画の実施や活動のサポートなどを積極的に行っています。

●吉野町市民プラザ
南区に平成元年 7 月 15 日に開館した文化施設です。ホール、ギャラリー、会議室、スタジオを備え、鑑賞・発表・練習の場として、開館以来、多くの方にご利用いただいております。地域の拠点施設としての役割を活かし、区民の芸術文化を通じた地域の発展と活性化を目指しています。施設での芸術鑑賞・体験型事業のみならず、地域文化団体や学校との連携・サポートを図り、地域に根ざした活動を行っています。

●横浜市民ギャラリー
開館以来 40 年以上にわたって、市民の発表の場として貸館事業を運営するほか、横浜ゆかり作家の作品の収集・保存、今日の多様な表現をさまざまな視点で紹介する企画展やコレクション展、夏恒例の「横浜市こどもの美術展」、子ども向けの造形を主体とする講座「ハマキッズ・アートクラブ」、絵画教室などの自主事業を行ってきました。また、市内の美術展覧会情報を網羅した情報誌『アートヨコハマ』を発行するなど、市民の活動を支援する身近なギャラリーとして親しまれています。

●横浜市民ギャラリーあざみ野
美術・工芸を基本としつつ、ジャンルを超えた「創造性溢れる表現活動」を幅広く育み、創造性を介して人と人とが交流することのできる、市民と創造活動の出会いの場をつくることを目的としています。

●横浜美術館
今年開館 20 周年を迎える横浜美術館は、見る、創る、学ぶ、を掲げ開館以来鑑賞と共に、制作プロセスを通した美術館普及に力を入れてきました。今回の学校訪問のプログラムでは、絵画の技法を学ぶことを通して絵画に興味を持ち親しんでいくことのきっかけとし、さらに、今回の訪問授業が、生徒さんの美術館を訪れての鑑賞につながればと考えています。

事務局構成団体

●公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
（財）横浜市芸術文化振興財団は美術、音楽、演劇等の芸術文化活動を総合的に振興し、開港以来培われてきた豊かな文化的伝統の維持と、横浜市独自の芸術文化の巣新を図り、もってゆとりと生きがいに満ちた市民生活の実現と国際文化都市・横浜の進展に寄与する目的で平成１４年度に設立されました。平成１６年度以来「芸術文化教育プログラム」を横浜市、市教育委員会、ＳＴスポット横浜とともに協働事業として市内の小・中・特別支援学校において実施しています。協働推進グループも「芸術文化教育プログラム」を市内学校においてコーディネータとして参画し、アーティストを講師として派遣し、美術、伝統芸能等の授業を実施しました。

●特定非営利活動法人 ＳＴスポット横浜
地域の芸術文化機関として、昭和 62 年に発足しました。小劇場「ＳＴスポット」を拠点に、現在国内で活躍する多数の地元アーティストを輩出するなど、創造環境全体の向上に努めてきました。平成 16～20 年度には「アートを活用した新しい教育活動の構築事業」を神奈川県、県教委との協働事業として実施し、県内の幼稚園、小・中学校及び高等学校、特別支援学校等にアーティストを講師として派遣し、演劇やダンス、現代美術等の授業を行いました。平成 20 年度からは「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の事務局を担当し、学校教育とアートの現場をつなぐ事業を推進しています。

横浜市芸術文化教育プログラム推進事業　平成２１年度事業報告書

作成：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市市民局）
公開開始：平成 23 年 1 月 13 日

《お問い合わせ先》〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15　横浜ＳＴビル 208
ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜　アート教育事業部　内　横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
電話・ファックス：045-325-0414　メール：toiawase@y-platform.org